



地方独立行政法人神奈川県立病院機構
精神医療センター

平成25年度

精神医療センター業務年報

(芹香病院・せりがや病院)

平成27年4月

目 次

I 概 況

1 基 本 理 念	1
2 沿 革	1
3 組 織 ・ 機 構	5
4 職 員 配 置 状 況	6
5 施 設	8
施設配置図	9
6 主 な 委 員 会 ・ 会 議 一 覧	10
7 主 な 研 修 実 績	11

II 芹香病院事務事業の状況

1 芹香病院基本方針	13
2 経理の状況	
(1) 地方独立行政法人会計決算状況	14
3 業務実績	
(1) 各種指標	17
4 患者の状況	
(1) 外来患者の状況	18
(2) 入院患者の状況	20
(3) 救急医療の状況	26
5 業務の状況	
(1) 看 護	27
(2) 作業療法	37
(3) デイ・ケア療法	40
(4) 検査業務	44
(5) 地域医療相談室業務	49
(6) 薬剤業務	57
(7) 医療教育	59
(8) 栄養管理科業務	59
(9) 保育業務	62

Ⅲ セリがや病院事務事業の状況

1	セリがや病院基本方針	63
2	経理の状況	
(1)	地方独立行政法人会計決算状況	64
3	業務実績	
(1)	各種指標	67
4	患者の状況	
(1)	外来患者の状況	68
(2)	入退院患者の状況	72
5	業務の状況	
(1)	看 護	79
(2)	心理・相談業務	85
(3)	作業療法	87
(4)	薬剤業務	88
(5)	栄養業務	90

(注) 本年報の表は原則として平成25年3月31日をもって作成してあります。例外については、本文中に基準年月日を表示してあります。

I 概 況

1 基本理念

患者様やご家族に信頼される心あたたかい医療を提供し、神奈川県精神医療の発展に努めます。

2 沿革

当センターは精神病院法に基づくわが国3番目の府県立精神病院として昭和4年3月から診療を開始した芹香院と、昭和38年4月全国にさきがけ麻薬中毒患者専門医療施設として収容治療を開始し、その後神経症、アルコール依存症、薬物中毒等の患者を対象に治療を行ってきたせりがや園を統合して、平成2年4月神奈川県立精神医療センターに組織を改正した。その際名称も芹香病院、せりがや病院に改称し、精神科診療業務を行っている。開設以来の主たる変遷は次のとおりである。

【芹 香 院】

昭和3年11月	本館及び病棟5棟 付属建物を含め延べ3,606㎡の施設完成
4年3月	診療開始（150床）
35年7月	第1、第2病棟完成（現作業療法棟2,207.05㎡）
39年4月	地方公営企業法（企業会計方式）の一部適用
46年8月	子供預り施設新築
11月	C病棟、管理診療棟、サービス棟新築
48年1月	A病棟、B病棟、社会療法棟、喫茶売店棟、車庫棟新築
3月	温室及び看護婦宿舍新築
6月	作業療法棟改築
7月	事務局に医事課を新設
8月	事務局に栄養課を新設、医療局を部長制とし、作業療法科を新設、看護部に看護教育係を新設
50年7月	せりがや地区第一医療職員公舎完成
54年3月	A、B、C各病棟の2、3階に消防用スプリンクラー設備設置
10月	A3病棟を開棟
55年8月	事務局が総務局に、管理課が総務課に改称、総務局次長（総務課長兼務）新設
56年7月	保育施設改修
10月	芹香院作業療法用農場（27アール）整備工事完成
57年1月	身体障害者用便所、管理診療棟1箇所、A病棟1箇所完成
58年11月	緊急医療対策用保護室改修
60年9月	デイ・ケア施設改修
62年4月	医療局にデイ・ケア科を新設
	夜間、休日の緊急医療開始
12月	外来受付室、待合室改修
平成元年3月	保護室（6室）、静養室（16室）改修
2年1月	保護室（8室）改修

【せりがや園】

昭和38年 1 月	本館新設（サーモコン 2 階建）
3 月	厨房棟新築（コンクリート鉄骨平屋建）
4 月	診療開始（70床）
39年 4 月	地方公営企業法（企業会計方式）の一部適用
43年 7 月	本館増築工事等 病棟、管理部門の改修
52年 4 月	病床数（64床）変更

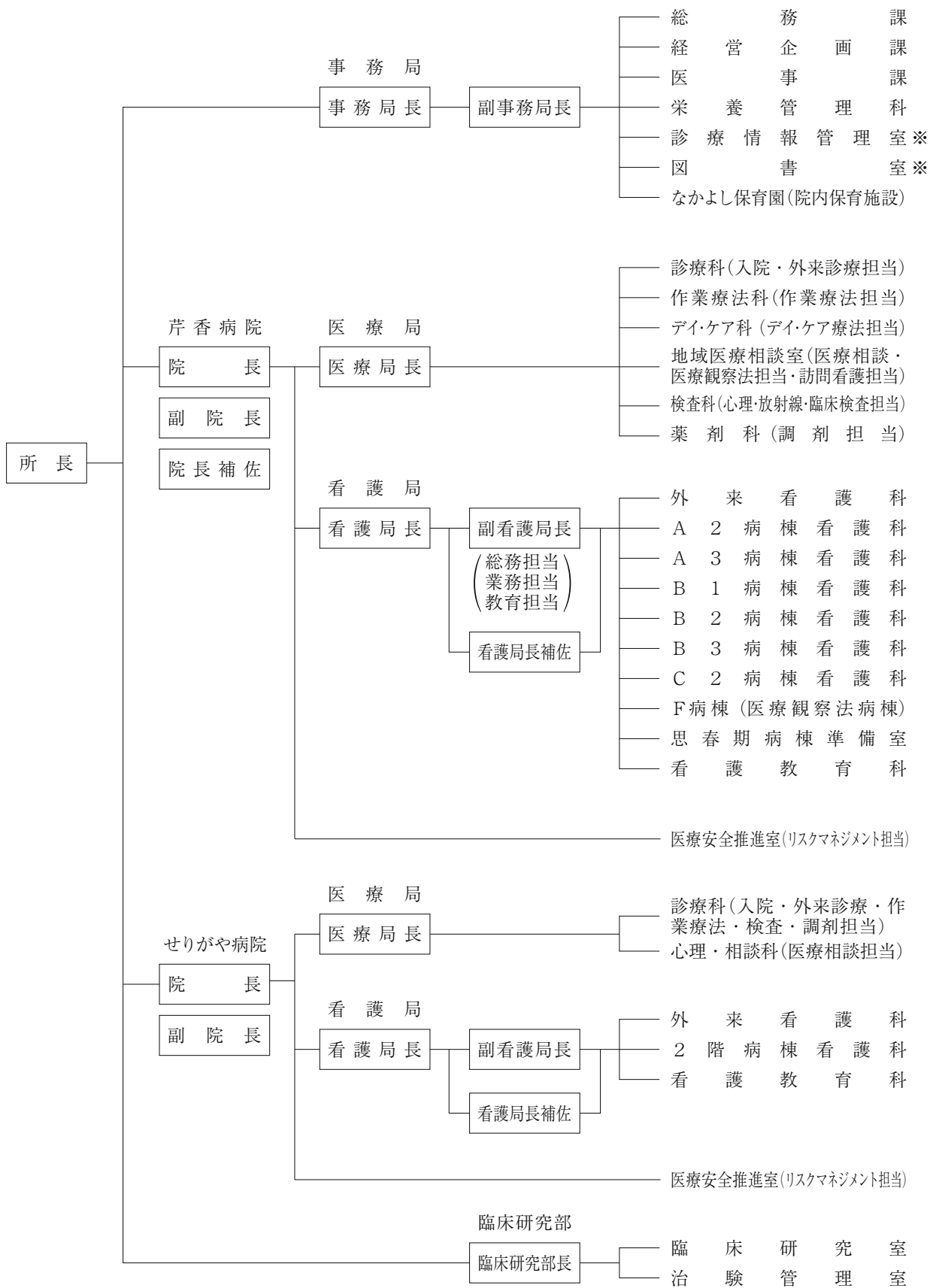
【精神医療センター】

平成 2 年 4 月	芹香院とせりがや園を、精神医療センターに組織改正、センター所長職の設置、芹香院を芹香病院に、せりがや園をせりがや病院に改称、精神医療センター総務局に総務課、経理課、医事課及び栄養課設置 せりがや病院の医療局に心理・相談科、看護部に外来看護係、看護教育係を新設
9 月	せりがや病院新築（80床）
3 年 4 月	芹香病院 A1 病棟を老人性痴呆専門治療病棟（44床）に改修 芹香病院 B3 病棟の一部を改築（結核合併症病棟16床、精神科病棟31床）
4 年 4 月	芹香病院 B2 病棟保護室（4 室）改修
5 年 2 月	せりがや病院 基準看護結核・精神特 2 類承認
3 月	芹香病院 基準看護結核・精神特 2 類承認
6 年 3 月	看護婦共同宿舍、看護士宿舍、職員公舎一戸解体 芹香病院 C1 病棟に消防用スプリンクラー設備設置
10 月	芹香病院、せりがや病院新看護体系 3：1 承認
7 年 3 月	芹香病院 B1 病棟に消防用スプリンクラー設備設置 C 棟外壁塗装、屋上防水塗装工事完成
7 年 5 月	せりがや病院 特別管理給食加算（適時適温給食）実施
8 年 3 月	芹香病院 A1 病棟に消防用スプリンクラー設備設置 芹香病院 A2 病棟に感染症隔離室（2 室）設置 芹香病院 A3 病棟に救急用保護室（4 室）、静養室（3 室）設置
8 年 4 月	芹香病院病床数（497床）変更 芹香病院 精神科救急医療開始 選択メニュー給食の実施
10年12月	職員公舎 3 戸解体
12年 7 月	芹香病院 特別管理給食加算（適時適温給食）実施
12 月	第 1 医療職員公舎解体
14年 4 月	芹香病院 精神科救急医療 24時間体制開始（8 床）
15年 4 月	芹香病院 精神科 救急病棟開設（B－1 病棟 26床） 芹香病院 病床数（445床）変更
15年 9 月	芹香病院 応急入院指定病院（1 床）

平成15年10月	芹香病院 精神科急性期治療病棟（B1）入院科1 適用承認 芹香病院 紹介患者加算5 実施
16年 4月	芹香病院 精神科救急入院科（B1病棟26床）適用承認 芹香病院 精神科救急入院施設管理加算（A1病棟を除く）適用承認 芹香病院 医療保護入院等診療科適用承認 せりがや病院 医療保護入院等診療科適用承認 芹香病院 褥瘡患者管理加算適用承認
6月	芹香病院 療養環境加算（A1・B2病棟）適用承認
9月	芹香病院 夜間勤務等看護加算（A1病棟）
17年 4月	地方公営企業法全部適用 精神医療センターの組織再編成 看護部を看護局と改称、経理課及び医事課を医事経営課に統合、栄養課を栄養管理科に改称、各看護係を看護科と改称、各病院内に医療安全推進室を設置、芹香病院診療科内の医療相談室を地域医療相談室と改称
12月	芹香病院 日本医療機能評価機構認定病院となる せりがや病院 日本医療機能評価機構認定病院となる
18年 1月	芹香病院 診療録管理体制加算 せりがや病院 診療録管理体制加算
4月	芹香病院 15対1 精神病棟入院基本料（A1病棟及びB1病棟を除く） 芹香病院 老人性認知症疾患治療病棟入院料1（A1病棟） 芹香病院 医療安全対策加算 芹香病院 臨床研修病院入院診療加算 芹香病院 栄養管理実施加算 せりがや病院 15対1 精神病棟入院基本料 せりがや病院 栄養管理実施加算
8月	芹香病院 精神科ショート・ケア「大規模なもの」
9月	芹香病院 指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定 せりがや病院 指定自立支援医療機関（通院精神医療）の指定
12月	芹香病院 特定病院認定
19年 5月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料2 適用承認
8月	せりがや病院 精神科作業療法適用承認
20年 3月	芹香病院 老人性認知症専門病棟（A1病棟）閉床 芹香病院 生活訓練・短期静養病棟（C1病棟）閉床
4月	芹香病院 ストレスケア病棟（A2病棟）開床 芹香病院 精神科地域移行実施加算
8月	芹香病院 看護補助加算1
21年 2月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料2（A2・B2病棟）
4月	芹香病院 精神科救急入院料2（B1・B2病棟） 芹香病院 通院対象者社会復帰連携体制強化加算
6月	せりがや病院 褥瘡患者管理加算

平成21年 9 月	芹香病院 病床数（308床）変更
22年 2 月	芹香病院 指定入院医療機関の指定（2床） 芹香病院 入院対象者入院医学管理料
4 月	地方独立行政法人へ移行
5 月	芹香病院 救急医療管理加算 せりがや病院 重度アルコール依存症管理加算
6 月	芹香病院 精神科救急入院料1（B1、B2病棟）
7 月	芹香病院 精神科急性期治療病棟入院料1（A2病棟）
12月	芹香病院 精神科身体合併症管理加算 せりがや病院 精神科身体合併症管理加算 せりがや病院 13対1 精神科病棟入院基本料
23年 1 月	芹香病院 作業療法棟及び社会療法棟の撤去
9 月	芹香病院 医療観察法病棟の建設工事を開始
24年 2 月	「芹香病院」精神科一般病棟（C3病棟）休床
4 月	「芹香病院」精神科救急搬送患者地域連携紹介加算 「芹香病院」治療抵抗性統合失調症治療指導管理料
11月	医療観察法病棟（F病棟）の開棟 新精神医療センター本館の建設工事を開始
26年 3 月	せりがや病院 1階病棟 休床

3 組織・機構 (H26. 4. 1 現在)



※院内組織

4 職員配置状況（H26. 4. 1現在）

所属 \ 職	事務職員	技術職員	技能職員	計	非常勤職員	再雇用職員	契約職員	任期付職員
所 長		1		1				
事 務 局								
事 務 局 長	1			1				
副 事 務 局 長	1			1				
総 務 課	6			6	5		1	
経 営 企 画 課	9			9				
医 事 課	6			6	1			
栄 養 管 理 科		3	17	20	25		4	
小 計	23	3	17	43	31		5	
芹 香 病 院								
院 長		(1)		(1)				
副 院 長		3		3				
診 療 科		17		17	20			
作 業 療 法 科		8		8				
デ イ ・ ケ ア 科	1	4		5			1	
地域医療相談室	11	3		14	1	1		
検 査 科	5	1		6	2		1	
薬 剤 科		4		4				
看 護 局 長		(1)		(1)				
副 看 護 局 長 等		3		3				
看 護 局		194	7	201	10	3	8	
医 療 安 全 推 進 室		1		1				
小 計	17	238	7	262	33	4	10	
せりがや病院								
院 長		1		1				
診 療 科		6		6	10			
心 理 ・ 相 談 科	2			2	2		1	
看 護 局 長		(1)		(1)				
副 看 護 局 長		1		1				
看 護 局		25		25	4	1	1	
小 計	2	33		35	16	1	2	
計	42	275	24	341	80	5	17	

（注）（ ）は兼務

職種別内訳（H26. 4. 1現在）

所 属 職 種		所 長	事 務 局	芹 香 病 院	せりがや病院	計
一 般 事 務 職			23			23
栄 養 士			3			3
調 理 職			17			17
医 師		1		22	5	28
福 祉 職	ソーシャルワーカー			11	1	12
	臨 床 心 理 士			6	1	7
作 業 療 法 士				9	1	10
薬 剤 師				4	1	5
看 護 職				203	26	229
病 棟 技 能 職				7		7
総 数		1	43	262	35	341

5 施 設

【芹香病院】

土 地	111,978.980㎡	
建 物		
管 理 診 療 棟	鉄筋コンクリート造地下1階・地上4階建	3,529.963㎡
サ ー ビ ス 棟	鉄筋コンクリート造地下1階・地上1階建	1,733.030㎡
病 棟	鉄筋コンクリート造地下1階・地上3階建	
A 棟	〃（1F リハビリテーション部門、2F A2病棟、3F A3病棟）	4,225.214㎡
B 棟	〃（1F B1病棟、2F B2病棟、3F B3病棟）	4,219.314㎡
C 棟	〃（1F 看護教育部門、2F C2病棟、3F 工事現場事務所）	4,231.164㎡
医 療 観 察 法 病 棟	鉄筋コンクリート造地上2階建	2,998.750㎡
温 室	鉄骨造平屋建（2棟）	88.200㎡
倉 庫	軽量鉄骨造平屋建	41.400㎡
ポ ン プ 室	鉄筋コンクリート造平屋建	64.210㎡
保 育 施 設	〃	347.320㎡
仮 設 売 店	鉄骨プレハブ造平屋建	45.630㎡
守 衛 棟	鉄筋コンクリート造平屋建	109.395㎡
そ の 他	渡り廊下他	52.7 ㎡
計	13棟	21,644.919㎡

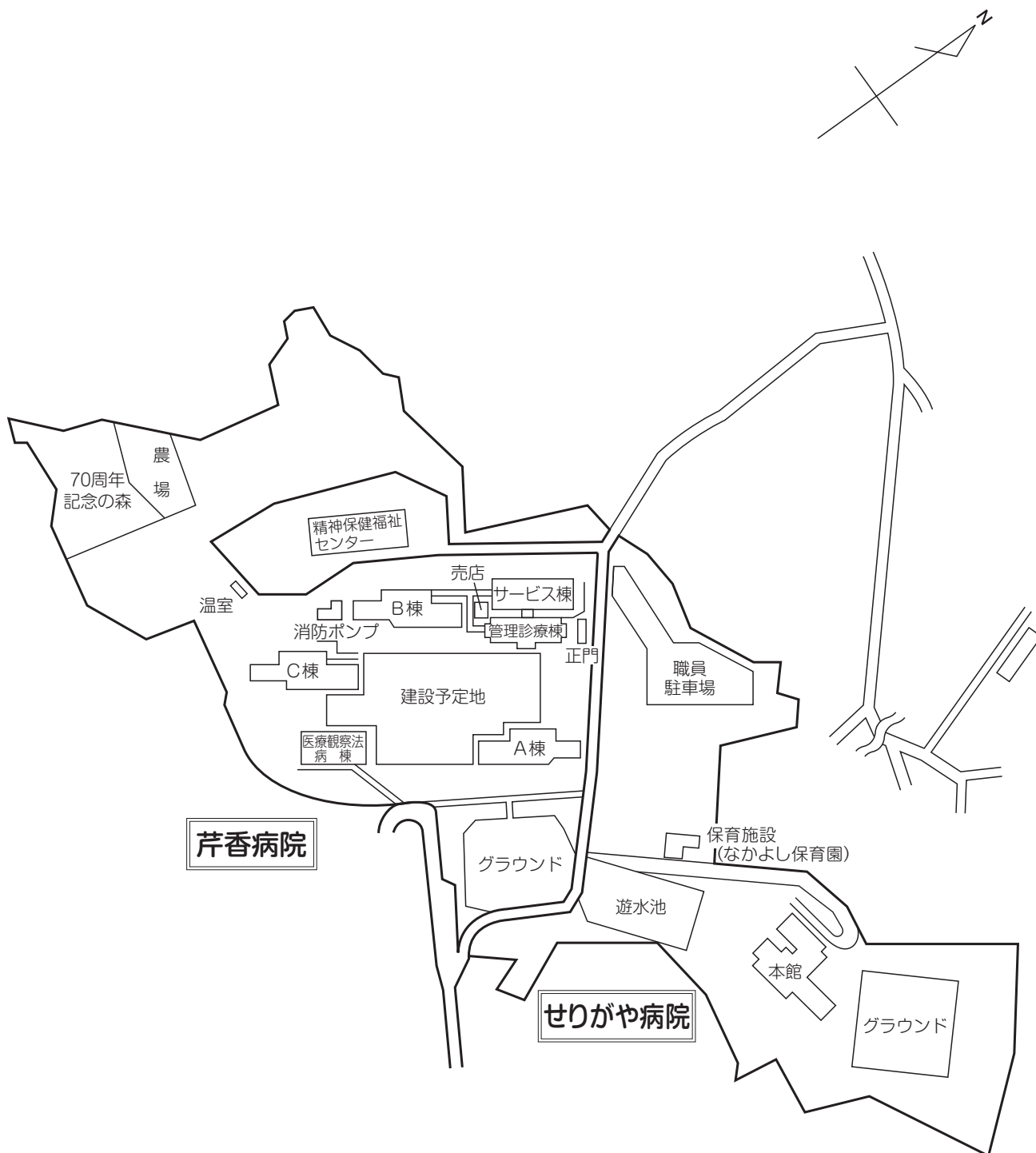
【せりがや病院】

土 地	5,196.030㎡	
建 物		
本 館	鉄筋コンクリート造地上2階建	4,426.550㎡
車 庫	鉄骨造平屋建	21.490㎡
倉 庫	〃	14.330㎡
計	3 棟	4,462.370㎡

【精神医療センター計】

土 地	117,175.010㎡
建 物	16棟 24,138.254㎡（延面積）

施設配置図



6 主な委員会・会議一覧（H26. 4. 1現在）

委員会・会議	目 的	所管課（科）	構成員数	開 催 日
管 理 者 会 議	所の運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総 務 課	10人	月2回（第1・第3月）
経 営 会 議	芹香病院の経営改善の推進に必要な事項の検討	医 事 課	21人	月1回（第3火）
情 報 管 理 会 議	両病院のカルテ、看護記録等の診療情報の管理に関する事項の検討	医 事 課	11人	随時
運 営 協 議 会	所の人権に配慮した医療と効率的な運営に向けた必要事項の検討	総 務 課	13人	年1回
倫 理 審 査 委 員 会	所で行う医療等に関し、倫理上の配慮が求められる事項についての検討	総 務 課	10人	随時
機 種 等 選 定 会 議	備品購入又は委託等に係わる機種選定及び入札参加者等の適正な選定	経 営 企 画 課	11人	随時
教 育 研 修 会 議	医療人材の教育・研修及び評価並びに、成果発表会の企画・運営	看 護 局	15人	隔月
運 営 調 整 会 議	両病院の運営基本方針、事業計画及び予算等の重要事項の協議決定	総 務 課	28人	月1回（第1火）
感 染 防 止 対 策 会 議	各病院の院内感染防止及び衛生管理対策等の検討	医療安全推進室	芹香 17人 せりがや 16人	芹香 月1回（第3火） せりがや 月1回（第2火）
医 療 事 故 防 止 対 策 会 議	各病院の医療事故の防止体制の整備・確立及び防止対策の企画・立案等	医療安全推進室	芹香 16人 せりがや 16人	芹香 月1回（第1火） せりがや 月1回（第2火）
栄 養 ・ 給 食 会 議	各病院の栄養管理・食事サービス業務の効率的な運営と向上	栄 養 管 理 科	芹香 16人 せりがや 16人	芹香 年4回 せりがや 月1回（第2火）
薬 事 会 議	各病院の医薬品の適正な管理及び効率的な運用	薬 剤 科	芹香 8人 せりがや 8人	芹香 年4回 せりがや 年2回
衛 生 委 員 会	各病院の職員の安全と健康の確保及び快適な作業環境の形成	総 務 課	芹香 8人 せりがや 9人	芹香 月1回 せりがや 月1回
看 護 科 長 会 議	各病院の看護管理に関する連絡調整及び看護組織の運営改善等の協議、看護職員の資質向上の検討	看 護 局	芹香 12人 せりがや 4人	月3回（第1・第3・第4水）

7 主な研修実績

月	研 修	担 当	開催日	テーマ	講 師	参加者数
4 月	新採用・転入職員 研修	芹香病院看護局・ (総務課)	4 月 1 日 ～ 4 日・8 日 (5 日間)	別紙参照	別紙参照	23名
9 月	接遇研修	教育研修会議	9 月 4 日 15:30～17:30	接遇研修	ヘルスコーチ・ジャパン 渡辺久美子	55名
10月	研究発表会 1 回目	教育研修会議	10月30日	8 部署発表		80名
11月	救急蘇生	教育研修会議	11月11日 16:30～18:00	救急時の初期対応	重症集中認定看護師 がんセンター 鎌田 循呼センター 石山・ 今井	56名
12月	研究発表会 2 回目	教育研修会議	12月12日	8 部署発表		87名
12月	感染防止研修①	感染防止対策会議 (長)	12月18日 15:30～16:30	感染対策マニュアルの有効 活用について	感染管理認定看護師 二瓶比呂志	74名
1 月	医療事故防止研修 会	医療安全推進室	1 月 8 日 16:00～17:00	誤嚥・窒息予防について	馬場栄養管理科長	89名
1 月	せりがや病院 感染防止研修①	せりがや病院 感染防止対策会議	1 月23日 15:00～16:00	感染対策マニュアルの有効 活用について	感染管理認定看護師 則座久美	41名
1 月	医療安全フォー ラム	医療事故防止対策 会議 (長)	1 月28日～31 日			芹香病院 285名
						せりがや病院 66名
2 月	衛生委員会研修	衛生委員会(鈴木)	2 月 5 日 15:30～16:30	アルコールと上手な付き合 い方	せりがや病院診療科 小林桜児	59名
2 月	医療安全研修	医療事故防止対策 会議 (長)	2 月21日 15:30～16:30	誤嚥・窒息予防について	馬場栄養管理科長	35名

Ⅱ 芹香病院事務事業の状況

1 芹香病院基本方針

1 神奈川県精神科中核病院として、高度な医療を提供します。

- 精神科救急医療システムの基幹病院として充実した救急医療を提供し、地域の医療機関と連携します。
- 依存症、ストレスケア、思春期、医療観察法の4つの分野で専門的な医療を提供します。
- 先進的な医療に関する臨床研究や、神奈川県の医療の将来を担う人材育成に取り組みます。

2 患者さんの思いを大切に、患者中心の医療を目指します。

- 患者さん参加のもとで治療計画を考え、多職種チームで支援します。
- インフォームド・コンセントを徹底し、患者さんの意思決定を尊重します。

3 みんなのちからで、安全な医療に取り組みます。

- 積極的な情報公開に努め、透明性の高い安全な医療を提供します。
- 患者さんやご家族とともに、安心して医療を受けられる療養環境を築きます。

4 地域との連携を深め、患者さんの社会復帰を支援します。

- 必要な入院をスムーズに受け入れるとともに、早期退院を目指して計画的な援助を行います。
- 関係機関との連携を密にし、在宅の患者さんの地域生活を支援します。
- 関係機関と連携し、地域における精神保健活動に協力します。

5 県立病院として健全な経営を目指します。

- 効率的で効果的な経営のあり方を追求し、自立した病院経営に努力します。

2 経理の状況

(1) 地方独立行政法人会計 決算状況

(ア) 貸 借 対 照 表

(平成26年 3 月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構芹香病院】

(単位：円)

科 目	金 額			
資産の部				
I 固定資産				
1 有形固定資産				
土地		8,313,272,757		
建物	2,107,741,380			
減価償却累計額	△ 345,847,778			
減損損失累計額	0	1,761,893,602		
構築物	80,605,871			
減価償却累計額	△ 10,277,739			
減損損失累計額	0	70,328,132		
器械備品	313,511,151			
減価償却累計額	△ 202,428,537	111,082,614		
車両	571,692			
減価償却累計額	△ 202,135	369,557		
放射性同位元素	0			
減価償却累計額	0	0		
建設仮勘定		3,977,279,396		
有 形 固 定 資 産 合 計		14,234,226,058		
2 無形固定資産				
ソフトウェア		0		
電話加入権		16,000		
その他		0		
無 形 固 定 資 産 合 計		16,000		
3 投資その他の資産				
長期貸付金		0		
長期前払消費税等		186,545,093		
長期前払費用		0		
破産更生債権等	15,036,253			
貸倒引当金	△ 15,036,253	0		
その他		832,000		
投資その他の資産合		187,377,093		
固 定 資 産 合 計			14,421,619,151	
II 流動資産				
現金及び預金		124,788,578		
医業未収金	365,549,211			
貸倒引当金	△ 2,487,135	363,062,076		
未収金		374,461,621		
たな卸資産		8,779,281		
前払費用		3,534,328		
流 動 資 産 合 計			874,625,884	
資 産 合 計				15,296,245,035

(ア) 貸 借 対 照 表
(平成26年 3 月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構芹香病院】

(単位：円)

科 目	金 額			
負債の部				
I 固定負債				
資産見返負債				
資産見返運営費負担金	0			
資産見返補助金等	1,281,527,102			
資産見返寄附金	1,001,233			
資産見返物品受贈額	365,304,939			
建設仮勘定見返運営費負担金	233,717,945			
建設仮勘定見返補助金等	335,004,762	2,216,555,981		
長期借入金		3,305,950,000		
移行前地方債償還債務		0		
長期未払金		0		
引当金				
退職給付引当金	1,848,020,791			
環境対策引当金	2,702,090	1,850,722,881		
リース債務		279,555		
資産除去債務		13,022,601		
固 定 負 債 合 計			7,386,531,018	
II 流動負債				
寄附金債務		2,245		
一年以内返済予定長期借入金		7,450,000		
一年以内償還予定移行前地方債償還債務		2,000,000		
未払金		95,565,320		
一年以内支払予定リース債務		19,210,256		
未払費用		16,084,015		
前受金		0		
預り金		13,139,243		
引当金				
賞与引当金	179,322,163	179,322,163		
流 動 負 債 合 計			332,773,242	
負 債 合 計				7,719,304,260
純資産の部				
I 資本金				
設立団体出資金		8,067,912,677		
資 本 金 合 計			8,067,912,677	
II 資本剰余金				
資本剰余金		23,020,000		
資 本 剰 余 金 合 計			23,020,000	
III 繰越欠損金				
繰越欠損金		△ 513,991,902		
(うち当期総利益)		(100,670,708)		
繰 越 欠 損 金 合 計			△ 513,991,902	
純 資 産 合 計				7,576,940,775
負 債 純 資 産 合 計				15,296,245,035

(イ) 損 益 計 算 書
(平成24年 4 月 1 日～平成25年 3 月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構芹香病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
営 業 収 益			
医業収益			
入院収益	1,836,980,181		
外来収益	405,210,236		
児童福祉施設収益	0		
その他医業収益	16,870,235		
保険等査定減	△ 1,250,503	2,257,810,149	
運営費負担金収益		1,436,883,000	
補助金等収益		110,316,679	
寄附金収益		0	
資産見返運営費負担金戻入		823,714	
資産見返補助金等戻入		82,520,126	
資産見返寄附金等戻入		176,566	
資産見返物品受贈額戻入		30,277,060	
営 業 収 益 合 計			3,918,807,294
営 業 費 用			
医業費用			
給与費	2,727,606,439		
材料費	344,166,869		
減価償却費	183,757,196		
経費	482,243,474		
研究研修費	5,020,307		
児童福祉施設費	0	3,742,794,285	
一般管理費			
給与費	0		
減価償却費	0		
経費	0	0	
控除対象外消費税等		60,862,790	
資産に係る控除対象外消費税等償却		7,440,491	
その他営業費用		0	
営 業 費 用 合 計			3,811,097,566
営 業 利 益			107,709,728
営 業 外 収 益			
運営費負担金収益		14,793,000	
患者外給食収益		7,731,176	
不用品売却収益		0	
財務収益		3,437	
雑益		9,864,669	
営 業 外 収 益 合 計			32,392,282
営 業 外 費 用			
患者外給食費		7,254,276	
財務費用		30,798,375	
雑支出		102,796	
営 業 外 費 用 合 計			38,155,447
経 常 利 益			101,946,563
臨 時 利 益			
その他臨時利益		0	0
臨 時 損 失			
固定資産除却損		1,275,855	
減損損失		0	
その他臨時損失		0	1,275,855
当 期 純 利 益			100,670,708
当 期 総 利 益			100,670,708

3 業務実績

(1) 各種指標

項 目	計 算 方 式	単位	平成25年度	平成24年度	対前年度比(%)	備 考
病 床 数		床	308 (285)	308 (285)	100.0	
取 扱 患 者 数		人	113,232	107,429	105.4	
入 院 患 者		人	78,314	70,681	110.8	
外 来 患 者		人	34,918	36,748	95.0	
1 日 平 均 取 扱 患 者 数		人	357.7	343.6	104.1	
入 院 患 者	取扱入院患者数／年間日数 365日	人	214.6	193.6	110.8	
外 来 患 者	取扱外来患者数／年間外来診療日数	人	143.1	150.0	95.4	
病 床 利 用 率	取扱入院患者数／延病床数×100	%	69.7 (75.3)	62.9 (72.9)	110.8 (103.3)	
平 均 在 院 日 数	入院延患者数／(入院患者数＋退院患者数)×0.5	日	132.5	115.5	114.7	
入 院 外 来 患 者 比 率	取扱患者数／取扱入院患者数×100	%	44.6	52.0	85.8	
医師・看護師1人当たりの取扱患者数						
医 師	取扱患者数／医師延人数	人	15.5	13.4	115.7	
看 護 師	取扱患者数／看護師延人数	人	1.7	1.5	113.3	
職 員 数		人	282	304	92.8	期 末 人 数
医 師		人	20	22	90.9	期 末 人 数
看 護 師		人	181	193	93.8	期 末 人 数
そ の 他 職 員		人	81	89	91.0	期 末 人 数
病床100床当たりの職員数	全職員数／病床数×100	人	91.6	98.7	92.8	
医 師	職員数／病床数×100	人	6.5	7.1	91.5	
看 護 師	職員数／病床数×100	人	58.8	62.7	93.8	
そ の 他 職 員	職員数／病床数×100	人	26.3	28.9	91.0	
患 者 1 人 当 た り の 収 益	医業収益／取扱患者数	円	19,853	18,749	105.9	
入 院 患 者	入院収益／取扱患者数	円	23,549	20,571	114.5	
外 来 患 者	外来収益／取扱患者数	円	11,562	15,243	75.9	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医 師	医業収益／医師延人数	円	307,940	250,829	122.8	
看 護 師	医業収益／看護師延人数	円	34,027	28,592	119.0	
患 者 1 人 1 日 当 た り の 費 用	医業費用／取扱患者数	円	33,054	36,635	90.2	
患 者 1 人 当 た り の 薬 品 費	薬品費／取扱患者数	円	2,402	3,644	65.9	
患 者 1 人 当 た り の 給 食 材 料 費	給食材料費／取扱入院患者数	円	808	824.7	98.0	
医 業 収 益 に 対 す る 費 用 比 率	医業費用／医業収益×100	%	166.4	193.7	85.9	
給 与 費	給与費／医業収益×100	%	121	139	87.1	
材 料 費	材料費／医業収益×100	%	15.3	22.7	67.4	
経 費	経費／医業収益×100	%	21.4	23.7	90.3	

(注) 医師、看護師の延人数は、期末の在籍人数に365日（平成25・24年度共）を乗じ算出した

(注) 「病床数」欄の（ ）内は稼働病床数を示す

(注) 「病床利用率」欄の（ ）内は稼働病床数の病床利用率を示す

4 患者の状況

(1) 外来患者の状況

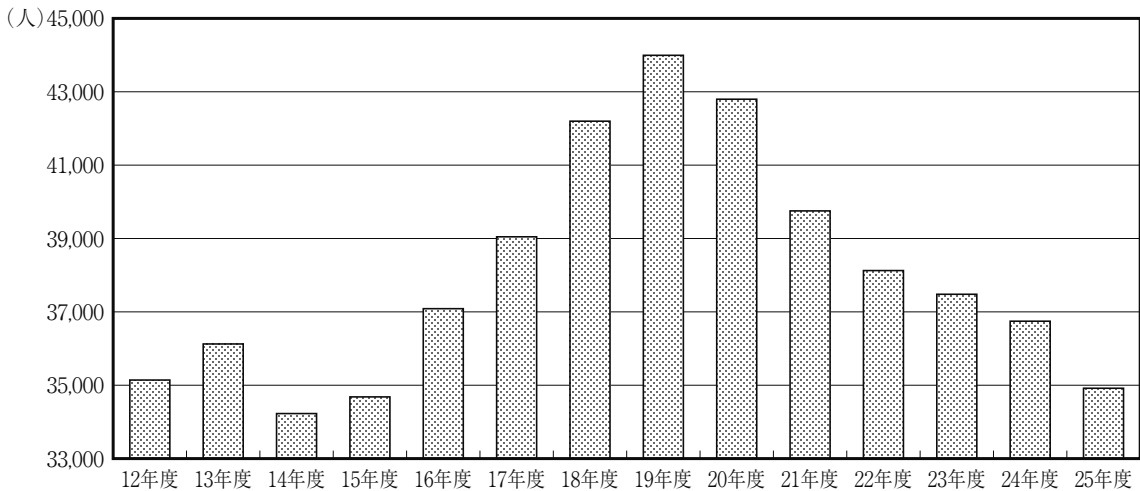
延患者数では1,830人減で対前年度比5.0%減となっている。また、新患については33人減の対前年度比5.4%減となっている。新外来患者数の病類別は、統合失調症が前年度に比べ6.1ポイント増で、全体の42.9%を占めている。

ア 月別外来患者数

年度	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
25	新 患	54	49	53	49	45	37	51	35	49	54	51	56	583
	再 来	3,076	3,024	2,797	3,205	3,074	2,747	2,976	2,684	2,675	2,710	2,561	2,806	34,335
	延患者数	3,130	3,073	2,850	3,254	3,119	2,784	3,027	2,719	2,724	2,764	2,612	2,862	34,918
	一日平均	149.0	146.3	142.5	147.9	141.8	146.5	137.6	136.0	143.4	145.5	137.5	143.1	143.1
24	新 患	75	48	58	46	42	49	57	43	35	50	50	63	616
	再 来	2,962	3,234	3,070	3,206	3,206	2,783	3,226	3,063	2,836	2,820	2,758	2,968	36,132
	延患者数	3,037	3,282	3,128	3,252	3,248	2,832	3,283	3,106	2,871	2,870	2,808	3,031	36,748
	一日平均	151.9	156.3	149.0	154.9	141.2	149.1	149.2	147.9	151.1	151.1	147.8	151.6	150.0

(注) 精神科のほか、内科・歯科受診者を含む

イ 外来患者数の年次推移状況



ウ 病類別新外来患者数

病類 (ICD) 年度 区分		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害						
25	男	1	1	5	4	3	132	112		19	3	5	2	5	4	296
	女	2	5	3	3	1	118	109		23	5	11	2	3	2	287
	計	3	6	8	7	4	250	221	0	42	8	16	4	8	6	583
	構成比	0.5	1.0	1.4	1.2	0.7	42.9	37.9		7.2	1.4	2.7	0.7	1.4	1.0	100.0
24	男	1	11	2	2	9	93	98		27	1	3	2		5	254
	女	1	1	0	1	1	110	133		22	1	16	3	1	6	296
	計	2	12	2	3	10	203	231		49	2	19	5	1	11	550
	構成比	0.4	2.2	0.4	0.5	1.8	36.8	42.0		8.9	0.4	3.5	0.9	0.2	2.0	100.0

(注) 新外来患者とは、精神科初診患者と6ヵ月以上通院していない再初診患者のこと

工 年齢別新外来患者数

年 度	年 齢		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
	区 分									
25	男		6	40	66	73	54	33	24	296
	女		8	44	61	75	57	21	21	287
	計		14	84	127	148	111	54	45	583
	構成比		2.4	14.4	21.8	25.4	19.0	9.3	7.7	100.0
24	男		9	39	56	85	33	20	12	254
	女		11	49	74	74	37	28	23	296
	計		20	88	130	159	70	48	35	550
	構成比		3.6	16.0	23.6	28.9	12.7	8.7	6.4	100.0

才 地域別実外来患者数

年 度		25	24	年 度		25	24	年 度		25	24
居住地域				居住地域				居住地域			
横 濱 市	横 須 賀 市	1,990	2,051	足 柄 上 郡	横 須 賀 市	60	69	足 柄 下 郡	足 柄 上 郡	4	1
	鶴 見 区	30	25		平 塚 市	12	11		中 井 町	1	0
	神 奈 川 区	50	62		鎌 倉 市	34	38		大 井 町	1	0
	西 区	56	59		藤 沢 市	53	62		松 田 町	0	1
	中 区	66	72		小 田 原 市	7	5		山 北 町	0	0
	南 区	362	369		茅 ヶ 崎 市	13	14		開 成 町	2	0
	港 南 区	405	417		逗 子 市	14	20		足 柄 下 郡	1	1
	保 土 ヶ 谷 区	133	134		相 模 原 市	2	1		箱 根 町	1	0
	旭 区	70	83		三 浦 市	13	11		真 鶴 町	0	1
	磯 子 区	155	157		秦 野 市	5	0		湯 河 原 町	0	0
	金 沢 区	120	111		厚 木 市	8	5		県 内 計	2,323	2,408
	港 北 区	32	36		大 和 市	11	12		東 京 都	27	42
	緑 区	25	27		伊 勢 原 市	6	5		埼 玉 県	7	5
	戸 塚 区	264	266		海 老 名 市	10	12		千 葉 県	6	6
	瀬 谷 区	30	35		座 間 市	8	7		群 馬 県	1	0
	栄 区	82	84		南 足 柄 市	3	6		栃 木 県	2	2
	泉 区	74	76		綾 瀬 市	8	11		山 梨 県	2	0
	青 葉 区	22	18		三 浦 郡 葉 山 町	5	5		静 岡 県	3	1
	都 筑 区	14	20		高 座 郡 寒 川 町	1	2		茨 城 県	3	3
川 崎 市	川 崎 市	46	53	愛 甲 郡	愛 甲 郡	5	2	そ の 他 の 県	そ の 他 の 県	36	31
	川 崎 区	14	18		愛 川 町	5	2		県 外 計	87	90
	幸 区	5	8		清 川 村	0	0		住 所 不 明	0	0
	中 原 区	12	14		中 郡	4	4		計	2,410	2,498
	高 津 区	2	3		大 磯 町	2	3				
	宮 前 区	5	4		二 宮 町	2	1				
	多 摩 区	4	3								
	麻 生 区	4	3								

(注) 新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

(2) 入退院患者の状況

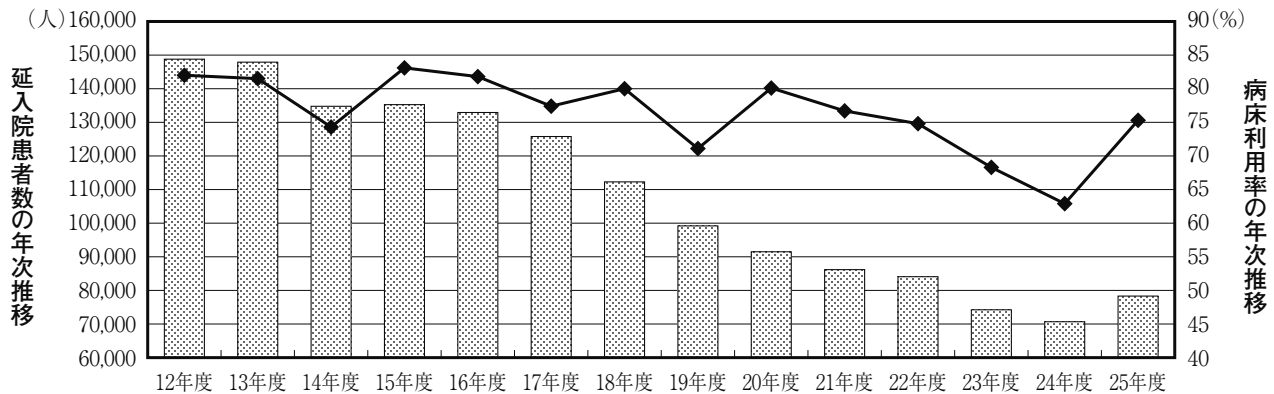
平成25年度は、延患者数78,314人で前年度と比べ7,633人増で対前年度比10.8%増となっている。病床利用率は69.7%で対前年度比3.2ポイントの減となっている。（平成24年11月より医療観察法病棟が新設されたため、病床数が252床から285床に増えている）入院患者は前年度に比べ1.6%減となっている。病類別は統合失調症が最も多く50.6%を占めている。入院形態は任意入院の構成比が対前年度比4.1ポイント減、医療保護入院が2.8ポイント増、措置入院が1.1ポイント増、鑑定入院は0.1ポイント増となっている。医観法入院処遇が0.1ポイント増加している。

ア 月別入退院患者数

年度	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
25	入院	51	55	55	49	48	54	48	50	50	47	47	48	602
	退院	45	46	51	49	52	48	44	48	59	43	41	51	577
	延患者数	5,940	6,312	6,395	6,723	6,582	6,489	6,778	6,741	6,747	6,625	6,132	6,850	78,314
	病床利用率	64.3	66.1	69.2	70.4	68.9	70.2	71.0	73.0	70.7	69.4	71.1	71.7	69.7
24	入院	48	47	53	51	41	58	57	53	53	52	48	51	612
	退院	56	55	44	50	52	35	56	52	59	36	60	57	612
	延患者数	5,709	5,711	5,383	5,750	5,784	5,643	6,135	6,025	6,274	6,359	5,753	6,155	70,681
	病床利用率	75.5	73.1	71.2	73.6	74.0	74.6	78.5	70.5	71.0	72.0	72.1	69.7	72.9

（注）月別に新たに入院した数

イ 延入院患者数及び病床利用率の年次推移状況



ウ 病類別新入院患者数

年度	区分	病類 (ICD)		脳器質性精神障害 (F0)			中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計
		老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害						
25	男	2	5	4	9	1				89	48		8		0			3	169
	女		2	1						74	60		8		7			1	153
	計	2	7	5	9	1				163	108		16		7	0		4	322
	構成比	0.6	2.2	1.6	2.8	0.3				50.6	33.5	0.0	5.0	0.0	2.2	0.0	0.0	1.2	100.0
24	男	1	6	7	5					56	66		7		1	1		6	156
	女	2	2	1	1					64	73		11		7	3			164
	計	3	8	8	6					120	139		18		8	4		6	320
	構成比	0.9	2.5	2.5	1.9	0.0				37.5	43.4	0.0	5.6	0.0	2.5	1.3	0.0	1.9	100.0

（注）新入院患者とは、当病院に初めて入院した患者のこと

工 病類別・年齢別実入院患者数

年度	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	年齢構成比
	年齢	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
25	19歳以下	男									2					2	4	1.3
		女						3	1								4	
		小計						3	1		2					2	8	
	20～29歳	男				1		25	2		1						29	10.3
		女						20	5		3		4			1	33	
		小計				1		45	7		4		4			1	62	
	30～39歳	男		2	2	6		47	22		4						83	23.8
		女			1			39	14		2		4				60	
		小計		2	3	6		86	36		6		4				143	
	40～49歳	男		1	2	1	1	63	15		1			1		2	87	27.7
		女						54	22		3					1	80	
		小計		1	2	1	1	117	37		4			1		3	167	
	50～59歳	男				1		46	10		1						58	19.9
		女						46	15		1						62	
		小計				1		92	25		2						120	
	60～69歳	男		1	1			26	4								32	10.5
		女		1				18	11		1						31	
		小計		2	1			44	15		1						63	
	70歳以上	男	2	3				5	6								16	6.5
		女		1				15	6		1						23	
		小計	2	4				20	12		1						39	
	計	男	2	7	5	9	1	212	59		9		0	1		4	309	100.0
		女	0	2	1	0	0	195	74		11		8	0		2	293	
		計	2	9	6	9	1	407	133		20		8	1		6	602	
		構成比	0.3	1.5	1.0	1.5	0.2	67.6	22.1		3.3		1.3	0.2		1.0	100.0	
年度	病類(ICD)		脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	年齢構成比
	年齢	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
24	19歳以下	男						2			2					2	6	2.2
		女						3	1		2			1			7	
		小計						5	1		4			1		2	13	
	20～29歳	男		3			1	15	7		4					3	33	10.3
		女		1				12	7		4		2	2		1	29	
		小計		4			1	27	14		8		2	2		4	62	
	30～39歳	男		1		1	3	49	9		2			1		2	68	21.3
		女			1	1	1	32	17		5		3				60	
		小計		1	1	2	4	81	26		7		3	1		2	128	
	40～49歳	男		1	4		3	42	39					5		2	96	30.7
		女		1	1			45	33		6		2				88	
		小計		2	5		3	87	72		6		2	5		2	184	
	50～59歳	男		1	1		1	23	13		2		1				42	14.7
		女						19	23		1		2	1			46	
		小計		1	1		1	42	36		3		3	1			88	
	60～69歳	男		4				22	13								39	14.7
		女	1					35	12		1						49	
		小計	1	4				57	25		1						88	
	70歳以上	男		4				8	6								18	6.2
		女	1	2				4	12								19	
		小計	1	6				12	18								37	
	計	男	0	14	5	1	8	161	87		10		1	6		9	302	100.0
		女	2	4	2	1	1	150	105		19		9	4		1	298	
		計	2	18	7	2	9	311	192		29		10	10		10	600	
		構成比	0.3	3.0	1.2	0.3	1.5	51.8	32.0		4.8		1.7	1.7		1.7	100.0	

(注) 実入院患者数とは、前年度末に在院していた患者数に、当年度に新たに入院した患者数を足した数

才 地域別実入院患者数

年度 居住地域		25	24	年度 居住地域		25	24	年度 居住地域		25	24
横 浜 市		461	483	横 須 賀 市	16	21	足 柄 上 郡	2	0		
	鶴 見 区	13	6	平 塚 市	12	5	中 井 町	1	0		
	神 奈 川 区	16	16	鎌 倉 市	11	8	大 井 町	1	0		
	西 区	15	18	藤 沢 市	27	38	松 田 町	0	0		
	中 区	16	18	小 田 原 市	4	3	山 北 町	0	0		
	南 区	71	75	茅 ケ 崎 市	6	10	開 成 町	2	0		
	港 南 区	74	81	逗 子 市	4	9	足 柄 下 郡	1	1		
	保 土 ケ 谷 区	37	38	相 模 原 市	1	1	箱 根 町	1	1		
	旭 区	18	26	三 浦 市	3	1	真 鶴 町	0	0		
	磯 子 区	29	31	秦 野 市	4	0	湯 河 原 町	0	0		
	金 沢 区	36	32	厚 木 市	7	4	県 内 計	626	650		
	港 北 区	20	19	大 和 市	9	7	東 京 都	10	22		
	緑 区	8	10	伊 勢 原 市	4	3	埼 玉 県	7	2		
	戸 塚 区	50	47	海 老 名 市	3	5	千 葉 県	8	5		
	瀬 谷 区	5	10	座 間 市	3	5	茨 城 県	0	1		
	栄 区	16	20	南 足 柄 市	0	2	群 馬 県	1	3		
	泉 区	22	21	綾 瀬 市	3	5	栃 木 県	1	0		
	青 葉 区	12	7	三 浦 郡 葉 山 町	5	3	静 岡 県	3	0		
	都 筑 区	3	8	高 座 郡 寒 川 町	0	0	そ の 他 の 県	27	23		
	川 崎 市		31	30	愛 甲 郡	6	2	県 外 計	57	56	
川 崎 区		6	10	愛 川 町	6	2	住 所 不 明	0	0		
幸 区		4	3	清 川 村	0	0	計	683	706		
中 原 区		7	5	中 郡	3	4					
高 津 区		3	2	大 磯 町	1	3					
宮 前 区		4	4	二 宮 町	2	1					
多 摩 区		2	1								
麻 生 区		5	5								

力 入院費負担区分別患者数（平成26年3月末現在在院患者一覧表）

年度	負担区分	健康保険法		国民健康 保 険 法	生 活 保 護 法	精神保健 福 祉 法	感染症法 (第37条)	自 費	そ の 他	計
		本 人	家 族							
25	男	4	6	63	22	8		1	21	125
	女	15	1	42	19	7			9	93
	計	19	7	105	41	15		1	30	218
	構成比	8.7	3.2	48.2	18.8	6.9		0.5	13.8	100.0
24	男	5	4	72	18	5			13	117
	女	4	9	37	11	4			8	73
	計	9	13	109	29	9			21	190
	構成比	4.2	7.4	62.1	19.5	5.2			1.6	100.0

（注）本表のその他とは、「臨床研究入院」「医療観察法」等の患者が含まれる

キ 入院形態別患者数

年度	形態	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		区分													
25	任意	男	10	7	6	6	8	8	3	7	5	9	5	6	80
		女	9	6	8	10	8	11	7	7	5	10	10	8	99
		小計	19	13	14	16	16	19	10	14	10	19	15	14	179
		構成比	37.3	23.6	25.5	32.7	33.3	35.2	18.5	28.0	20.0	40.4	31.9	29.2	29.7
	医療保護	男	8	9	13	8	10	9	15	15	14	7	8	10	126
		女	11	18	10	14	7	7	9	11	5	10	10	9	121
		小計	19	27	23	22	17	16	24	26	19	17	18	19	247
		構成比	37.3	49.1	41.8	44.9	35.4	29.6	50.0	52.0	38.0	36.2	38.3	39.6	41.0
	措置	男	5	7	13	3	7	7	7	6	11	4	4	7	81
		女	3	7	4	6	5	9	6	0	9	4	6	5	64
		小計	8	14	17	9	12	16	13	6	20	8	10	12	145
		構成比	14.5	25.5	30.9	16.4	21.8	29.1	23.6	10.9	36.4	14.5	18.2	25.0	24.1
	鑑 定	男								1					1
		女	1												1
		小計	1							1					2
		構成比	2.0							2.0					0.3
	医 観 法 特例措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
	医 観 法 入院処遇	男	1	1	1			2	1	3	1	2	2	1	15
		女	1										1	1	3
		小計	2	1	1			2	1	3	1	2	3	2	18
		構成比	3.7	1.9	1.9			3.7	1.9	5.6	1.9	3.7	5.6	3.7	3.0
	臨床研究	男	1			1	2	1						1	6
		女	1			1	1					1	1		5
		小計	2			2	3	1				1	1	1	11
		構成比	3.6			3.6	5.5	1.8				1.8	1.8	1.8	1.8
	計	男	25	24	33	18	27	27	26	32	31	22	19	25	309
		女	26	31	22	31	21	27	22	18	19	25	28	23	293
		計	51	55	55	49	48	54	48	50	50	47	47	48	602
24	任意	男	13	6	6	9	4	13	7	4	9	7	7	3	88
		女	4	10	14	11	10	11	14	12	7	8	6	12	119
		小計	17	16	20	20	14	24	21	16	16	15	13	15	207
		構成比	35.4	34.0	37.7	39.2	34.1	41.4	36.8	30.2	30.2	28.8	27.1	29.4	33.8
	医療保護	男	9	9	7	8	16	10	13	10	11	7	10	10	120
		女	11	9	13	10	6	12	5	10	11	7	9	11	114
		小計	20	18	20	18	22	22	18	20	22	14	19	21	234
		構成比	41.7	38.3	37.7	35.3	53.7	37.9	31.6	37.7	41.5	26.9	39.6	41.2	38.2
	措 置	男	3	7	9	7	1	4	10	7	3	13	8	5	77
		女	7	3	4	3	4	7	7	4	7	8	2	8	64
		小計	10	10	13	10	5	11	17	11	10	21	10	13	141
		構成比	20.8	21.3	24.5	19.6	12.2	19.0	29.8	20.8	18.9	40.4	20.8	25.5	23.0
	鑑 定	男								1					1
		女													0
		小計								1					1
		構成比								1.9					0.2
	医 観 法 特例措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
	医 観 法 入院処遇	男								3	3	1	3	1	11
		女								2	2	1	1	1	7
		小計								5	5	2	4	2	18
		構成比								9.4	9.4	3.8	8.3	3.9	2.9
	臨床研究	男	1	3					1				1		6
		女				3		1					1		5
		小計	1	3		3		1	1				2		11
		構成比	2.1	6.4		5.9		1.7	1.8				4.2		1.8
	計	男	26	25	22	24	21	27	31	25	26	28	29	19	303
		女	22	22	31	27	20	31	26	28	27	24	19	32	309
		計	48	47	53	51	41	58	57	53	53	52	48	51	612

ク 病類別・在院期間別在院患者数

病類 (ICD)			脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
年度	期間	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
25	1年未満	男			1	1	1	52	8								63	54.1
		女						31	22				1			1	55	
		小計			1	1	1	83	30				1			1	118	
	1～2年	男		1	1			18	2								22	16.5
		女			1			13									14	
		小計			2			31	2								36	
	3～4年	男						10									10	7.8
		女						7									7	
		小計						17									17	
	5～9年	男						11									11	9.2
		女						9									9	
		小計						20									20	
	10～19年	男						12	1								13	8.3
		女						5									5	
		小計						17	1								18	
	20～29年	男						4									4	2.8
女							2									2		
小計							6									6		
30年以上	男						3									3	1.4	
	女															0		
	小計						3									3		
計	男		1	2	1	1	110	11				0				0	126	100.0
	女		0	1	0	0	67	22				1				1	92	
	計		1	3	1	1	177	33				1				1	218	
	構成比		0.5	1.4	0.5	0.5	81.2	15.1				0.5				0.5	100.0	

病類 (ICD)			脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
年度	期間	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
24	1年未満	男		13	8	1	8	133	83		20	2	4	6		4	282	95.4
		女		5	2	3	1	142	70		14	1	13	5			256	
		小計		18	10	4	9	275	153		34	3	17	11		4	538	
	1～2年	男						4									4	0.9
		女						1									1	
		小計						5									5	
	3～4年	男						7									7	2.1
		女						5									5	
		小計						12									12	
	5～9年	男		1				1									2	1.2
		女						4	1								5	
		小計		1				5	1								7	
	10～19年	男															0	0.0
		女															0	
		小計															0	
	20～29年	男						1									1	0.2
女																0		
小計							1									1		
30年以上	男						1									1	0.2	
	女															0		
	小計						1									1		
計	男		14	8	1	8	147	83		20	2	4	6		4	297	100.0	
	女		5	2	3	1	152	71		14	1	13	5			267		
	計		19	10	4	9	299	154		34	3	17	11		4	564		
	構成比		3.4	1.8	0.7	1.6	53.0	27.3		6.0	0.5	3.0	2.0		0.7	100.0		

ケ 病類別・転帰別退院患者数

病類 (ICD)			脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
年度	転帰	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
25	全快	男															0	0.0
		女															0	
		小計															0	
	軽快	男		4	2	9		97	48		8			2		13	183	66.4
		女		1		4		94	57		24			1		19	200	
		小計		5	2	13		191	105		32			3		32	383	
	未治	男			1			3	7								11	2.9
		女						2	2		2						6	
		小計			1			5	9		2						17	
	転医	男			5	6		58	8		3			2		9	91	27.9
		女			1			46	10		5			1		7	70	
		小計			6	6		104	18		8			3		16	161	
	死亡	男				1			3								4	0.7
		女															0	
		小計				1			3								4	
	鑑定了	男							1								1	0.3
		女							1								1	
		小計							2								2	
	医観法入院処遇終了	男															0	0.0
		女															0	
小計																0		
臨研終了	男								5							5	1.7	
	女								5							5		
	小計								10							10		
計	男	0	4	8	16	0	162	68	0	11	0	0	4	0	22	295	100.0	
	女	0	1	1	4	0	143	74	0	31	0	0	2	0	26	282		
	計	0	5	9	20	0	305	142	0	42	0	0	6	0	48	577		
	構成比	0.0	0.9	1.6	3.5	0.0	52.9	24.6	0.0	7.3	0.0	0.0	1.0	0.0	8.3	100.0		

病類 (ICD)			脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
年度	転帰	区分	老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
24	全快	男																
		女																
		小計																
	軽快	男	2	5	4	1	7	90	56		12	1	2	4	1	5	190	67.0
		女	3			1	1	105	82		13	1	10	2		2	220	
		小計	5	5	4	2	8	195	138		25	2	12	6	1	7	410	
	未治	男						1	6		1			1			9	4.6
		女			1	1		4	8		5						19	
		小計			1	1		5	14		6			1			28	
	転医	男		6	4		1	51	15		2		2	1		4	86	25.5
		女		2	1	1		42	14		4		3	3			70	
		小計		8	5	1	1	93	29		6		5	4		4	156	
	死亡	男						4									4	1.0
		女						1	1								2	
		小計						5	1								6	
	鑑定了	男						1									1	0.2
		女															0	
		小計						1									1	
	医観法入院処遇終了	男															0	0.0
		女															0	
小計																0		
臨研終了	男							7								7	1.8	
	女							4								4		
	小計							11		0						11		
計	男	2	11	8	1	8	147	84		15	1	4	6	1	9	297	100.0	
	女	3	2	2	3	1	152	109		22	1	13	5		2	315		
	計	5	13	10	4	9	299	193		37	2	17	11	1	11	612		
	構成比	0.7	3.6	2.0	2.3	0.5	49.2	26.2		7.9	0.2	3.0	2.3	0.0	2.1	100.0		

コ 病類別・在院期間別退院患者数（25年度）

病類(ICD)	期間	区分	脳器質性精神障害 (F0)		中毒性精神障害 (F1)			統合失調症 (F2)	気分障害 (F3)	神経症性障害等 (F4)		生理的障害等 (F5)	人格障害 (F6)	精神遅滞 (F7)	てんかん (G4)	その他	計	構成比
			老人性精神障害	その他脳器質性精神障害	アルコール	覚醒剤	その他中毒性精神障害			心因反応	その他神経症性障害							
1年未満	男			4	8	16		148	67		11			4		20	278	96.9
	女			1	1	4		142	74		31			2		26	281	
	小計			5	9	20		290	141		42			6		46	559	
1～2年	男							8	1							1	10	1.7
	女							0	0							0	0	
	小計							8	1							1	10	
3～4年	男							2									2	0.5
	女							1									1	
	小計							3									3	
5～9年	男							1								1	2	0.3
	女							0								0	0	
	小計							1								1	2	
10～19年	男							2									2	0.3
	女							0									0	
	小計							2									2	
20～29年	男																0	0.0
	女																0	
	小計																0	
30年以上	男							1									1	0.2
	女							0									0	
	小計							1									1	
計	男			4	8	16		162	68		11			4		22	295	100.0
	女			1	1	4		143	74		31			2		26	282	
	計			5	9	20		305	142		42			6		48	577	
	構成比			0.9	1.6	3.5		52.9	24.6		7.3			1.0		8.3	100.0	

(3) 救急医療の状況

年度		月												
区分		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
25	取扱件数	(8)	(19)	(19)	(11)	(13)	(15)	(15)	(6)	(20)	(8)	(10)	(12)	(156)
		12	29	25	22	21	23	22	14	29	15	15	19	246
	入院	(8)	(13)	(18)	(8)	(12)	(15)	(13)	(5)	(18)	(8)	(10)	(12)	(140)
		12	19	21	12	14	20	17	14	23	14	13	17	196
	外来処置	(0)	(6)	(1)	(3)	(1)	(0)	(2)	(1)	(2)	(0)	(0)	(0)	(16)
		0	10	4	10	7	3	5	0	6	1	2	2	50
24	取扱件数	(10)	(12)	(13)	(12)	(8)	(13)	(19)	(11)	(13)	(22)	(14)	(14)	(161)
		24	19	15	22	16	24	27	21	23	28	21	27	267
	入院	(10)	(10)	(13)	(11)	(7)	(12)	(16)	(11)	(11)	(21)	(10)	(13)	(145)
		18	15	15	18	10	19	21	20	17	25	14	20	212
	外来処置	(0)	(2)	(0)	(1)	(1)	(1)	(3)	(0)	(2)	(1)	(4)	(1)	(16)
		6	4	0	4	6	5	6	1	6	3	7	7	55

(注) () は、精神保健診察件数で内数

5 業務の状況

(1) 看護

ア 看護局の概要

(ア) 病院機能と看護職員配置（H25. 3. 31現在）

看護局長 1名		副看護局長（業務担当）1名 （教育担当）1名			
病棟	病棟機能	病床数	看護科長	看護職員 定数	病棟 技能員
A-2	ストレスケア病棟 開放病棟	37 保護室 1	1	16	2
A-3	総合治療病棟 閉鎖病棟	50 保護室 6 静養室 6	1	20	2
B-1	救急病棟 閉鎖病棟	26 保護室14 静養室 4	1	29	2
B-2	救急病棟 閉鎖病棟	34 保護室 6 静養室 5	1	20	2
B-3	医療介護病棟 （含重症認知症・結核） 閉鎖病棟	45 結核 2 一般病床 保護室 2 静養室 2	1	24	2
C-2	一般病棟 閉鎖病棟	60 保護室 3 静養室 2	1	20	2
F病棟 （医療観察法病棟）	医療観察法病棟 閉鎖病棟	33	1	42	1
休 床		23			
小 計		308	7	171	13
外 来			1	6	
医療安全推進室				1	
地域医療相談室				4	
デイ・ケア				1	
看護教育科				1	
看護局	看護管理			3	
合 計			8	187	13

(イ) 看護局活動

<看護局理念>

私たちは患者さんの尊厳と人権を尊重し最善の利益を考えた看護を提供します。

<看護局方針>

患者さんの自己決定・自立を支援し患者さんと共に可能性にチャレンジします。

〈平成25年度 看護局目標評価〉

看護局目標	中位目標	下位目標	評価指標
I 新棟整備に参画し、精神医療センターの未来に向けて環境を整えます。	1. 電子カルテ導入に向けた記録類の整備を行う。	- 電子カルテ導入に向けた勉強会をそれぞれのセクションで企画することができる。 - 電子カルテ導入に向けた記録類の整備ができる。	- 勉強会を各セクション毎に企画をし、全てのスタッフが参加できる。 - 看護支援システムを活用した看護計画を100%立案することができる。
	2. 多職種と協働した病棟・外来の整備を行う。	多職種と定期的な患者カンファレンス等、協働できるシステムを構築する。	多職種との定期カンファレンスの実施。
	3. 働き易く、やりがいのある職場環境の整備を行う。	働きやすい職場作りについて検討し、問題点、改善点を抽出できる。	職員満足度調査でやりがいの項目が前年度結果を上回る。
II 患者さんの自立を推進し、満足度の高い看護を提供します。	1. 個々の能力・経験を活かした人材育成に努める。	院内教育計画に沿った研修が実施できる。	ステップ申請者が計画された研修を受講し、申請できる。

看護科長会（業務検討） ○電子カルテ導入 ○基準等の整備

評 価																	
2セクションで現在使用しているオーダーリングの操作について、電子カルテ導入前の準備として、オーダーリング操作の不慣れなスタッフを対象に操作訓練を実施した。電子カルテの勉強会を企画ができなかったセクションが8セクションであった。また、電子カルテ運用状況を知るために他施設（曽我病院）への見学会を企画、記録委員、標準看護プロジェクト担当者を中心に11名が参加することができた。 - 看護支援システムでの看護計画は、100%立案できており目標は達成できた。 【課題】 - 導入する電子カルテシステムが決定した後、基幹システム構築に向けてより具体的に作業を進めていく。																	
- それぞれのセクションで多職種との連携を意識し、定期カンファレンスを実施した。ストレスケア（A2）病棟や救急（B1）病棟では、パスを使用していく中で、多職種とのカンファレンスを実施することができた。各セクションの状況は下記の通り。 <table border="1"> <tr> <td>A2</td><td>100%多職種が参加してカンファレンスが実施できた。多職種との情報共有も円滑に行うことができ、3ヶ月の退院促進も遂行できた。</td></tr> <tr> <td>A3</td><td>社会復帰に向けた行動拡大の為、多職種カンファレンスを実施することができた。</td></tr> <tr> <td>B1</td><td>統合失調症クリニカルパスで多職種カンファレンスは実施できたが、ステップアップカンファレンスの実施率は55%にとどまった。</td></tr> <tr> <td>B2</td><td>統合失調症クリニカルパスで多職種カンファレンスは実施できた。患者参加型のカンファレンスは1名であった。</td></tr> <tr> <td>B3</td><td>多職種カンファレンスは毎月開催することができた。</td></tr> <tr> <td>C2</td><td>多職種との退院促進カンファレンスは毎月開催することができた。</td></tr> <tr> <td>F</td><td>多職種チーム（MDT）で協働し、カンファレンスを実施することができた。しかし、連携していく上での課題もあった。</td></tr> <tr> <td>せりがや2階</td><td>随時、多職種と協働しカンファレンスを実施したが、定期カンファレンスの実施には至らなかった。</td></tr> </table> 【課題】 - 地域との連携を念頭に置き引き続き多職種カンファレンスを継続していく。		A2	100%多職種が参加してカンファレンスが実施できた。多職種との情報共有も円滑に行うことができ、3ヶ月の退院促進も遂行できた。	A3	社会復帰に向けた行動拡大の為、多職種カンファレンスを実施することができた。	B1	統合失調症クリニカルパスで多職種カンファレンスは実施できたが、ステップアップカンファレンスの実施率は55%にとどまった。	B2	統合失調症クリニカルパスで多職種カンファレンスは実施できた。患者参加型のカンファレンスは1名であった。	B3	多職種カンファレンスは毎月開催することができた。	C2	多職種との退院促進カンファレンスは毎月開催することができた。	F	多職種チーム（MDT）で協働し、カンファレンスを実施することができた。しかし、連携していく上での課題もあった。	せりがや2階	随時、多職種と協働しカンファレンスを実施したが、定期カンファレンスの実施には至らなかった。
A2	100%多職種が参加してカンファレンスが実施できた。多職種との情報共有も円滑に行うことができ、3ヶ月の退院促進も遂行できた。																
A3	社会復帰に向けた行動拡大の為、多職種カンファレンスを実施することができた。																
B1	統合失調症クリニカルパスで多職種カンファレンスは実施できたが、ステップアップカンファレンスの実施率は55%にとどまった。																
B2	統合失調症クリニカルパスで多職種カンファレンスは実施できた。患者参加型のカンファレンスは1名であった。																
B3	多職種カンファレンスは毎月開催することができた。																
C2	多職種との退院促進カンファレンスは毎月開催することができた。																
F	多職種チーム（MDT）で協働し、カンファレンスを実施することができた。しかし、連携していく上での課題もあった。																
せりがや2階	随時、多職種と協働しカンファレンスを実施したが、定期カンファレンスの実施には至らなかった。																
- 職員満足度調査の仕事にやりがいを感じているかの設問に対する回答で、平成24年度と25年度では大きな差異は見られなかった。結果は以下の通りである。肯定的回答：217名（78%）、否定的回答：58名（21%）であった。職種別では、肯定的回答：医師100%、コメディカル89%、事務職が80%、看護職72%、否定的回答：看護職26.0%、事務職12%、コメディカル11%であった。医師については、昨年度に続き、肯定的回答が100%となっている。 【課題】 - やりがいの項目で、前年度から大きな差異が見られなかったため、今年度の調査結果をそれぞれの部署が持ち帰り、問題点、改善点を抽出してやりがいの項目の肯定的回答が上昇できる取り組みが必要。																	
- 院内研修は研修担当者、担当科長、現任教育、教育科との連携のもと、計画通りに実施することができた。 - 平成25年度ステップ申請者は、ステップⅠ 10名、ステップⅡ 16名、ステップⅢ 7名、ステップⅣ 5名であった。 この申請者すべてが合格しており、目標は達成できた。 【課題】 - 次年度は、せりがや病院と統合し、新病院へ移転するため院内教育計画の見直しが必要。																	

(ウ) 看護教育

a 平成25年度 院内教育研修実施状況

研修名		ねらい	方法	研修日	時間	対象者	人数	担当
支 援 ブ ロ グ ラ ム	採用時研修	精神医療センター組織の一員としての自覚を持つことができる（新卒新採用・転入者）＊既卒者・転入者は希望項目参加	・講義 ・演習 ・病院見学	4/1(月) ～4/4(木) 4/8(月)	5日間 (1日8時間) (8:30-17:15)	平成25年度 新採用者 既卒新採用者 転入者	23名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 看護教育科
	接遇研修	看護師として必要な接遇の実際を学ぶ	・講義 ・ロールプレイ	5/31(金)	3時間15分 (14:00-17:15)	平成25年度 新採用者 転入者	14名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 看護教育科
	基礎技術研修② (精神科看護技術)	精神科における専門的な看護技術の実際を学ぶ	・講義 ・デモンストレーション ・演習	4/30(火)	3時間45分 (13:30-17:15)	新卒新採用 者他科長が 必要と認め た者	22名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師3名
	基礎技術研修① (救急蘇生法)	看護師として必要な急変時の基礎的対応を学ぶ	・講義・演習 ・デモンストレーション	6/20(木)	3時間45分 (13:30-17:15)	新卒新採用 者他科長が 必要と認め た者	14名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師4名 主任看護師1名
	フォローアップ 研修 (新卒新採用)	入職してからの3ヶ月を振り返り、今後の看護実践への活力につなげる	・自然散策 ・GW	6/25(火)	3時間 (9:00-12:30)	既卒新採用 者・転入者	6名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 看護教育科
	フォローアップ 研修 (既卒・転入)	入職してからの様々な思いや看護を、仲間と共有し、精神医療センターの看護師としてこれまでの経験を活かしながら取り組んでいく心構えができる	・自然散策 ・GW	6/4(火)	3時間45分 (13:30-17:15)	新卒新採用 者	15名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
ス テ ッ プ I	看護倫理Ⅰ (看護専門職としての倫理)	専門職としての倫理を再確認し、センターの看護師としての行動につなげる	・講義「看護倫理とは」 ・GW (WILL/CAN/MUST)	10月～ 11月の うち3 日間 7/2(火)	1時間45分 (15:30-17:15) 3時間45分 (13:30-17:15)	ステップⅠ を申請する 者	12名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
	看護過程Ⅰ (看護理論の理解)	V.ヘンダーソンの看護論を学習し、看護実践のための観察・判断能力を養う	・講義 (ヘンダーソン看護論について) ・GW (ペーパーペーシエントを用いて)	7/8(月) 7/30(火) 外部講師	2時間15分 (15:00-17:15) 3時間45分 (13:30-17:15)		10名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名 教育担当副看護局長 せりがや病院看護科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	チームメンバー 研修	チームナーシングについて理解を深め、メンバーシップを発揮するための能力を養う	・1日以上リーダーと共に行動する。 ・講義「チームナーシングとは」 ・GW (カード法)	12/3(火)	3時間45分 (13:30-17:15)		10名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	看護倫理Ⅱ (精神科看護と倫理)	精神科看護における倫理的課題について理解する	・講演会 (公開) ・討議 ・セクション発表	6/21(金)	3時間45分 (13:30-17:15)		20名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
ス テ ッ プ II	リーダーシップⅠ (チーム医療におけるリーダーシップ)	チーム医療の中で、リーダーシップを発揮できる能力を養う。	・講義「チームリーダー、リーダーシップ」 ・GW (カード法)	9/17(火)	3時間45分 (13:30-17:15)	ステップⅠ 以上の者、 また看護科 長が認める 者	20名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	看護過程Ⅱ (事例検討)	自己の看護を客観的に見つめ、個性性を踏まえた看護実践について考える	・GW (事例について考える)	11/15(金)	2時間15分 (15:00-17:15)		17名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名

研修名		ねらい	方法	研修日	時間	対象者	人数	担当
ステップⅢ	人間関係研修	看護師としてのアサーティブなコミュニケーションを行うための知識・技術を学ぶ	・講義（公開） ・演習	10/25(金) 外部 講師	8時間 (9:00-17:15)	ステップⅡ以上の者 また、看護科長が認める者	19名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	リーダーシップⅡ (問題解決)	問題解決法を学び、セクションの課題を捉え、リーダーシップ能力を発揮した問題解決への取り組みができる	・講義、GW	6/3(月)	3時間15分 (14:00-17:15)		10名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
			・GW（テーマ、計画の検討）	7/23(火)	3時間15分 (14:00-17:15)			
			・GW（取り組み経過の検討）	9/25(水)	3時間15分 (14:00-17:15)			
			・取り組み発表	12/20(金)	3時間15分 (14:00-17:15)			
	看護過程Ⅲ (看護理論の活用①)	Ⅴ.ヘンダーソンの看護論の理解を通じて自己の看護実践の意味づけができる	・講義（ヘンダーソン看護論について） ・「ケース・スタディとは」	7/19(金)	3時間45分 (13:30-17:15)		8名	教育担当副看護局長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
			・ケーススタディ発表	9/27(金)	3時間45分 (13:30-17:15)			
ステップⅣ	看護過程Ⅳ (看護理論の活用②) ＊専門研修読み替え可	セルフケア理論（オレム-アンダーウッド看護論）を学習通して精神看護についての理解を深める	・オリエンテーション（研修の進め方）	10/7(月)	3時間15分 (14:00-17:15)	ステップⅢ以上の者 また、看護科長が認める者	9名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
			・GW（事例について考える）	12/19(木)	3時間45分 (13:30-17:15)			
	教育研修	スタッフ教育ができる能力を養う	・講義「講義案作成」	6/18(火) 講義:公開	3時間45分 (13:30-17:15)		7名	
			・GW 講義案の検討	9/2(月)	3時間45分 (13:30-17:15)			
			・講義案に基づいて実践	12/2(月) 12/9(月)	未定			
	看護研究	日常の課題を研究的視点で捉え探求のためのリーダーシップが取れる	・4月オリエンテーション	4/16(火)～2/1(土) 看護研究発表			2名	
	Ⅴ	教育活動	ポイント制＊累積50ポイントで申請ができる。教育活動・研究活動の双方は必ずポイントをとる。 ただし、10ポイントは看護研究を院外発表することにより取得する。					
研究活動								
役割研修	新主任研修	主任としての認識を深め、自己の役割に積極的に取り組める	・講義 ・GW（カード法）	4/15(月)	3時間15分 (14:00-17:15)	平成25年度 新主任看護師	6名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	プリセプターⅠ	プリセプターシップについて理解しプリセプターとしての役割行動につなげることができる	・講義 ・ロールプレイ	1/24(金)	3時間45分 (13:30-17:15)	平成25年度 プリセプター予定者	9名	
	プリセプターⅡ	指導の中で生じた疑問や不安を軽減し、プリセプターとしての自己の課題を明確にできる	・GW（レポートをもとに討議）	6/10(月)	3時間45分 (13:30-17:15)	平成26年度 プリセプター予定者	9名	
	実習指導者新任研修	実習指導者としての役割を学び、看護教育についての理解を深める	・講義 「実習指導者の役割」	4/26(金)	1時間45分 (15:30-17:15)	平成25年度 実習指導担当者	9名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
静脈注射研修	静脈注射の実際	医師の指示に基づいた静脈注射を安全に実施するために必要な知識・技術を習得する	・講義1回（7/11） ・演習 ・テスト	7/～8/の間		精神医療センター看護職員（非常勤、契約除く）	25名	静脈注射検討部会
精神看護専門研修	精神看護専門研修	主任としての認識を深め、自己の役割について積極的に取り組める。		期間: 2年間	2時間 14:00-16:00	・精神科看護経験4年間ある者 ・キャリア形成過程ステップⅢ以上	7名	教育担当副看護局長 看護教育科

研修名		ねらい	方法	研修日	時間	対象者	人数	担当	
講	看護研究基礎研修	論理的思考を養うとともに、チームの一員として研究に取り組むための基礎的知識を養う	・講義「看護研究のための基礎」	5/8(水)	1時間15分 (16:00-17:15)	本年度看護研究に取り組む看護職員とそのメンバー	19名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科	
				5/13(月)	1時間15分 (16:00-17:15)				
			・Aグループ1回目 4セッション個別指導	5/29(水)	2時間15分 (15:00-17:15)				
			・Bグループ1回目 4セッション個別指導	5/30(木)	2時間15分 (15:00-17:15)				
			・Aグループ2回目 4セッション個別指導	6/25(火)	2時間15分 (15:00-17:15)				
			・Bグループ2回目 4セッション個別指導	6/26(水)	2時間15分 (15:00-17:15)				
演	公開講義	認定看護師が企画	老年期精神障害看護 「老年期精神障害と看護」	11/27(水)	1時間30分 (17:30-19:00)	全看護職員 院外看護職員	院内：10名 院外：6名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名	
			行動制限最小化看護 「隔離・拘束の安全性について」	12/6(金)			院内：12名 院外：7名		
			精神科薬物療法 「不眠時の看護と睡眠薬の使い方」	12/17(火)			院内：16名 院外：5名		
			うつ病看護 「回復過程に合わせた関わり方」	1/20(金)			院内：19名 院外：9名		
			退院調整看護 「地域移行支援の実際」	1/27(金)			院内：12名 院外：6名		
	等	精神科スキルアップ研修 (精神看護専門看護師による)	精神科における看護実践能力を高めるための知識を習得する	「精神科看護の基本的考え方」	5/24(金)		約各1時間 (16:00-17:15)		院内：27名 院外：3名
				「薬物療法における看護」	6/19(水)				院内：14名 院外：6名
				「精神科における家族支援」	7/18(木)				院内：9名 院外：3名
				「リハビリテーションと社会資源」	8/29(木)				院内：12名 院外：9名
				「事例検討初級編」	9/27(金)				院内：20名 院外：2名
				「不安と怒りの捉え方」	10/21(月)				院内：19名 院外：5名
				「感情の活用」	11/19(火)				院内：11名 院外：4名
看護局主催講演会	病院移転の実際を知り、新棟整備に向けての動機づけを図る	講義	2/26(水) 外部講師	1時間30分 (17:30-19:00)	全看護職員	84名			
看護研究発表会	看護研究活動を通して得た成果を発表し相互の学びとする	発表会	2/1(土)	3時間30分 (9:00-12:30)		52名			
伝達講習会	院外研修の報告を受け、自己研鑽への動機づけとする	発表会	3/14(金)	2時間 (16:30-18:30)		60名			

b 平成25年度学会・院外研修参加状況

	主 催	学会名・研修名	開催地	開催日	人数
学 会	日本精神科看護技術協会	第38回日本精神科看護学会総会	宮城	5/31～6/2	2
		第20回 日本精神科看護学会専門学会Ⅰ	群馬	8/31～9/1	4
		第20回 日本精神科看護学会専門学会Ⅱ	山形	11/2～4	3
	日本看護協会	第44回 日本看護学会精神看護学術集会	群馬	9/19・20	1
		第44回 日本看護学会看護管理学術集会	大阪	9/19・20	1
	日本精神保健看護学会	第23回精神保健看護学会	京都	6/15・16	2
	日本環境感染学会	第29回日本環境感染学会総会	東京	H26.2/14・15	2
	精神科救急学会	第21回精神科救急学会	東京	10/14・15	2
	クリニカルパス学会	第14回日本クリニカルパス学会	岩手	11/1・2	2
	神奈川看護教育フォーラム	第15回神奈川看護教育フォーラム	県内	H26.3.15	1
				小 計	20
研 修	国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所	第7回精神科医療評価均てん化研修	東京	6/12	9
		第7回精神科医療均てん化研修	東京	6/13・14	1
		第10回摂食障害看護研修	東京	11/6～8	1
	全国自治体病院協議会	精神科特別部会 第51回総会・研修会	茨城	8/28～30	1
		看護管理研修会	東京	11/27～29	1
		第2回 接遇トレーナー研修会	東京	12/18～20	1
	医療観察法関連職種	第9回医療観察法関連職種研修	沖縄	6/28～29	2
	神奈川県看護協会	A群 看護記録の本質	県内	6/11	1
		明日から出来る退院支援と退院調整	県内	6/17	1
		B群 看護と倫理	県内	H26.2.19	1
		D群 家族看護	県内	4/17/13	1
		看護関連施設基準と診療報酬について	県内	9/6	3
		楽しく5Sにチャレンジ	県内	9/9	3
		うつ病対策パートⅢ	県内	10/17	3
	精神科看護技術協会	水中毒の理解とケア	東京	7/28	2
		統合失調症の理解とケア	東京	11/23	3
		包括的暴力防止プログラムトレーナー認定研修会(会費:40,000円自己負担)	東京	H26.3/1～4	3
	神奈川県精神科看護技術協会	精神科看護新任者研修会	県内	6/10・6/17	13
		看護実践で活かせる認知行動療法	県内	5/14	1
		発達障害者の理解	県内	7/12	1
		地域移行支援看護	県内	H26.1月	3
	よこはま看護専門学校	臨床と共に取り組む“多様化する学生”の理解を深めた実習指導	県内	7/31	2
	横浜病院協会看護専門学校	発達障害者の理解と臨地実習指導の工夫	県内	8/27	1
	神奈川県立保健福祉大学	研究成果に基づく看護学実習の展開-教授方法の質向上に向けて-	県内	3/4	2

	主 催	学会名・研修名	開催地	開催日	人数
研	神奈川県立病院機構	新採用職員研修	県内	4/5	15
		看護職員研修専門Ⅰ	県内	8/10 9/11	2
		看護職員研修専門Ⅱ	県内	6/6 9/9	5
		看護職員研修管理Ⅰ	県内	6/27 7/23	3
		看護職員研修管理Ⅱ	県内	6/18 7/2 12/20	2
		看護職員研修管理Ⅲ	県内	8/1	4
修		高齢者摂食・嚥下障害支援研修	県内	H26.1/15～31 全5日	1
		認定看護管理者教育課程Ⅰ	県内	4/6～9/27	2
		認定看護管理者教育課程Ⅲ	県内	6/7～10/25	1
	北里大学看護キャリア開発・研究センター	実習指導者研修会	県内	5/31～H26.1/17	1
				小 計	97

c 看護職員講師派遣等実績

学 校 等	科 目 名	氏 名
神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科	精神看護方法論Ⅰ 治療・検査・症状のある人の看護 8時間	杉山 明子
神奈川県立衛生看護専門学校 第二看護学科	コミュニケーション技法 12時間	福田 伸一
	精神障害のある人の看護 6時間	中居 勝
神奈川県立よこはま看護専門学校	精神看護学Ⅲ 12時間	東 和明
	基礎看護学Ⅴ 3時間	横森 亜樹子 佐藤 孝慈
	ケーススタディ発表会	白石 美由紀 五十嵐理恵子
	卒業期看護技術演習	石田 正人
横浜市医師会看護専門学校	精神看護学Ⅱ（精神障害と看護） 15時間	原 隆子
社会保険横浜看護専門学校	精神看護方法論Ⅱ 7時間	中島 しのぶ 安藤 馨
	看護研究発表会	福田 里美
神奈川県立平塚看護専門学校	看護の統合Ⅰ	尾花 由美子
神奈川県立保健福祉大学	精神看護学Ⅱ	石田 正人
北里大学看護キャリア開発・研究センター	学生との教育的かわり 8時間	
北里大学大学院看護学研究科	精神看護学Ⅲ 14時間	
かながわ福祉サービス振興会	精神障害者ホームヘルパー研修 9時間	
保健福祉大学実践教育センター	認定看護管理者教育課程ファーストレベル 看護管理概論	尾花 由美子
	教員・教育担当者養成課程 看護管理概論	
	認定看護管理者教育課程サードレベル 統合演習	
	がん性疼痛を有する患者へのセルフケア支援演習	山口 いずみ

学 校 等	科 目 名	氏 名
神奈川県看護協会	看護管理Ⅱ～看護師長に求められる看護管理① 6時間	尾花 由美子
	新人看護職員・新人実地指導者合同研修 26時間	白石 美由紀
日本精神科看護技術協会	行動制限最小化の基本と演習	中谷 将
	医療安全推進フォーラム	二瓶 比呂志
	第38回日本精神科看護学術集会 座長	井上 美紀
日本精神科看護技術協会神奈川県支部	薬物乱用防止教室	黒田 明仁
	地域連携システムの現状	松島 正明
	トピックス研修	石田 正人
地域精神保健福祉機構	リカバリー全国フォーラム2013	幸村 幸男
	学校メンタルヘルスリテラシー教育	
神奈川県立病院本部	専門コースⅠ	長 文枝
	専門コースⅡ	石田 正人
	管理コースⅠ	尾花 由美子
	管理コースⅡ	前野 紀子
	管理コースⅢ	黒田 美智子
精神科領域で感染制御を考える会 医療法人社団 水野会 平塚十全病院	第1回精神科感染制御セミナー 標準予防策の手洗い、マスク・手袋の着用について	二瓶 比呂志
神奈川県立循環器呼吸器病センター	包括的暴力防止プログラムについて	白石 美由紀 山川 壽也 鹿野 哲夫 近藤 仁

d 執 筆

掲 載 先	内 容	氏 名
精神科看護5月号特集	高齢患者の特性を考慮した身体拘束の実施	中谷 将

e 学会発表等

- 1 杉本由美子：言語的交流が図れるようになった統合失調症患者への関わり－看護の過程より患者の変化を振り返る－. 第20回日本精神科看護学術集会 専門Ⅰ. 8月
- 2 柳田直子, 今村加奈, 高萩理恵子, 十日市知識：「多飲症」「水中毒」に関する文献研究－行動制限伊頼らない援助方法－第20回日本精神科看護学術集会 専門Ⅰ. 8月
- 3 大場なつき：精神科病院での胃ろう患者の経口摂取移行への取り組み－長期入院患者の摂食嚥下困難事例を通して-第20回日本精神科看護学術集会 専門学会Ⅱ. 11月
- 4 中満千夏, 落合浩子：精神科外来看護師が看護実践を行う上で活用している能力－インタビューから見えてきた精神科における特徴－. 第20回日本精神科看護学術集会 専門学会Ⅱ. 11月
- 5 斎藤充史, 横森亜樹子：精神看護実習に臨む看護学生の実習環境調整における認識－ウェルカムボードを使用して－第15回神奈川教育フォーラム., 3月

f 企画セミナー

- 1 脱法ハーブ患者への支援-精神科救急病棟と依存症病棟の連携を考える
芹香病院 石田正人、泉谷雅之、松島正明、せりがや病院小林眞津子

g. 見学・実習

項 目 名	対 象 者	人 数	実 施 月
看護教育実習生	看護師	4名	平成25年10月
保健福祉大学【保健医療福祉論Ⅰ】 現場訪問	大学生	12名	平成25年 8 月
病院見学	看護学生・看護師	13名	平成25年 4 月～平成25年12月 13回
インターンシップ（3月・7月・8月）	看護学生・看護師	32名	平成24年 3 月 平成25年 7 月・ 8 月
精神科認定看護課程	看護師	4名	平成25年10月～11月

h 実習生の受け入れ

学 校 名	実 施 月	人 数
横浜市病院協会看護専門学校	平成25年 6 月～10月	27人
横浜市医師会看護専門学校	平成25年 5 月～11月	31人
社会保険横浜看護専門学校	平成25年 5 月～12月	39人
県立衛生看護専門学校第一看護学科	平成25年 5 月～11月	36人
県立衛生看護専門学校第二看護学科	平成25年 6 月～11月	12人
県立よこはま看護専門学校	平成25年 5 月～11月	43人
県立保健福祉大学	平成25年 7 月～12月	39人
聖母看護学校	平成25年 9 月	30人
東京衛生学園	平成26年 2 月	12人
国際メディカルテクノロジー専門学校	平成25年 5 月	6人

(2) 作業療法 (OT)

当院の作業療法は、日常生活の回復を図り社会適応や自律を促すために様々なプログラムを実施している。作業療法科では安心していただける居場所の提供を基本に、参加患者の状態により活動プログラムや所属するグループを考慮し、参加患者の今後の目標を意識して治療に当たっている。

その内容は主に、

- ・社会復帰を目的とした活動
- ・コミュニケーションおよび自己表現力を高める活動
- ・共同作業を中心とした活動
- ・レクリエーション活動
- ・ADLおよびAPDL訓練を中心とした活動
- ・体力の維持・向上を目的とした活動
- ・生産的作業を中心とした活動
- ・面接および相談

である。

ここ数年に見る入院患者の状態は、3～6カ月で退院していく人が増える一方で、対人関係や作業能力などにおいて作業療法士とマンツーマンによる密度の高い関わりを必要とする人、集団場面での適応能力が低い人、集中力・持続力にかけ人、病棟から出てOTに参加することが難しい人など非常に多様化している。結果、作業療法室での作業療法に参加する人が減少している。一方、病棟OTに参加する人は昨年より延412件増加しており、年々増加傾向にある。そこで、平成26年12月より芹香病院・せりがや病院が統合されることは決定していたので、両院の作業療法士が話し合いの場を持ち、現在の入院患者にマッチするような新しいプログラムを実施するに当たっての検討を重ねている。また、「パワーアップセミナー」という作業療法士と心理士が協同して患者の疾病や服薬・自己表現についての理解を深めることのできるような講義や、「特別プログラム」という『やさしい書道』や『水曜ロードショー』など楽しみや気分転換を重視した幅広い層へ向けたプログラムを3カ月に1度程度の頻度で実施している。

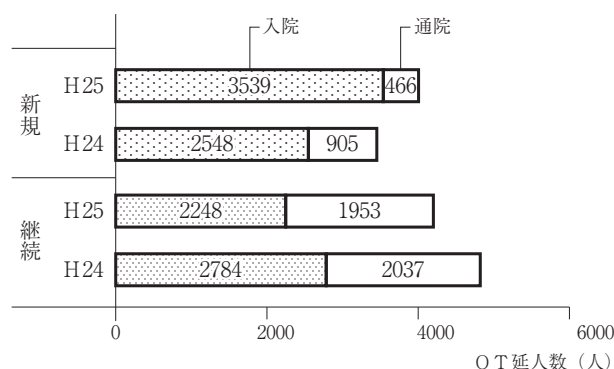
通院患者においては、デイケアとの機能分化を明確にするため25年度3月をもって外来OTⅡを除く外来OTを終了することとした。これに向け、10月より新規処方を受け入れを止め、担当患者と面接を行い患者自身の希望を優先にして今後の方向性について話し合った。その上でデイケア職員に外来OTを利用している方の特性を伝え、どのようなプログラムに参加していけるか討議した。その結果、デイケア科が『スモールグループ』という個人作業を中心とし大集団に交わることのないプログラムを新しく立ち上げてくれることになり、そこに多くの外来OT利用者が移行した。

(ア) 患者受け入れ状況

a OT実施人員

(単位：人)

区分 年度	実 人 員					
	新 規		継 続		計	
	男	女	男	女	男	女
25	260		161		421	
	104	156	103	58	207	214
24	234		160		394	
	121	113	100	60	221	173
対前年度比 (%)	111.1		100.6		106.9	
	86.0	138.1	103.0	96.7	93.7	123.7



b 月別実施延人員

年度 \ 月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
25	743	748	689	803	765	607	718	668	627	559	582	697	8,206
24	627	673	671	688	696	653	796	743	670	680	678	699	8,274
対前年度比(%)	118.5	111.1	102.7	116.7	109.9	93.0	90.2	89.9	93.6	82.2	85.8	99.7	99.2

c 患者別受け入れ状況

区分 \ 年度	F0 症状性を含む器質性精神障害	F1 精神作用物質使用による精神および行動の障害	F2 統合失調症	F3 気分（感情）障害	F4 神経症性障害	F5 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	F6 成人の人格および行動の障害	F7 精神遅滞	F8 心理的発達の障害	G4 てんかん	その他	計
25	3	9	247	147	8	1	2	3	－	1	－	421
24	11	2	208	144	15	－	3	5	4	2	0	394
対前年度比(%)	27.3	450.0	118.8	102.1	53.3	－	66.7	60.0	－	50.0	－	106.9

d 年齢別受け入れ状況

区分 \ 年度	20歳未満	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	計	平均年齢
25	4	36	89	121	97	74	421	46.9
24	4	38	95	110	74	73	394	46.8
対前年度比(%)	100.0	94.7	93.7	110.0	131.1	101.4	106.9	

e 病棟別患者受け入れ状況

区分 \ 年度	A2	A3	B1	B2	B3	C2	外来	計
25	94	42	58	59	36	62	70	446
24	92	39	31	34	33	65	100	418
対前年度比(%)	102.2	107.7	187.1	173.5	109.1	95.4	70.0	106.7

(イ) 転 帰

区分 \ 年度	継続	終 了												中断	計
		就労・復職	就職活動	就業所	デイ・ケア	生活保健教室	家庭復帰	施設	ア単パート身	転院	通業療法院	入院	その他		
25	137	12	5	5	32	1	143	14	2	39	4	1	3	23	421
24	181	12	－	3	6	1	106	12	6	18	22	4	8	15	394
対前年度比(%)	75.7	100.0	－	166.7	533.3	100.0	134.9	116.7	33.3	216.7	18.2	25.0	37.5	153.3	106.9

(ウ) 非請求件数

区分 年度	面 接		電話での相談及び アフターフォロー	訪 問	身体機能評価	算定なし※	計
	入院患者	外来患者					
25	31	30	1	1	2	36	101
24	37	71	22	1	10	73	214

※精神科作業療法は1日2時間を1単位として1回算定できるが、参加がそれを超えた場合

(エ) プログラム内容及び実施状況

a グループワーク

プログラム活動	件数	延人員	プログラム活動		件数	延人員
グループミーティング (今月のOTの活動内容やOT行事について話し合い)	17	82	病棟OT	A2	150	1,039
				A3	62	592
				B1	53	174
社会復帰訓練 (退院直前訓練、SST、栄養講座、OT行事の準備など)	143	502		B2	39	102
				B3	54	447
				C2	95	1,174
ADL訓練 (料理、掃除、環境整備など)	17	65	レクリエーション (DVD鑑賞、ゲーム、バス旅行、散歩など)		24	151
身体的活動 (体育、体力づくり散歩など)	53	353	合 計		707	4,681

b 導入及び評価グループ

グループ名	件数	延人員
フリースペース	185	708
ステップⅠ	92	264
あすなる	85	269
合 計	362	1,241

c 個人プログラム

種 目 名	件数	延人員	種 目 名	件数	延人員
ネット手芸	75	113	アクティビティ選択	7	7
絵画	55	58	裁縫	7	7
ビーズ細工	48	57	読書	6	6
スティック手芸	42	42	編み物	3	3
刺繍	40	43	将棋	2	4
勉強	37	37	塗り絵	2	2
紙細工	30	31	紙粘土	1	1
木工	28	34	小物作り	1	1
革細工	23	24	籐細工	1	1
パソコン入力	16	16	面接	1	1
刺し子	14	14	合 計	439	502

d 通院作業療法

グループ名	件数	延人員
外来OT	243	1,290
外来OTⅡ※復職支援のプログラム（作業療法担当分）	124	657
外来OTⅢ※気分障害を対象としたプログラム	90	472
合 計	457	2,419

(オ) 教育（見学・実習・講義）

a 見学・研修受入れ

年度 \ 区分		医療関係者	学 生 (医師・看護師)	院 内		そ の 他	計
				職 員	患 者		
25	件 数	0	41	11	4	6	62
	人 員	0	66	11	4	6	87
24	件 数	4	48	8	14	2	76
	人 員	10	103	9	19	2	143
対前年度比 (%)	件 数	0.0	85.4	137.5	28.6	300.0	81.6
	人 員	0.0	64.1	122.2	21.1	300.0	60.8

(3) デイ・ケア療法

外来の精神科患者を対象に社会生活機能の回復を図るため、昭和57年6月から試行し、昭和61年4月に精神科デイ・ケア療法大規模適合施設の承認を受け、本格実施した。実施にあつては、医師、看護師、作業療法士、精神保健福祉士、臨床心理士の多職種チームを構成し、対象者の社会生活支援を行ってきた。

開催日は月曜日から金曜日の週5日で、平日にいつでも利用できるようになっている。治療内容は、集団精神療法や日常生活訓練、SSTや就労関連プログラムなど心理教育的プログラムを中心に、茶道・華道など外部講師によるプログラムも取り入れ、利用者の要望に答えられるように多種に及んでいる。平成18年度から診療報酬の改正に伴い、3時間程度のショート・ケアが新設され、当院デイ・ケアでも8月10日より導入し、新規入所者で急性期離脱後の活動性の低い方や高齢で体力のない方、面接を中心とした支援で就労を継続したい方などに活用していただいている。また平成15年に医療観察法が制定され、平成17年より施行された。これを受け当院デイ・ケアでも医療観察法の対象者を積極的に受け入れている。

平成26年12月の新棟開棟に伴う外来リハビリテーションの再構築のため、平成25年11月からプログラムを再編成し、平成26年1月から外来作業療法患者のデイ・ケア移行を進めてきた。

訪問支援の実施としては、地域活動支援センター・生活訓練施設・就労移行支援事業所などの福祉施設やハローワーク・就労相談センターなどの就労支援機関へも同行し、円滑な地域生活への導入や移行に取り組んでいる。院内の他部門との連携としては、訪問看護部門との協力体制で主に単身者の生活を支援している。

また退院促進の一環として、退院間近の入院患者も受け入れ、円滑な地域生活への移行を図っており、平成22年度からは、医療観察法の入院処遇（社会復帰期）の対象者も受け入れている。

地域との連携では、地区の保健福祉センターや上記同様の福祉施設の他、他デイ・ケアとの交流（バレーボール大会や作品展）や港南区ネットワーク祭りなどに参加し、交流を深めている。そして、神奈川デイ・ケア連絡会の事務局補佐として、県内デイ・ケア施設との連携にも積極的に取り組んでいる。

その他、退所後の支援として、退所者やその家族との面接も行なっている。

ア デイ・ケア参加者

(ア) 月別参加者数

月 別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計 (右：月平均)	
在 籍 者 数		126	120	122	126	127	129	126	126	126	125	129	132	1,514	126.2
(う ち 入 院)		13	12	12	16	13	12	11	13	15	16	17	14	164	13.7
(うち医療観察者法通院者)		12	12	13	12	12	10	10	10	10	10	9	9	129	10.8
(就労・就学者数実数)		4	6	4	5	5	5	5	5	5	5	3	3	55	4.6
福祉施設等通所実数		30	26	27	25	25	26	27	26	26	25	20	20	303	25.3
延 数	参 加 者 延 数	884	885	824	902	887	723	798	751	722	746	683	730	9,535	794.6
	(う ち 入 院)	100	121	107	110	121	72	84	108	111	102	65	39	1,140	95
	(医療観察者法通院者)	77	83	73	71	74	68	64	48	66	54	44	50	772	64.3
	シ ョ ー ト 延 数	466	440	380	428	423	373	433	407	368	402	364	366	4,850	404.2
	(う ち 入 院)	89	73	64	72	82	63	65	79	55	63	45	26	776	64.7
平 均	参加者一日平均	42.1	42.1	41.2	41	40.3	38.1	36.3	37.6	38	39.3	35.9	36.5	468.4	39
	(う ち ショート)	22.2	21	19	19.5	19.2	19.6	19.7	20.4	19.4	21.2	19.2	18.3	238.7	19.9
実 施 日 数		21	21	20	22	22	19	22	20	19	19	19	20	244	20.3

(イ) 地域別参加者数

地域別 年 度	横 浜 市																	横	鎌	川	相	藤	そ	合	
	鶴	西	中	南	港	保土ヶ谷	旭	磯	港	戸	栄	泉	神奈川	金	緑	都	青	小	須	倉	崎	模	沢	の	計
	見	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	区	計	賀	市	市	原	市	他	計
平成25年度	2	4	7	25	32	5	4	18	1	17	5	3	6	6	0	1	1	137	2	1	0	2	2	3	147
平成24年度	2	4	5	26	43	8	3	20	1	23	5	3	6	6	1	0	1	157	2	2	1	0	1	4	167

(ウ) 年齢・病名別参加者数

年 齢 性 別 病 名	19歳以下			20～29歳			30～39歳			40～49歳			50歳以下			計		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
中毒性精神障害 (F1)										1		1	1		1	2		2
統合失調症 (F2)	2		2	12	11	23	29	8	37	25	13	38	20	5	25	88	37	125
気分（感情）障害 (F3)							1			2		2	1	1	2	4	1	5
人格及び行動障害 (F6)					1	1											1	1
精神遅滞 (F7)		1	1	1		1	3		3		1	1	2		2	6	2	8
そ の 他							1	1	2		2	2	2		2	3	3	6
計	2	1	3	13	12	25	34	9	42	28	16	44	26	6	32	103	44	147

イ プログラム内容

プ ロ グ ラ ム		小計	内 容 ・ 目 的
神 集 療 団 法 精	全体ミーティング	13	DC運営に関わる議題についてメンバー・スタッフで話し合う。
	グループミーティング(忘年会委員会)	8	行事ごとに委員会を作り、企画・立案・運営をメンバー・スタッフで実施していく。
	小 計	21	
訓 職 練 業 前	作 業	49	外部からの請負作業(やまゆり発送など)を通して、就労・作業所への準備性を高めていく。
	係の仕事	29	分担された係を体験していく中で就労・作業所などへの心構えや責任感を養っていく。
	就労勉強会・就労講座	15	就労のイメージ作り、就労への準備性を高める、現実的な目標を見出す。
	小 計	93	
創 作 活 動	創 作	22	創造性を養い、情緒の表出を図るため、絵画、手工芸、文芸、共同制作等を行う。
	垂れ幕作り	8	県下バレーボール大会の応援垂れ幕を応援グループで製作する。
	ものづくりサークル	11	様々な手芸品に挑戦する中で創る楽しさを体験していく。達成感を得る。
	お菓子づくり	12	お菓子作りを楽しむ。簡単な調理を経験する。
	思い出アルバム	10	外出や行事の写真の編集。役割分担をしながら実施しアレンジする。
	竹トンボ作り	1	外部講師の指導により竹トンボの製作。ボランティアとの交流を通し社会性を養う。
	布草履作り	1	外部講師の指導により布草履の製作。ボランティアとの交流を通し社会性を養う。
	小 計	65	
指 日 導 常 生 活	料 理・料理の買い物	62	能力・目的別にグループ分けをし、調理に取り組む。
	防災訓練(防災センター見学含む)	2	院内の訓練に参加することで非常時に備える。
	生活クラブ	11	日常生活に必要な知識・技能の習得を図る。参加者の自立を促す。
	小 計	75	
活 ク ラ ブ 動 ブ	グループ活動	16	担当スタッフ別のグループとなり、それぞれグループ活動に取り組む。
	クラブ活動	77	同好のメンバーが集まり、自主的にグループ運営を行なう
	小 計	93	
運 動 療 法	バレーボール	45	チームプレーを通して協調性を養う、体力作り、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的とする。
	ヨガ・健康体操・散歩	37	体力の維持、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的としグループで実施。
	ソフトボール・木曜スポーツ	28	チームプレーを通して協調性を養う、体力作り、身体を動かす心地よさを体験すること等を目的とする。
	スポーツ大会(含む、準備、交流試合)	5	大会などの目標に向けてチームワークを体験する。他施設との交流会の準備・実施を行う。
	体力測定	2	現在の体力を把握し、事故の身体への意識を高める。
	小 計	117	
音 楽 療 法	コーラス	21	外部講師の指導により、合唱の練習をし年数回成果を発表。
	ドラム	4	外部講師の指導により、ドラムを中心とした打楽器を皆で演奏をする。
	楽器演奏	10	楽器に興味のある人が集まり、楽しみながら演奏をする。年数回成果を発表。
	小 計	35	
認 知 行 動 療 法 ・ 心 理 教 育 他	生活設計研究会	32	病気や薬、社会制度や経済的な知識を得、将来の生活の見通しを立てられるようになるための心理教育等。
	健康・栄養講座(健診含む)	9	身体的な自己管理に関心を持つことを目的とし健康に関する講義を受ける。
	SST	23	対人関係の改善を目的に、課題の場面を演じながら訓練を行う。
	服薬クラブ	11	服薬の必要性を学び自己管理の練習をする心理教育。
	気持ちのコントロール	12	怒りを中心とした自分の感情を認識しコントロールする方法を学ぶ
	認知行動療法	19	病気の症状についての対処法を身に付けるための心理教育
	福祉講座(施設見学含む)	11	精神障害者の動向や福祉制度の状況などを知る機会とする。
	ダイエット	23	肥満の健康上の問題を認識し、ダイエットの手法を学び体重の自己管理をしていく。
	社会人クラブ(月曜SST)	11	社会生活する上での常識とされることやマナーの実践を学び役立てていく。
	小 計	151	
シ ョ ン レ ク リ ー エ ー 活 動	パーティ、打上げ(含む、準備)	13	忘年会、歓送迎会等の準備、実施。
	外出(含む、準備)	3	社会性を養い、視野を広げることを目的とする。
	バザー、DCコンサート・港南ネット祭り・デイクア作品展(含む、準備)	30	入院患者・職員との交流、地域福祉施設との交流を図るために参加。
	かき氷大会・すいか割り(含む準備)	3	夏の風物詩としての行事を行い楽しむ。
	小 計	49	
そ の 他	パソコン	29	外部講師の指導により、パソコンの操作を学ぶ。
	ニュースの窓	9	視野を広げる目的で各自新聞を持ち寄り自分に関心のある記事を紹介する。
	書 道	11	外部講師の指導により、各自好きな言葉を書き、添削を受ける。年数回成果を発表。
	茶 道	10	外部講師の指導により、お茶のたて方、飲み方を学ぶ。
	華 道	10	外部講師の指導により、お花のいけ方を学ぶ。
	新人オリエンテーション	11	新入所者に対し、メンバーがデイクアの説明を行う。
	アロマテラピー	3	外部講師の指導により、いろんな香りを楽しみながら、リラックスする方法を学ぶ。
	植物を育てる	23	花や野菜などの植物を育てることで季節を得ながら、達成感を得る。
	金曜クラブ(ゲーム・その他)	7	お茶を飲みながらスタッフ・メンバーでリラックスする時間を過ごす。
	メイクアップ講座	1	外部講師の指導により、メイクの方法を学び整容への関心を高める。
	頭のトレーニング	22	クイズ・パズル等を行うことで頭のリラックス、及び活性化を図る。
	リラクゼーション	2	ストレッチなどを行い、心身のリラックスを図る。
	英会話	9	外部講師の指導により、英会話について学ぶ。
	スモールグループ	68	大人数に馴染めない者を対象に、少人数で個々の課題を行う。
	琴コンサート	1	夏のイベントとして外部講師の琴演奏を鑑賞し日本の伝統に親しむ。
	趣味のグループ	6	自分の興味のある活動に各自取り組む。
	小 計	222	
合 計		921	

ウ 転 帰

(単位：人) H25. 3. 31現在

性別 \ 転帰	就 労	就労支 援移行	就労継 続支援	支 援 セ ンター等	就 学	家庭内 適 応	転院等	入 院	不適応	死 亡	中 断	その他	D C 延長	6ヶ月 未 満	計
男	3	6	1	7	0	3	0	3	6	1	3	0	55	14	102
女	2	0	3	5	0	0	2	0	1	1	4	0	14	13	45
計	5	6	4	12	0	3	2	3	7	2	7	0	69	27	147

〔家庭内適応〕…主婦、家事手伝い等を行っている者

〔中 断〕…病状悪化した者

〔そ の 他〕…他施設入所、転居、他D C

〔D C 延 長〕…終了せず延長を行い平成24年3月31日現在通院している者

〔6ヶ月未満〕…期間が終了しておらず平成24年3月31日現在通院している者

エ 個別支援

(ア) 相談件数

(単位：人)

手 段	本 人	家 族	退所者	その他関係機関など
電 話	166	59	20	265
面 接	961	47	6	68
見 学	－	－	－	32

(イ) 訪問件数

(単位：人)

職場、福祉施設など	18
-----------	----

(ウ) カンファレンス (医療観察法含む)

科 内 2,793 件	科 外 176 件
----------------	--------------

オ 家族会

開催月	テ ー マ	開催数	参加者数
5～6月	家族面談	2回	28名
7月	自立アシスタントについて	1回	12名
8月	当事者活動について	1回	6名
9月	施設見学	1回	0名
9月	健康講座「睡眠障害について」	1回	5名
10月	就労支援の概要、就労準備について	1回	4名
11～12月	家族面談	2回	17名
1月	地域で利用できる制度・サービスについて	1回	5名
2月	ヘルパーの話	1回	1名
3月	家族懇談会	1回	3名
合 計		12回	81名

カ 教 育

(ア) 研修・見学

(単位：人)

	医療関係者	福祉関係者	行政関係者	そ の 他	合 計
研 修	38	17	3	0	58
見 学	18	0	0	0	18

(4) 検査業務

ア 心理業務

心理室には常勤4名、契約1名、非常勤1名、計6名の心理士が在籍。うち2名は医療観察法病棟に配属、2名がストレスケア（A2）病棟に配属。

主な業務は心理検査、心理療法（心理面接）、医療観察法業務である。心理業務のうち心理検査は、精神医学的診断を補う目的や、パーソナリティの理解を深める目的で、必要に応じていくつかの検査を組み合わせ実施している。心理療法は外来ならびに入院患者を対象とし、一対一の心理面接、集団療法などの形態で必要な心理的ケアを提供するものである。主治医から依頼のあった患者に対し契約を結び、必要に応じて主治医との連携をとりつつ継続的な関わりを持った。診断は統合失調症、うつ状態、人格障害などであった。また作業療法に参加している入院患者を対象に、作業療法科との連携を図り疾病教育を実施した。その他に、医療観察法の鑑定に関わる心理検査、通院所処遇対象者への心理面接、多職種でのチーム会議などにも参加した。

ストレスケア（A2）病棟では、心理検査ならびに心理面接を実施した。他に、rTMS研究入院において、心理検査を実施した。

また、リワークプログラムにおいては、多職種で運営についての検討を重ね、協力してプログラム・各種面接を実施した。その他、リワークプログラムにおいては認知行動療法（集団精神療法）、テーマトーク（OTとの合同プログラム）を担当し、必要に応じて心理検査等を実施した。

医療観察法病棟においては、各種プログラムの企画運営、心理検査・心理面接の実施、対象者の外出・外泊への付き添い、MDT会議、CPA会議、治療評価会議等多職種チームの会議等に参加した。

(ア) 心理検査（平成25年度）

検査名		外来(リワーク含)	入院（医観法含）	rTMS研究	計
知能検査	WAIS-III	15	57	8	80
	WISC-IV	0	1	0	1
	田中ビネー	0	0	0	0
	コース立方体	0	0	0	0
人格検査	ロールシャッハ人格診断検査	12	66	0	78
	SCT文章完成法	7	65	0	72
	描画検査（バウムテスト等）	11	62	0	73
	P-Fスタディ	4	18	0	22
	その他の人格検査	0	0	0	0
その他の心理検査	ベンダーゲシュタルトテスト	0	0	0	0
	内田クレペリン検査	0	0	0	0
	MMSE、HDS-R	10	41	0	51
	COGNISTAT	2	5	0	7
	WMS-R	0	2	0	2
	HAM-D	23	3	64	90
	SCID	0	1	8	9
	STAI	0	1	0	1
	WSCT	0	3	28	31
	CES-D	1	290	0	291
	その他	2	8	229	239
計 （実人数）		87 (52)	623 (257)	337 (10)	1,047 (319)

(イ) 心理療法（平成25年度）

	外 来	入 院	リワーク	医療観察法病棟
心理面接等	432 (33)	129 (12)	－	660 (35)
集団プログラム等	0	0	168 (23)	291 (20)

※1 計欄（ ）は実人数を示す。

※2 外来移行後分含む。

(ウ) その他（平成25年度）

A2病棟 運営カンファレンスへの参加	12
リワーク・プログラム OTとの合同のプログラムの実施	168 (23)
リワーク・プログラム インテーク・復職準備評価面接の実施	88 (23)
リワーク・カンファレンスの実施	24
医療観察法（入院病棟）多職種チーム会議への参加	375
医療観察法（通院処遇）多職種チーム会議への参加	108

イ 放射線業務

検査科放射線は芹香・せりがや両病院のX線検査及びCT検査を行っています。平成18年度より、せりがや病院の入院患者様を毎週月・木曜日に芹香病院へ搬送し、外来患者様は随時芹香病院で検査を行っています。

a 芹香病院

検査は入院患者様の撮影が主です。一般撮影は、入院患者様の微減により、撮影件数が少なくなったものの年平均です。CT撮影検査は、ここ数年で見れば年々並みです。

b せりがや病院

昨年度と比較して、入院患者数が減少したため、CT撮影は減少、一般撮影は腹部の撮影が例年より多かったため、やや増加しました。

(ア) 一般撮影業務件数（人数及び撮影回数）

a 芹香病院

部位 月	頭 部				胸 部				腹 部				椎 骨				四肢骨				その他				合 計			
	人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数		人 数		回 数	
	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室	ポータル 撮影室
H25.4					5	63	5	74	1	37	1	48					1	2	2	6		1		2	7	103	8	130
5					5	63	5	74	3	44	3	59		1		2		3		7					8	111	8	142
6		1		4	1	57	1	69		36		42						4		8		1		2	1	99	1	125
7					1	68	1	76		45		54		2		4	1	1	2	2		1		4	2	117	3	140
8		2		4	4	56	4	66	4	34	4	42		3		6		6		18		5		12	8	106	8	148
9					4	54	4	63	3	29	3	37		1		2	1	4	2	8					8	88	9	110
10					4	69	4	75	1	52	1	72		2		4		6		14					5	129	5	165
11					6	46	6	52	3	35	3	49		1		2	1	1	4	2		3		5	10	86	13	110
12		2		4	2	58	2	63	2	39	2	47		1		2		3		7	1	2	2	4	5	105	6	127
H26.1						55		64		46		53		3		6	5	5	10	14		2		3	5	111	10	140
2		1		2	7	54	7	61	6	46	7	61						2		6					13	103	14	130
3					3	50	3	51	2	31	2	39		4		10		11		30		2		3	5	98	5	133
合計	0	6	0	14	42	693	42	788	25	474	26	603	0	18	0	38	9	48	20	122	1	17	2	35	77	1,256	90	1,600
構成比(%)	0.0	0.5	0.0	0.8	3.2	52.0	2.5	46.6	1.9	35.6	1.5	35.7	0.0	1.4	0.0	2.2	0.7	3.6	1.2	7.2	0.1	1.3	0.1	2.1	5.8	94.2	5.3	94.7

b セリがや病院

部位 月	頭 部		胸 部		腹 部		椎 骨		四肢骨		その他		合 計	
	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数	人 数	回 数
H25.4			33	33	14	14	2	4	4	7			53	58
5			28	30	11	11							39	41
6			30	30	15	15			2	4			47	49
7			26	26	15	15							41	41
8	2	3	34	34	13	13			1	2	1	2	51	54
9			25	25	10	10			3	6			38	41
10			33	33	11	11			3	5			47	49
11			23	25	14	16	1	2					38	43
12			22	23	8	8	1	2			2	5	33	38
H26.1			19	19	10	10			4	9			33	38
2			14	15	4	5							18	20
3			19	19	14	17			2	6			35	42
合計	2	3	306	312	139	145	4	8	19	39	3	7	473	514
構成比(%)	0.4	0.6	64.7	60.7	29.4	28.2	0.8	1.6	4.0	7.6	0.6	1.4	100.0	100.0

(イ) CT検査業務件数

a 芹香病院

部位 月	頭 部			胸 部			腹 部			椎 骨			四肢骨			その他			合 計		
	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数
H25.4	46	917	957	3	121	204	4	165	203										53	1,203	1,364
5	54	1,099	1,146	4	232	364	2	113	114										60	1,444	1,624
6	54	1,091	1,131	3	124	215	1	6	12										58	1,221	1,358
7	54	1,108	1,148	2	78	138	2	108	108										58	1,294	1,394
8	46	980	1,088	2	146	212	2	71	124										50	1,197	1,424
9	44	895	935	1	65	94													45	960	1,029
10	60	1,209	1,258	3	152	243													63	1,361	1,501
11	33	660	680	5	209	341	3	62	62										41	931	1,083
12	45	900	1,020	3	113	210	4	193	240										52	1,206	1,470
H26.1	55	1,102	1,182	2	68	99	2	76	76										59	1,246	1,357
2	52	1,040	1,083	1	22	43	1	37	74										54	1,099	1,200
3	49	996	1,057	4	138	268	4	152	162										57	1,286	1,487
合計	592	11,997	12,685	33	1,468	2,431	25	983	1,175	0	0	0	0	0	0	0	0	0	650	14,448	16,291
構成比(%)	91.1	83.0	77.9	5.1	10.2	14.9	3.8	6.8	7.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0

b セリがや病院

部位 月	頭 部			胸 部			腹 部			椎 骨			四肢骨			その他			合 計		
	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数	人数	スライス数	画像数
H25.4	30	599	599																30	599	599
5	31	627	627	2	101	201													33	728	828
6	30	603	624	1	35	66	1	60	60										32	698	750
7	27	541	561	1	41	102	1	64	64										29	646	727
8	33	666	710																33	666	710
9	25	500	540																25	500	540
10	28	569	590	3	222	318													31	791	908
11	21	429	453	1	51	78													22	480	531
12	20	400	400	3	142	245													23	542	645
H26.1	20	409	409	1	33	65													21	442	474
2	15	302	302	1	45	78													16	347	380
3	18	361	361	1	56	90													19	417	451
合計	298	6,006	6,176	14	726	1,243	2	124	124	0	0	0	0	0	0	0	0	0	314	6,856	7,543
構成比(%)	94.9	87.6	81.9	4.5	10.6	16.5	0.6	1.8	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0

(ウ) 一般撮影業務件数推移

		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	前年度比(%)
芹 香 病 院	延べ人数	1,326	1,728	2,202	1,929	1,393	1,643	1,553	1,466	1,374	1,375	1,333	96.9
	延べ回数	1,649	2,278	2,920	2,619	1,877	2,105	2,062	1,844	1,699	1,710	1,690	98.8
せりがや病院	延べ人数	420	393	353	384	350	329	383	330	351	357	473	132.5
	延べ回数	544	505	421	400	373	350	480	388	371	371	514	138.5
合 計	延べ人数	1,746	2,121	2,555	2,313	1,743	1,972	1,936	1,796	1,725	1,732	1,806	104.3
	延べ回数	2,193	2,783	3,341	3,019	2,250	2,455	2,542	2,232	2,070	2,081	2,204	105.9

(エ) CT検査業務件数推移

		15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	前年度比(%)
芹 香 病 院	延べ人数	197	463	518	625	487	615	629	571	584	645	650	100.8
	延べ回数	2,471	8,613	11,463	14,317	10,612	13,833	14,988	13,197	13,294	14,376	14,448	100.5
	画像処理	2,605	9,668	14,280	17,451	12,375	15,675	17,594	15,454	15,242	16,107	16,291	101.1
せりがや病院	延べ人数	373	381	318	374	322	322	339	315	358	330	314	95.2
	延べ回数	4,505	4,604	4,089	7,174	6,504	6,795	7,290	6,844	7,722	6,896	6,856	99.4
	画像処理	4,542	4,653	4,094	7,277	6,665	7,305	8,172	7,435	8,324	7,220	7,543	104.5
合 計	延べ人数	570	844	836	999	809	937	968	886	942	975	964	98.9
	延べ回数	6,976	13,217	15,552	21,491	17,116	20,628	22,278	20,041	21,016	21,272	21,304	100.2
	画像処理	7,147	14,321	18,374	24,728	19,040	22,980	25,766	22,889	23,566	23,327	23,834	102.2

ウ 臨床検査業務

a 芹香病院

項 目 \ 件 数	平 成 25 年 度	平 成 24 年 度	増 減
一 般 検 査	11,548 件	10,354 件	1,194 件
血 液 学 的 検 査	19,397	17,689	1,708
生 化 学 的 検 査	53,766	41,859	11,907
免 疫 学 的 検 査	3,403	3,829	▲ 426
微 生 物 学 的 検 査	235	170	65
病 理 学 的 検 査	1	0	1
内 分 泌 学 的 検 査	1,799	1,668	131
生 理 機 能 検 査	1,191	1,323	▲ 132
そ の 他 の 検 査	0	0	0
計	91,340	76,892	14,448

b セリがや病院

項 目 \ 件 数	平 成 25 年 度	平 成 24 年 度	増 減
一 般 検 査	4,597 件	4,113 件	484 件
血 液 学 的 検 査	7,919	7,083	836
生 化 学 的 検 査	29,412	24,286	5,126
免 疫 学 的 検 査	1,877	1,732	145
微 生 物 学 的 検 査	40	27	13
病 理 学 的 検 査	0	0	0
内 分 泌 学 的 検 査	683	570	113
生 理 機 能 検 査	399	459	▲ 60
そ の 他 の 検 査	0	0	0
計	44,927	38,270	6,657

(5) 地域医療相談室業務

地域医療相談室はソーシャルワーカー10名、訪問看護師4名、および事務担当1名の計15名で構成されている。また独立行政法人化に伴う人事異動により、平成26年度の新病棟開棟に向けた地盤作りを進めている。相談内容は医療費・生活費などの経済的なこと、介護保険や障害者自立支援法などの福祉制度のこと、デイケアや地域作業所などの社会資源のこと、家族との関係や患者本人の対応法など多岐にわたっているが、何より本人並びに家族とのラポール作りと支援関係の継続を第一に業務を進めている。

救急医療については平成15年度にB1病棟が26床の救急病棟として整備され、そのうち16床が神奈川県基幹病院としてシステム救急用のベッドとなっている。残りの10床が院内救急用のベッドとなっている。救急については、本人・家族との面接や生活問題に関する調整をはじめ、県・横浜市・川崎市・相模原市担当課や後方病院との連絡調整などを関わっている。

地域移行（退院支援）については、平成15年度から長期在院者の退院促進に対する取り組み、入院患者の減少に伴う平成20年3月にA1病棟（認知症病棟）とC1病棟（一般開放病棟）が閉棟した時期の取組みを第1期、平成22～23年度のC2、C3病棟合併に伴う取組みを第2期として進めてきたが、新病棟に向けた更なる取組みが検討されている。

平成17年度から施行された医療観察法における指定医療機関として、鑑定入院および、通院医療、H21年度に小規模病棟から開始してH24年度からフル規格病棟での入院医療を受け入れているが、統括として医療観察担当者（兼任）を1名および病棟に3名配置して対応している。（オで再掲）。

平成20年4月からは自殺予防対策の一環としてうつ病を対象としたストレスケア病棟（A2）病棟が開棟しているが、病棟担当者（兼任）を2名配置して対応している。またリワークプログラムにも多職種チームのスタッフとして対応している。

権利擁護の視点からは抗告、処遇改善や退院請求への迅速な個別対応を行っている。また医療や経済、家族間の法的な問題への新たな窓口として、H23年5月からモデル事業として開始した横浜弁護士会による法律相談会は、本事業として今年度も月に1回の定例で開催した（カで再掲）。

平成15年度から実施された訪問看護の充実を図るために、18年度から訪問看護スタッフが4名配置されて実施している（イで再掲）。

家族に対する支援は個別的に継続している。地域支援については、地域作業所、グループホームの運営委員会、地域移行定着事業への協力、区の各種ネットワーク会議等への参加を強化している。また医療観察法指定医療機関のワーカーを中心とした、かながわ司法精神医療福祉ネットワークを主催、および全国医療観察法指定入院医療機関PSW連絡協議会に参加して連携の強化を図っている。

全国自治体病院協議会精神科特別部会のコメディカル部会（平成19年度より設置）には理事として出席し、全国の会員との交流や連携を推進している。

ア ソーシャルワーク業務

(ア) 内容別相談件数

｝ 医療観察、() はストレス、〈 〉 は救急を再掲

内 容	平 成 25 年 度			平成24年度計
	外 来	入 院	計	
受療相談、調整	1,628	678	2,306	3,798
経済関係 (32条申請、生活保護、年金、手当等)	619	883	1,502	2,299
治療生活に関すること (ケースワーク、家族調整他)	2,419	1,974	4,393	8,149
社会復帰に関すること(退院、施設他)	436	3,163	3,599	5,707
仕事に関すること	227	305	532	920
転院に関すること	50	115	165	686
権利に関すること	28	212	240	244
院内及び院外関係機関との連絡調整、 その他	3,482	3,503	6,985	11,278
計	8,889	10,833	19,722	35,081
	(543) 〈 1,804〉	(988) 〈 2,541〉	(1,531) 〈 4,345〉	(2,569) 〈 8,364〉

(イ) 実施方法別相談件数

内 容	平 成 25 年 度			平成24年度計
	外 来	入 院	計	
院内面接 (患者、家族、院内外関係者等)	2,936	3,734	6,670	9,594
電 話	4,506	4,510	9,016	13,784
文 書 (訪問依頼表、カルテ調べ等)	688	570	1,258	1,500
訪 問 (保健所、役所、作業所、家庭等)	207	377	584	2,878
カンファレンス	552	1,642	2,194	7,325
計	8,889	10,833	19,722	35,081

(ウ) 被相談者別相談件数

内 容	平 成 25 年 度			平成24年度計
	外 来	入 院	計	
本 人	2,596	2,735	5,331	6,698
家 族	1,767	2,363	4,130	4,563
院内関係者	2,437	3,206	5,643	13,551
院外関係者 (保健所、福祉事務所等)	2,076	2,529	4,605	7,847
その他 (職場、後見人、民生委員等)	33	7	40	95
計	8,909	10,840	19,749	32,754

イ 訪問看護業務

訪問看護は、地域医療相談室に所属する専任の看護師4名、ソーシャルワーカー10名、及び、外来看護師6名、病棟看護師数名が連携し訪問看護業務を実施している。訪問看護登録者は医療観察法対象の患者を含め170名を超え、訪問看護も見守りから病状の変化に応じて内容の濃いものになってきている。交通手段としては4台の訪問看護専用車の他に、病院公用車、一般交通を利用している。道路交通法の改正に伴い、駐車除外許可証が1年毎の更新となり、総務課と協力し許可証を取得している。訪問先は当院近隣の他、泉区、港北区、川崎市、横須賀市、鎌倉市、藤沢市、逗子市、高座郡と往復50km以上かかるケースもあり広範囲にわたっている。

地域との連携を大切にし、退院前カンファレンスや訪問看護評価カンファレンスでは、地域の関係者（福祉保健センターソーシャルワーカー、作業所職員、ケアマネジャー、ヘルパー等）に参加してもらい支援の共有化を図った。カンファレンスの場所も院内だけでなく、地域へ出向くケースも増えている。

ソーシャルワーカーの学生の実習も受け入れ、訪問看護の必要性和実感を学ぶ場を提供している。

また、県や市の職員の新人研修にも組み込み、必要性和協力を依頼している。

訪問看護運営会議では、地域医療相談室と他部門との連携を図り学習会を行い、訪問看護の質の向上および地域支援の理解普及に努めた。

(ア) 平成15年度から平成25年度までの年間訪問看護件数

年 度	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
件 数	342	746	1,152	2,113	3,118	2,888	2,903	2,966	3,004	2,969	2,592

(イ) 月別訪問看護件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
訪問件数	247	238	215	242	231	228	233	205	190	201	175	187	2,592
対 象 者	156	150	146	149	149	152	151	140	130	151	124	125	1,723
C F 件数	10	12	18	7	10	14	13	13	19	12	13	17	158

(ウ) 診療報酬別訪問件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間件数
訪 問 I	245	234	215	237	227	224	226	202	187	197	172	184	2,550
外 来 評 価	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
訪 問 II	0	2	0	2	0	2	0	0	0	0	0	0	6
退院前訪問	1	2	0	3	4	2	7	3	3	4	3	2	34
合 計	247	238	215	242	231	228	233	205	190	201	175	187	2,592

(エ) 月別新規申し込み件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
4	3	2	2	3	1	1	0	3	2	2	1	24

(オ) 病棟別新規申し込み件数

外来	A2	A3	B1	B2	B3	C2	合 計
14 (医観 4)	0	1	3	3	1	0	22 (4)

(カ) 終了ケース

目標達成	施設利用	転 院	入 院	中絶・拒絶	死 亡	その他	合 計
15	5	4	3	3	2	9 (5)	41 (5)

(キ) 疾患別分類

疾患名	統合失調症 (他疾患の 合併含む)	中毒性精神障 害(薬物・アル コール含む)	躁 鬱	知的障害	人格障害	強迫性障害	認知症	うつ病(老 年期含む)	その他	合 計
件 数	143	5	6	2	0	0	0	6	6	168

(ク) 地域別分類 (H26. 3月現在)

横浜市

地域	港南区	南区	磯子区	戸塚区	中区	泉区	保土ケ谷区	栄区	緑区	神奈川区
件数	31	41	9	26	3	7	7	8	0	5
地域	金沢区	西区	港北区	旭区	鶴見区	瀬谷区	青葉区	合 計		
件数	9	4	1	5	1	2	0	159		

県域

地域	川崎市	横須賀市	鎌倉市	逗子市	藤沢市	高座郡	合 計
人数	3	2	1	1	1	1	9

(ケ) 年齢別区分 (H26. 3月現在)

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	合 計
1	9	22	55	44	26	9	2	168

(コ) 男女・住居別区分

	男性	女性
単身生活	49	31
家族同居	39	37
施設入所	8	4
合 計	96	72

(サ) 訪問看護運営会議活動状況

訪問運営会議	内 容	訪問運営会議	内 容
①平成25年5月24日	H25年度の目標と計画 訪問看護マニュアルの見直しと整理	④平成25年11月22日	訪問看護の効果を高める社会資源に ついての学習 担当：PSW
②平成25年7月26日	訪問看護マニュアルの見直しと整理	⑤平成26年1月24日	訪問看護および退院前訪問看護 事例報告 2回目
③平成25年9月27日	訪問看護および退院前訪問看護 事例報告 1回目	⑥平成26年3月28日	H25年度の振り返り

ウ 地域連絡会議

県立病院地域医療会議

会 議 名	場 所	実 施 日
第1回 県立病院地域医療会議	こども医療センター	平成25年5月14日
第3回 県立病院地域医療会議	芹香病院	平成25年12月10日
第4回 県立病院地域医療会議	がんセンター	平成26年2月12日

港南区地域生活支援協議会

会 議 名	場 所	実 施 日
港南区障がい者地域生活支援会議	そよ風の家 そよ風の家 そよ風の家	平成25年5月9日 9月17日 11月20日

港南ネット会議

会 議 名	場 所	実 施 日
平成25年度 第1回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	平成25年5月10日
第2回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	7月12日
第3回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	9月13日
第4回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	11月8日
第5回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	平成26年1月10日
第6回港南ネット会議	港南中央地域ケアプラザ	3月14日

戸塚区連絡会（H22年度より出席）

会 議 名	場 所	実 施 日
戸塚区精神保健福祉連絡会・戸塚区生活支援センター運営連絡会	戸塚区役所 戸塚区役所 戸塚区生活支援センター	平成25年6月28日 10月18日 11月18日
戸塚区精神保健福祉業務連絡会	戸塚区役所	平成25年12月5日

エ 協議会、研修受け入れ、講師派遣等

協議会等

内 容	場 所	参 加 日
全国自治体病院協議会精神科特別部会	フェリヴェール サンシャイン（水戸）	平成25年8月28日～30日
第2回全国医療観察法指定 入院医療機関PSW連絡協議会	ウィリング横浜	平成25年11月22日～23日
平成25年度神奈川県 医療観察制度運営連絡協議会	横浜保護観察所	平成26年2月7日
第6回全自病精神科コメディカル部会 関東ブロック会議（なでしこ会）	剛堂会館	平成26年2月8日

実習生受入れ

依 頼 校	人 数	実 施 日
上智社会福祉専門学校	1 名	平成25年 6 月12日～ 6 月27日
東北福祉大学	1 名	平成25年 7 月 1 日～ 8 月 1 日
YMCA専門学校	1 名	平成25年 8 月 5 日～ 8 月20日
桜美林大学	1 名	
東洋大学	1 名	平成25年 8 月21日～ 9 月 5 日
県立保健福祉大学	2 名	
田園調布学園大学	1 名	平成26年 2 月 5 日～ 2 月21日
高崎福祉医療カレッジ	1 名	

現任者の視察・研修受入れ

内 容	人 数	実 施 日
社会復帰調整官実務実習	1 名	平成25年 6 月25日～ 6 月26日
神奈川県精神保健福祉新任研修	7 名	平成25年 7 月 9 日～ 7 月10日
横浜市精神保健福祉新任研修	50名	平成25年 7 月17日

講師派遣

内 容	場 所	実 施 日
お医者さんとの付き合い方	港南中央ケアプラザ	平成25年 5 月20日
精神障害者に対する法的支援プロジェクト・経験交流会	日弁連弁護士会館	平成25年 9 月10日
ソーシャルワーカーの基盤としてのアドボカシーセミナー	東洋大学	平成25年11月 9 日
更生保護制度	目白大学	平成25年11月16日
他職種チーム活動とケアマネジメント	岩手県福祉相談センター	平成25年12月13日
H25地域精神保健福祉連絡協議会	平塚保健福祉事務所	平成26年 2 月 7 日

院内研修会

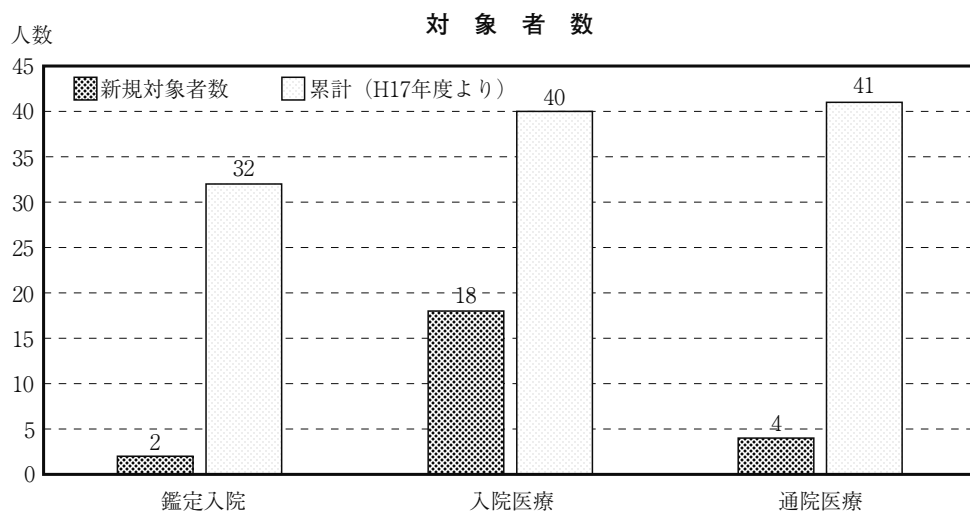
内 容／講 師	人 数	実 施 日
アウトリーチの実践と可能性 国立国際医療研究センター 国府台病院 佐竹 直子先生	43名	平成26年 2 月24日
精神保健福祉法の改正について 東洋大学 教授 白石 弘己先生	71名	平成26年 3 月13日

オ 医療観察制度の取組み

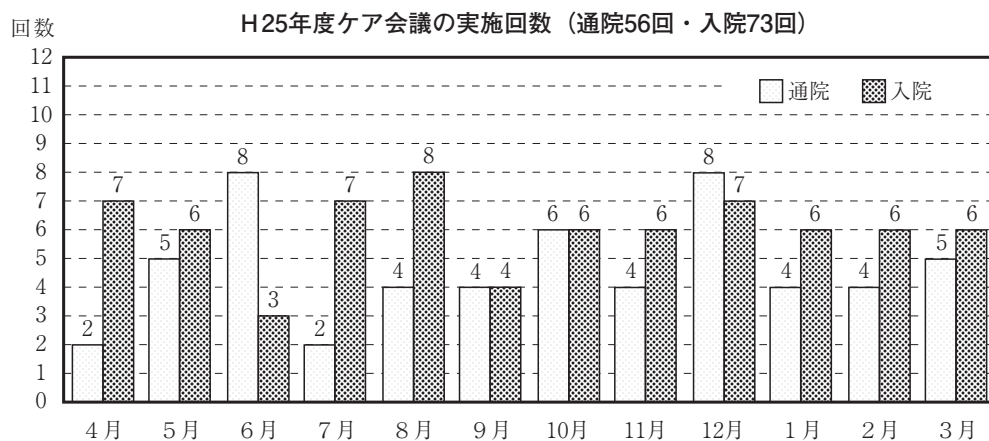
H17年 7 月15日より施行された「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律（医療観察制度）」では、医療と司法が連携の上で対象者の社会復帰に必要な処遇（それに伴う入院及び通院医療）を行なうとされている。当院では救急病棟であるB1病棟での鑑定入院ならびにフル規格病棟における入院医療、外来・訪問看護・デイケアなどを基本とした通院医療を、それぞれMDTを編成して提供している。入院医療では週に1回の治療評価会議・MDT会議をベースに、通院医療では月に1回のチーム会議をベースにして、3ヶ月に1回程度のケア会議を軸にした処遇を展開している。これら全体を統括する医療観察法運営会議を月に1回開催している。地域医療相談室に統括の医療観察担当者（兼任）が配置され、訪問看護調整者と連携の上で全体調整及び直接処遇を行なっている。入院病棟においては3名の担当者を配置しMDTメンバーとして関わっている。H22年度からは事務担当が1名配置され、各種手続き書類や評価シートなどの文書整理やケア会議等のスケジュール管理など、マネジメント機能が飛躍的に充実強化されている。また、院内研修の実施および他県の医療機関等の視察研修や新任社会復帰調整官の研修も受け入

れている。なお引き続き、円滑な制度運営に向けて、県内の指定医療機関のソーシャルワーカーおよび社会復帰調整官のネットワーク（かながわ司法精神医療福祉ネットワーク）を実施している。精神・神経科学振興財団主催の指定医療機関従事者研修の講師も継続して担当している。

対象者



ケア会議の実施回数



連絡会

内 容	開催場所	実 施 日
かながわ司法精神医療福祉ネットワーク会議	相州病院 日野病院 久里浜医療センター 横浜保護観察所	平成25年4月19日 平成25年7月19日 平成25年10月18日 平成26年1月17日

講師派遣

内 容	開催場所	実 施 日
第9回日本司法精神医学会大会	学術センター	平成25年6月1日
指定医療機関従事者研修会	ベルサール九段 〃 天満研修センター	平成25年9月14日 11月13日 10月9日
心神喪失者等医療観察法 業務研修	横浜市研修センター	平成25年9月26日
新潟司法福祉研究会	花園ガレソンホール	平成26年1月18日
神奈川県精神科診療所 デイケア研究会	ホテルプラム	平成26年2月15日

カ 横浜弁護士会による法律相談会

精神科医療を受ける上で生じる権利擁護やさまざまな法律に関わる問題（借金、家族関係など）について、迅速かつ適切な相談および対応方法の提供を行ってきた。H24年度に開棟したフル規格の医療観察法入院病棟における権利擁護支援の一環として位置づけるためにも、法律の専門家である弁護士の相談を定期的に行い密な連携を図っていくことを目的として、H23年度のモデル期間を経て、月に1回（第3木曜日）の横浜弁護士会による法律相談会を継続開催している。対象者は全病棟の入院患者として、事前にポスターにて周知後に担当PSWが申込み時の面接を行ない窓口弁護士との調整をはかった上で、希望者の人数により2人の弁護士に対応してもらった。また、9月には日弁連の研修会にてシンポジストとして実践報告を行なった。

実績

回 数	月 日	利用者数	キャンセル
第1回	4/18	2名	1名
第2回	5/16	なし	1名
第3回	6/20	4名	1名
第4回	7/18	3名	1名
第5回	8/22	4名	4名
第6回	9/19	3名	
第7回	10/17	1名	
第8回	11/21	なし	4名
第9回	12/19	4名	1名
第10回	1/16	2名	1名
第11回	3/20	1名	

(6) 薬剤業務

調剤業務では、年間処方せん枚数は入院39,493枚で一日平均161.9枚、外来23,260枚（うち院外処方せんは11,531枚で、発行率は49.6%）で一日平均95.3枚である。平成25年10月1日より、外来処方せんは原則院外としたため院外処方せんの発行が増加した。年間調剤数は入院125,973件、外来72,440件、合計198,413件、一日平均調剤数は813.2件であった。

薬剤情報提供業務（外来）は、服薬アドヒアランス向上のため平成20年6月からは外来患者さん全員を対象に毎回行うこととした。保険点数算定件数は、処方内容に変更が無い場合は月1回のみ算定し9,307件だった。

薬剤管理指導業務（入院）は、指導実患者数延べ105人、指導回数延べ179回実施した。

製剤業務では、製剤品目20品目で、そのうち約束処方4品目である。錠剤の散剤化製剤は4品目（12,135錠）調整し調剤業務の効率化を図った。

事故防止の推進のため、昨年度から引き続き調剤の手順や方法、調剤室の人員配置等を見直し改善した。薬剤科の「医療安全報告書」の報告件数は平成18年度が106件だったが、平成20年度が35件、平成21年度は41件、平成22年度は7件、平成23年度は9件、平成24年度は26件、平成25年度は25件であった。

薬品管理業務では、購入薬品数は664品目であった。薬効別薬品購入額では、中枢神経系用薬が、92.3%、循環器官用薬、消化器官用薬及びその他の薬剤が、7.7%であった。

向精神薬の管理は、緊急時に対応できる在庫管理を全品目実施した。又、調剤室の全薬品の在庫量の確認を半期毎に実施した。病棟・外来の常備・救急薬品の管理については、薬剤師による点検を毎月実施した。

薬事会議は、6月、10月、12月、2月の4回開催した。新規採用医薬品8品目、緊急購入医薬品31品目、削除医薬品23品目であった。

医薬品情報管理業務では、「医薬品情報」（DIニュース）を13回発行した。

オーダーリングシステムが平成21年12月から導入された。手書き処方箋と比較して照会件数が減少し、外来患者さんの待ち時間の短縮に繋がった。

A 平成25年度調剤数

区 分	処方せん枚数	剤 数	延べ剤数	1 日 平 均	
				剤 数	延べ剤数
入 院	39,493 枚	125,973 件	680,685 剤	516.3 件	2,789.7 剤
外 来	11,729	72,440	1,710,692	296.9	7,011.0
計	51,222	198,413	2,391,377	813.2	9,800.7

B 平成25年度注射剤払い出し本数

注射せん枚数	500 ml 未 満	500 ml 以 上	計
4,143 枚	6,333 本	2,426 本	8,759 本

C 平成25年度製剤数

内 服 散 剤	外 用 液 剤		軟 膏 剤	錠 剤 の 粉 砕
	非 滅 菌 製 剤	滅 菌 製 剤		
6,931.4 g	259,500 ml	0 ml	0 g	12,135 錠

D 平成25年度剤型別薬品購入額

剤 型	品 目 数	%	購 入 額	%
注 射	64 品	9.7 %	47,586,403 円	18.1 %
内 服	542	81.6	214,152,485	81.5
外 用	54	8.1	887,577	0.3
消 毒 液	4	0.6	53,440	0.1
計	664	100.0	262,679,905	100.0

E 平成25年度薬効別薬品購入額

薬 効	品 目 数	%	購 入 額	%
精 神 神 経 用 剤	238 品	35.8 %	220,882,474 円	84.3 %
抗 て ん かん 剤	31	4.7	9,556,953	3.6
抗 パ ー キ ン ソ ン 剤	12	1.8	2,357,790	0.9
睡眠鎮静剤・抗不安剤	77	11.6	9,640,942	3.7
循 環 器 官 用 薬	37	5.6	2,023,706	0.8
消 化 器 官 用 薬	46	6.9	6,138,871	2.3
そ の 他 の 薬 剤	223	33.6	12,079,169	4.6
計	664	100.0	262,679,905	100.0

(7) 医療教育

ア 臨床研修医受入状況

管理型病院名	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
足柄上病院							1			1			
厚木市立病院						1		1				1	
国際親善総合病院					1			1					
汐見台病院			1	1	1	1			1	1	1	1	

平成24年度は臨床研修協力型病院として次のとおりに臨床研修医を受け入れた。(単位：人)

イ 研修受け入れ

対象	人数	実施日
横浜市立大学医学部学生	5～6人	火曜日（見学実習）

(8) 栄養管理科業務

栄養管理科では、患者個々にあった栄養管理の実施と安全、安心な食事提供を業務としている。さらに精神科治療の一環として食生活の自立支援に結びつく関わりを目的としている。

平成25年度は新棟移転に向けて、科員全員が協力して食事提供の流れ、厨房計画を実施した。平成26年度に予定されている業務統合に向けて、芹香病院、せりがや病院の両病院の業務内容および、取り決め事項の再確認、見直しを実施した。

また、患者食糧費の適正活用に継続して取り組み、食材の納入業者選定方法を検討し、食事の質を落とさずに経営改善に努めることができた。平成25年度の平均一食単価は280円であった。(平成24年度の平均一食単価290円)

平成25年度は、設備の老朽化が著しく、設備、機器類の故障が相次ぐ中、衛生管理、異物混入防止の観点から修繕および、改善策を工夫して安全な業務推進を図った。

入院患者への栄養管理についてNST・栄養管理検討部会を有効活用し、病棟カンファレンスを中心に栄養管理上の問題点、課題などの解決に向けた提案をしてきた。結果は項目イに表記した。

ア 給食実施状況

入院給食数は、対前年度比112.0%（一日平均635食（デイ・ケア食含む））であった。デイ・ケア食は対前年度比72.1%（一日平均15.4食）と減少した。

食種別食数の対前年度比では、常食120.7%、ミキサー食288.7%と急激に増加した。

加算算定のできる特別食については、心臓病食15.4%、肥満食17.4%、潰瘍食49.8%と激減している。

「全量摂取を目的とした個人対応」を調理に反映してきた結果、院内における栄養管理への理解がすすみ形態調整食の依存が増えた。さらに食種の適正活用がなされ、診療報酬増に寄与できるよう努力を続けていく。

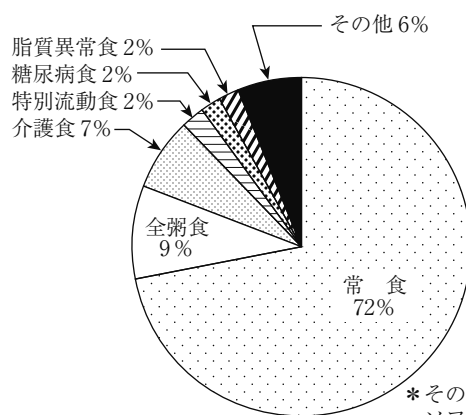
区 分				年 度	25年度	24年度	対前年度比（％）
一 般 食	常 流 動 食	食			162,796	134,916	120.7
		全 粥 食			19,372	19,156	101.1
		介 護 食			15,471	15,285	101.2
		ミ キ サ ー 食			1,767	612	288.7
		流 動 食			13	25	52.0
		小 計			36,623	35,078	104.4
	計			199,419	169,994	117.3	
特 別 食	加 算 で き る も の	腎 炎 食			2,692	2,966	90.8
		心 臓 病 食			232	1,507	15.4
		肝 臓 病 食			0	11	－
		糖 尿 病 食			4,976	6,968	71.4
		膵 臓 病 食			84	0	－
		ネ フ ロ ー ゼ 食			0	0	－
		潰 瘍 食			111	223	49.8
		貧 血 食			0	506	－
		脂 質 代 謝 異 常 症			4,050	570	710.5
		肥 満 食			395	2,269	17.4
		痛 風 食			0	0	－
		小 計			12,540	15,020	83.5
	加 算 で き な い も の	肥 満 食			1,429	1,454	98.3
		高 血 圧 食			291	342	85.1
		貧 血 食			0	0	－
		特 別 流 動 食			5,693	7,989	71.3
		脂 質 代 謝 異 常 症			0	0	－
		低 残 渣 食			3,427	3,814	89.9
		ソ フ ト 食			3,561	3,418	104.2
		小 計			14,401	17,017	84.6
		計			26,941	32,037	84.1
	合 計				226,360	202,031	112.0
院 外 作 業 食 ・ 病 棟 レ ク 食				(194)	(236)	82.2	
デ イ ・ ケ ア				3,758	5,209	72.1	
検 食 ・ 保 存 食				2,190	2,190	100.0	
職 員 食（実 習 生）				25,216（111）	28,240（164）	89.3（67.7）	
総 合 計				257,524	237,670	108.4	

* 院外作業食、病棟レク食 () は再掲

* 職員食 () は実習生で内数

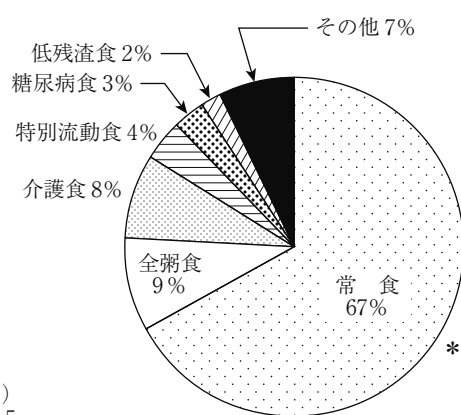
〔平成25年度〕

〔平成24年度〕



*その他の内訳 (%)

ソフト食	1.5
低残渣食	1.5
腎臓病食	1.2
肥満食	0.8
ミキサー、流動食	0.8
高血圧食	0.1
心臓病食	0.1



*その他の内訳 (%)

肥満食	1.8
ソフト食	1.7
腎臓病食	1.5
心臓病食	0.8
ミキサー、流動食	0.3
脂質代謝異常症	0.3
貧血食	0.3
高血圧食	0.2
潰瘍食	0.1

イ 栄養管理・NST活動

平成25年度は病棟カンファレンスにおいて食生活に課題のある入院患者を抽出し、栄養指導を実施した。低栄養状態のみならず、過剰栄養、摂食・嚥下に問題がある入院患者に対する栄養ケアの充実を目指し、給食内容の改善にも着手し始めた。入院患者については、管理栄養士が栄養管理計画書を作成し入院中の食事提供について個々人に最適であるように提案を実施した。

平成25年度は栄養管理を目的とした病棟カンファレンスが定着し毎月定例で実施した。

NST・栄養管理検討部会において各病棟における栄養管理上の問題点を共有し改善に向けた検討を実施した。

	A2	A3	B1	B2	B3	C2	計
スクリーニング件数（新規入院患者）	125	17	175	148	15	9	489
カンファレンス症例件数	19	47	0	30	60	48	204

ウ 栄養指導

平成25年度の集団指導は、ストレス外来治療プログラム「リワーク」の一環としての集団指導のほか、病棟で入院生活を送る上で必要となる食知識の集団指導、作業療法プログラムの食生活自立支援のための集団指導、デイ・ケア通院患者対象の過食防止、窒息防止など精神科特有の視点にたった集団指導等を実施した。

又、食事の適量を把握することを目的としてデイ・ケア患者を対象に昼食を患者自身で盛り付ける「セルフランチ」を実施した。

個人指導については体重管理、バランスのとれた食生活、糖尿病、脂質異常症などの食生活指導を主治医の指示に基づき実施した。

区分 年度	入 院				外 来				合 計			
	集団指導		個別指導		集団指導		個別指導		集団指導		個別指導	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
25	21	78	27	27	8	113	9	9	29	191	36	36
24	25	112	34	34	12	34	2	2	37	146	36	36
対前年度比 (%)	84.0	69.6	79.4	79.4	66.7	332.4	450.0	450.0	78.4	130.8	100.0	100.0

エ その他

実習生の受け入れ指導：神奈川県立保健福祉大学より管理栄養士実習受託、3週間2名の実習を実施した。

病院職員、他セクションの実習生の講義を実施した。

(9) 保育業務

平成24年度は、精神医療センター及びこども医療センターに勤務する看護師、医師の幼児を対象とするとともに、保育時間も6時30分から22時までとしている。また、毎週土曜日と月1回日曜保育（第3を基本）も実施している。

ア 保育の状況

年 齢	男	女	計	保 護 者 の 所 属	
6 歳	2	5	7	精神医療センター 4	こども医療センター 3
5 歳	4	1	5	精神医療センター 2	こども医療センター 3
4 歳	5	1	6	精神医療センター 2	こども医療センター 4
3 歳	6	4	10	精神医療センター 3	こども医療センター 7
2 歳	3	3	6	精神医療センター 2	こども医療センター 4
1 歳	3	2	5	精神医療センター 2	こども医療センター 3
計	23	16	39	精神医療センター 15	こども医療センター 24

イ 主な行事

月	内 容	
4	進級式、クラス懇談会、クッキング	誕生会
5	遠足、芋苗植え	〃
6	ぎょう虫検査、クッキング、春の健康診断	〃
7	プール開き、終園式 プールは～8/31まで実施	〃
9	始園式、クッキング、遠足、秋祭り	〃
10	運動会、ハロウィンパーティー	〃
11	芋掘り、秋の健康診断、歯みがき指導	〃
12	クリスマスお楽しみ会、終園式、なかよし発表会	〃
1	始園式、個人面談、もちつき大会	〃
2	お店屋さんごっこ	〃
3	お別れ遠足、卒園式、終園式、お別れ会カレーパーティー	〃

Ⅲ せりがや病院事務事業の状況

1 せりがや病院基本方針

- 1 神奈川県精神科中核病院として、高度な医療を提供します。
- 2 患者さんの思いを大切に、患者中心の医療を目指します。
- 3 みんなのちからで、安全な医療に取り組めます。
- 4 地域との連携を深め、患者さんの社会復帰を支援します。
- 5 県立病院として健全な運営を目指します。

2 経理の状況

(1) 地方独立行政法人会計 決算状況

(ア) 貸 借 対 照 表

(平成26年 3 月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構せりがや病院】

(単位：円)

科 目	金 額			
資産の部				
I 固定資産				
1 有形固定資産				
土地		376,727,243		
建物	644,405,787			
減価償却累計額	△ 112,056,253			
減損損失累計額	0	532,349,534		
構築物	22,513,363			
減価償却累計額	△ 5,115,817			
減損損失累計額	0	17,397,546		
器械備品	37,933,160			
減価償却累計額	△ 19,612,435	18,320,725		
車両	0			
減価償却累計額	0	0		
放射性同位元素	0			
減価償却累計額	0	0		
建設仮勘定		0		
有形固定資産合計		944,795,048		
2 無形固定資産				
ソフトウェア		0		
電話加入権		8,000		
その他		0		
無形固定資産合計		8,000		
3 投資その他の資産				
長期貸付金		0		
長期前払消費税等		1,892,981		
長期前払費用		0		
破産更生債権等	2,676,225			
貸倒引当金	△ 2,676,225	0		
その他		130,000		
投資その他の資産合計		2,022,981		
固定資産合計			946,826,029	
II 流動資産				
現金及び預金		45,997,079		
医業未収金	68,484,900			
貸倒引当金	△ 990,988	67,493,912		
未収金		328,344		
たな卸資産		8,784,433		
前払費用		154,088		
流動資産合計			122,757,856	
資産合計				1,069,583,885

(ア) 貸 借 対 照 表
(平成26年 3 月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構せりがや病院】

(単位：円)

科 目	金 額			
負債の部				
I 固定負債				
資産見返負債				
資産見返運営費負担金	0			
資産見返補助金等	0			
資産見返寄附金	0			
資産見返物品受贈額	83,066,537			
建設仮勘定見返運営費負担金	0			
建設仮勘定見返補助金等	0	83,066,537		
長期借入金		4,675,000		
移行前地方債償還債務		265,908,000		
長期未払金		0		
引当金				
退職給付引当金	404,985,979			
環境対策引当金	0	404,985,979		
リース債務		279,555		
資産除去債務		1,055,518		
固 定 負 債 合 計			759,970,589	
II 流動負債				
寄附金債務		0		
一年以内返済予定長期借入金		2,675,000		
一年以内償還予定移行前地方債償還債務		54,182,000		
未払金		37,373,183		
一年以内支払予定リース債務		816,126		
未払費用		6,813,784		
前受金		0		
預り金		1,810,112		
引当金				
賞与引当金	17,186,356	17,186,356		
流 動 負 債 合 計			120,856,561	
負 債 合 計				880,827,150
純資産の部				
I 資本金				
設立団体出資金		228,104,529		
資 本 金 合 計			228,104,529	
II 資本剰余金				
資本剰余金		18,110,000		
資 本 剰 余 金 合 計			18,110,000	
III 繰越欠損金				
繰越欠損金		△ 57,457,794		
(うち当期総損失)		(△ 67,729,339)		
繰 越 欠 損 金 合 計			△ 57,457,794	
純 資 産 合 計				188,756,735
負 債 純 資 産 合 計				1,069,583,885

(イ) 損 益 計 算 書
(平成25年 4 月 1 日～平成26年 3 月31日)

【地方独立行政法人神奈川県立病院機構せりがや病院】

(単位：円)

科 目	金 額		
営業収益			
医業収益			
入院収益	254,133,922		
外来収益	207,272,405		
児童福祉施設収益	0		
その他医業収益	2,948,206		
保険等査定減	△ 216,720	464,137,813	
運営費負担金収益		303,566,000	
補助金等収益		0	
寄附金収益		0	
資産見返運営費負担金戻入		0	
資産見返補助金等戻入		0	
資産見返寄附金等戻入		0	
資産見返物品受贈額戻入		3,179,154	
営 業 収 益 合 計			770,882,967
営業費用			
医業費用			
給与費	541,444,024		
材料費	141,642,630		
減価償却費	37,844,643		
経費	101,722,704		
研究研修費	617,549		
児童福祉施設費	0	823,271,550	
一般管理費			
給与費	0		
減価償却費	0		
経費	0	0	
控除対象外消費税等		12,667,962	
資産に係る控除対象外消費税等償却		154,315	
その他営業費用		0	
営 業 費 用 合 計			836,093,827
営 業 損 失			△ 65,210,860
営業外収益			
運営費負担金収益		3,837,000	
患者外給食収益		3,286,542	
不用品売却収益		0	
財務収益		562	
雑益		1,285,518	
営 業 外 収 益 合 計			8,409,622
営業外費用			
患者外給食費		3,207,705	
財務費用		5,788,243	
雑支出		502,944	
営 業 外 費 用 合 計			9,498,892
経 常 損 失			△ 66,300,130
臨時利益			
その他臨時利益		0	0
臨時損失			
固定資産除却損		1,429,209	
減損損失		0	
その他臨時損失		0	1,429,209
当 期 純 損 失			△ 67,279,339
当 期 純 損 失			△ 67,279,339

3 業務実績

(1) 各種指標

項 目	計 算 方 式	単位	平成25年度	平成24年度	対前年度比(%)	備 考
病 床 数		床	80	80	100.0	
取 扱 患 者 数		人	30,334	32,347	93.8	
入 院 患 者		人	14,355	16,279	88.2	
外 来 患 者		人	15,979	16,068	99.4	
1 日 平 均 取 扱 患 者 数		人	104.8	110.2	95.1	
入 院 患 者	取扱入院患者数／年間日数	人	39.3	44.6	88.1	
外 来 患 者	取扱外来患者数／年間外来診療日数	人	65.5	65.6	99.8	
病 床 利 用 率	取扱入院患者数／延病床数×100	%	49.2	55.8	88.2	
平 均 在 院 日 数	入院延患者数／(入院患者数＋退院患者数)×0.5	日	45.9	42.7	107.5	
入 院 外 来 患 者 比 率	取扱患者数／取扱入院患者数×100	%	111.3	98.7	112.8	
医師・看護師 1 人当たりの取扱患者数						
医 師	取扱患者数／医師延人数	人	16.6	17.7	93.8	
看 護 師	取扱患者数／看護師延人数	人	2.2	2.3	95.7	
職 員 数		人	53	56	94.6	期 末 人 数
医 師		人	5	5	100.0	期 末 人 数
看 護 師		人	38	39	97.4	期 末 人 数
そ の 他 職 員		人	10	12	83.3	期 末 人 数
病 床 100 床 当 た り の 職 員 数	全職員数／病床数×100	人	66.3	70.0	94.7	
医 師	職員数／病床数×100	人	6.3	6.3	100.0	
看 護 師	職員数／病床数×100	人	47.5	48.8	97.3	
そ の 他 職 員	職員数／病床数×100	人	12.5	15.0	83.3	
患 者 1 人 当 た り の 収 益	医業収益／取扱患者数	円	15,218	14,272	106.6	
入 院 患 者	入院収益／取扱患者数	円	17,569	17,665	99.5	
外 来 患 者	外来収益／取扱患者数	円	13,105	10,834	121.0	
医師・看護師1人1日当たりの収益						
医 師	医業収益／医師延人数	円	252,936	252,955	99.0	
看 護 師	医業収益／看護師延人数	円	33,281	32,430	102.6	
患 者 1 人 1 日 当 た り の 費 用	医業費用／取扱患者数	円	27,140	25,918	104.7	
患 者 1 人 当 た り の 薬 品 費	薬品費／取扱患者数	円	4,114	2,953	139.3	
患 者 1 人 当 た り の 給 食 材 料 費	給食材料費／取扱入院患者数	円	941	853	110.3	
医 業 収 益 に 対 す る 費 用 比 率	医業費用／医業収益×100	%	178.3	180.6	98.7	
給 与 費	給与費／医業収益×100	%	117.2	125.8	93.2	
材 料 費	材料費／医業収益×100	%	30.6	24.2	126.4	
経 費	経費／医業収益×100	%	20.9	21.8	95.9	

(注) 医師、看護師の延人数は、期末の在籍人数に365日（平成25・24年度共）を乗じ算出した

4 患者の状況

(1) 外来患者の状況

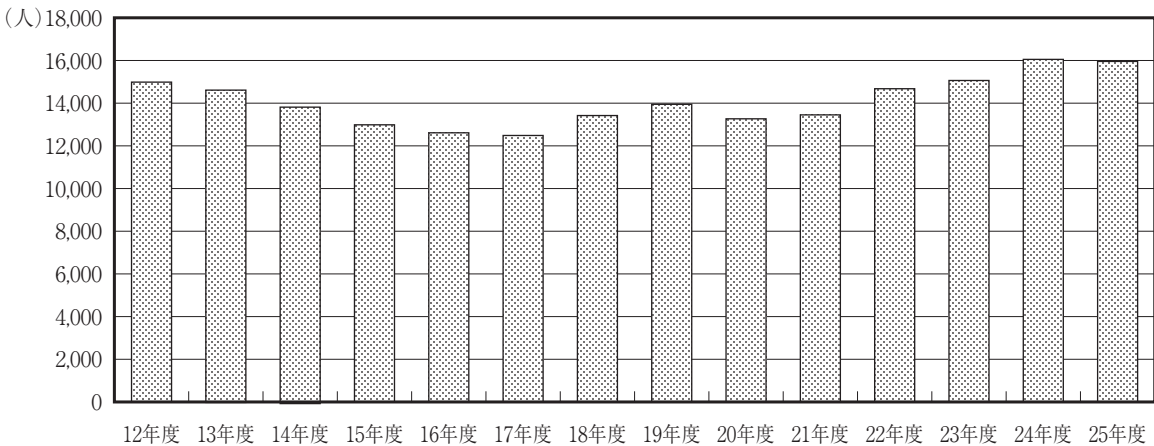
延患者数は89人の減で対前年度比0.6%の減となっている。そのうち、再来は、61人の減で対前年度比0.4%の減、新患は28人の減で対前年度比3.8%減となっている。新外来患者において、依存薬物別ではアルコールが42.1%で最も大きな割合を占めている。また、年齢別では40～49歳の構成比が26.1%と最も多くなっている。

ア 月別外来患者数

年度	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
25	新 患	78	77	65	69	68	56	52	53	49	54	35	60	716
	再 来	1,258	1,336	1,209	1,474	1,407	1,192	1,407	1,246	1,239	1,201	1,119	1,175	15,263
	延患者数	1,336	1,413	1,274	1,543	1,475	1,248	1,459	1,299	1,288	1,255	1,154	1,235	15,979
	一日平均	66.8	67.3	60.7	73.5	64.1	65.7	66.3	61.9	67.8	66.1	60.7	61.8	65.2
24	新 患	49	54	67	69	65	48	76	61	56	55	64	80	744
	再 来	1,226	1,330	1,243	1,309	1,355	1,178	1,395	1,272	1,248	1,240	1,185	1,343	15,324
	延患者数	1,275	1,384	1,310	1,378	1,420	1,226	1,471	1,333	1,304	1,295	1,249	1,423	16,068
	一日平均	63.8	72.8	59.5	68.9	61.7	61.3	73.6	66.7	68.6	68.2	59.5	67.8	65.9

(注) 精神科のほか、内科受診者を含む

イ 外来患者数の年次推移状況



ウ 依存薬物別新外来患者数

年度	依存薬物等 (F1) 区分	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	そ の 他 薬 物	そ の 他 精神障害	計
25	男	233	1	94	110	65	19	522
	女	61		31	17	46	21	176
	計	294	1	125	127	111	40	698
	構成比	42.1	0.1	17.9	18.2	15.9	5.7	100.0
24	男	245	1	112	115	49	19	541
	女	81	1	34	9	33	23	181
	計	326	2	146	124	82	42	722
	構成比	45.2	0.3	20.1	17.2	11.4	5.8	100.0

その他の薬物詳細

年 度	薬物名 区分	鎮・睡剤	コカイン	幻覚剤	アヘン	市販薬	多剤	その他	計
25	男	16			1	4	27	17	65
	女	22				3	8	13	46
	計	38			1	7	35	30	111
	構成比	34.2			0.9	6.3	31.5	27.0	100.0
24	男	14				5	23	7	49
	女	21				2	10	0	33
	計	35				7	33	7	82
	構成比	42.7				8.5	40.2	8.5	100.0

エ 年齢別新外来患者数

年 度	年齢 区分	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	計
25	男	13	88	115	127	84	64	31	522
	女	5	37	47	55	19	10	3	176
	計	18	125	162	182	103	74	34	698
	構成比	2.6	17.9	23.2	26.1	14.8	10.6	4.9	100.0
24	男	14	100	126	113	94	60	34	541
	女	4	36	56	37	32	11	5	181
	計	18	136	182	150	126	71	39	722
	構成比	2.5	18.8	25.2	20.8	17.5	9.8	5.4	100.0

才 地域別実外来患者数

居住地域 \ 年度		25	24	居住地域 \ 年度		25	24	居住地域 \ 年度		25	24
横 浜 市		1,122	1,161	横 須 賀 市		55	56	足 柄 上 郡		6	3
	鶴 見 区	50	52	平 塚 市		28	38	中 井 町		3	0
	神 奈 川 区	45	52	鎌 倉 市		20	32	大 井 町		1	1
	西 区	32	35	藤 沢 市		79	73	松 田 町		1	2
	中 区	105	115	小 田 原 市		16	15	山 北 町		1	0
	南 区	211	198	茅 ケ 崎 市		28	31	開 成 町		0	0
	港 南 区	120	126	逗 子 市		7	3	足 柄 下 郡		2	2
	保 土 ケ 谷 区	62	72	相 模 原 市		2	3	箱 根 町		0	1
	旭 区	56	65	三 浦 市		5	5	真 鶴 町		0	0
	磯 子 区	57	64	秦 野 市		8	7	湯 河 原 町		2	1
	金 沢 区	46	42	厚 木 市		15	15	県 内 計		1,616	1,677
	港 北 区	50	43	大 和 市		35	35	東 京 都		109	82
	緑 区	22	26	伊 勢 原 市		7	8	埼 玉 県		5	4
	戸 塚 区	107	121	海 老 名 市		19	13	千 葉 県		7	7
	瀬 谷 区	45	40	座 間 市		13	13	群 馬 県		0	1
	栄 区	28	30	南 足 柄 市		2	2	栃 木 県		2	2
	泉 区	47	40	綾 瀬 市		8	15	山 梨 県		1	0
	青 葉 区	16	18	三 浦 郡 葉 山 町		3	2	静 岡 県		5	8
	都 筑 区	23	22	高 座 郡 寒 川 町		5	9	茨 城 県		6	1
川 崎 市		125	129	愛 甲 郡		1	1	そ の 他 の 県		46	42
	川 崎 区	37	50	愛 川 町		1	1	県 外 計		181	147
	幸 区	21	17	清 川 村		0	0	住 所 不 明		0	0
	中 原 区	20	15	中 郡		5	6	計		1,797	1,824
	高 津 区	16	21	大 磯 町		2	4				
	宮 前 区	13	9	二 宮 町		3	2				
	多 摩 区	13	13								
	麻 生 区	5	4								

(注) 新患・再来を含め、同一患者について一人としてカウントした数

カ 新外来患者の受診経路

年度	依存薬物等 (F1) 受診経路	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	構成比
25	退院者、通院歴あり	76		58	18	21	9	182	26.1
	医 療 機 関 (精 神 科)	85		24	48	55	10	222	31.8
	医 療 機 関 (そ の 他 診 療 科)	54		1		5	2	62	8.9
	保 健 所	6			5	1		12	1.7
	福 祉 事 務 所	18		8	5	3		34	4.9
	断 酒 会 A - A	1		10	8	4		23	3.3
	職 場 関 係 者	1				1	15	17	2.4
	友 人 ・ 知 人	9		7	12	3		31	4.4
	警 察			3			1	4	0.6
	そ の 他	44	1	14	31	18	3	111	15.9
	計	294	1	125	127	111	40	698	100.0
年度	依存薬物等 (F1) 受診経路	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	構成比
24	退院者、通院歴あり	75		54	9	16	11	165	22.8
	医 療 機 関 (精 神 科)	113		32	54	36	11	246	34.1
	医 療 機 関 (そ の 他 診 療 科)	64		1	9	6		80	11.1
	保 健 所	2		3	7	1		13	1.8
	福 祉 事 務 所	19		13	2	1		35	4.8
	断 酒 会 A - A	4		13	7	3	1	28	3.9
	職 場 関 係 者	3					15	18	2.5
	友 人 ・ 知 人	14		11	7	8	1	41	5.7
	警 察			2		1		3	0.4
	そ の 他	32	2	17	29	10	3	93	12.9
	計	326	2	146	124	82	42	722	100.0

(2) 入退院患者の状況

延患者数は1,924人の減で、対前年度比11.8%の減となっている。病床利用率は、対前年度比6.6ポイント減となった。

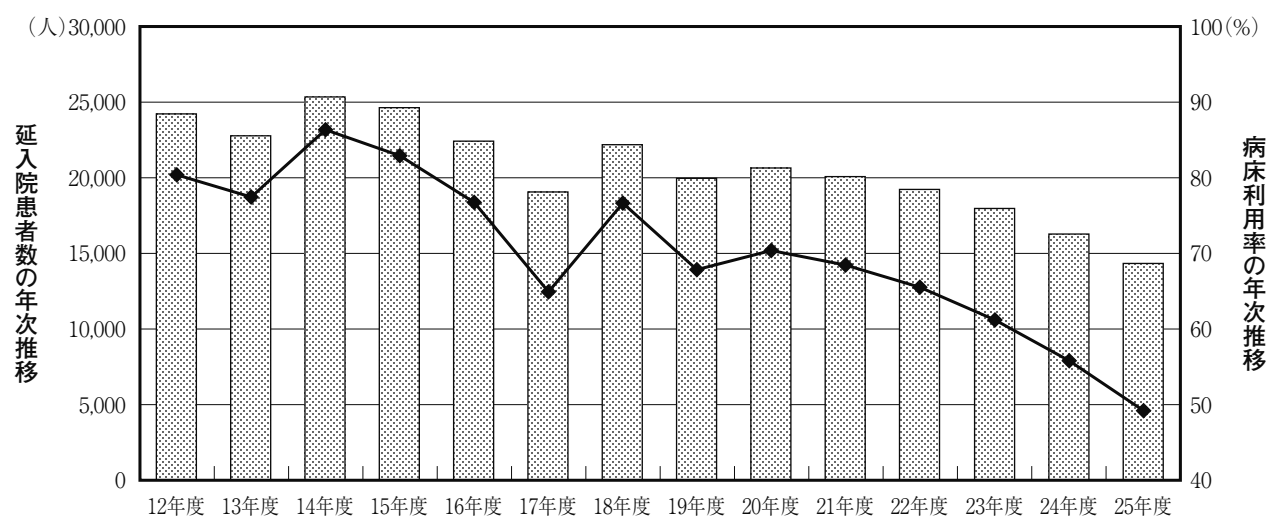
新入院患者は、75人減少し、対前年度比19.7%減となっている。新入院患者の依存薬物別の構成比はアルコールの割合が最も多く52.8%を占め、次いでその他薬物の19.7%となっている。入院形態は任意入院が全体の96.7%を占めている。退院患者の転帰は軽快の割合が多く、65.9%を占めている。

ア 月別入退院患者数

年度	月 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
25	入 院	34	30	27	27	30	25	35	24	18	20	17	18	305
	退 院	36	32	22	36	31	22	33	23	27	19	21	18	320
	延 患 者 数	1,484	1,176	1,406	1,263	1,367	1,213	1,329	1,199	1,131	991	886	910	14,355
	病床利用率	61.8	47.4	58.6	50.9	55.1	50.5	53.6	50.0	45.6	40.0	39.6	36.7	49.2
24	入 院	22	29	32	35	33	30	44	29	31	24	37	34	380
	退 院	32	28	27	30	42	25	33	34	32	40	32	27	382
	延 患 者 数	1,247	1,143	1,294	1,612	1,390	1,267	1,548	1,539	1,706	1,322	932	1,279	16,279
	病床利用率	52.0	46.1	53.9	65	56	52.8	62.4	64.1	68.8	53.3	41.6	51.6	55.8

(注) 月別に新たに入院した数

イ 延入院患者数及病床利用率の年次推移状況



ウ 依存薬物別入院患者数

年 度	依存薬物等 (F1) 区分	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	そ の 他 薬 物	そ の 他 精神障害	計
25	男	121	1	24	30	30	1	207
	女	40		8	14	30	6	98
	計	161	1	32	44	60	7	305
	構成比	52.8	0.3	10.5	14.4	19.7	2.3	100.0
24	男	172		31	40	38	0	281
	女	53		9	7	27	3	99
	計	225		40	47	65	3	380
	構成比	59.2		10.5	12.4	17.1	0.8	100.0

(注) 本表の患者数とは、当年度に新たに入院した患者数

その他の薬物詳細

年 度	薬物名 区分	鎮・睡剤	コカイン	幻 覚 剤	ア ヘ ン	市 販 薬	多 剤	そ の 他	計
25	男	6				3	9	12	30
	女	19				2	7	2	30
	計	25				5	16	14	60
	構成比	41.7				8.3	26.7	23.3	100.0
24	男	9				5	19	5	38
	女	15				2	9	1	27
	計	24				7	28	6	65
	構成比	36.9				10.8	43.1	9.2	100.0

エ 依存薬物別・年齢別実入院患者数

年度	年齢	依存薬物等 (F1)	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	年 齢 構成比
		区分								
25	19歳以下	男			1	3	1		5	2.0
		女				1			1	
		小計			1	4	1		6	
	20～29歳	男	1		1	9	7	1	19	14.1
		女	6		2	3	11	2	24	
		小計	7		3	12	18	3	43	
	30～39歳	男	13		13	10	13	1	50	24.6
		女	6		4	4	11		25	
		小計	19		17	14	24	1	75	
	40～49歳	男	39	1	6	7	3		56	28.9
		女	17		2	6	4	3	32	
		小計	56	1	8	13	7	3	88	
	50～59歳	男	31		2	1	4		38	16.1
		女	7				3	1	11	
		小計	38		2	1	7	1	49	
	60～69歳	男	28		1			1	30	11.1
		女	4						4	
		小計	32		1			1	34	
	70歳以上	男	9						9	3.3
		女					1		1	
		小計	9				1		10	
	計	男	121	1	24	30	28	3	207	100.0
		女	40		8	14	30	6	98	
		小計	161	1	32	44	58	9	305	
		構成比	52.8	0.3	10.5	14.4	19.0	3.0	100.0	
年度	年齢	依存薬物等 (F1)	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	年 齢 構成比
		区分								
24	19歳以下	男								
		女								
		小計								
	20～29歳	男	4		3	22	12		41	16.6
		女	6		1	6	9		22	
		小計	10		4	28	21		63	
	30～39歳	男	14		16	12	16		58	21.1
		女	12		1	1	7	1	22	
		小計	26		17	13	23	1	80	
	40～49歳	男	45		8	5	7		65	25.5
		女	17		6		7	2	32	
		小計	62		14	5	14	2	97	
	50～59歳	男	61		4	1	3		69	23.4
		女	16		1		3		20	
		小計	77		5	1	6		89	
	60～69歳	男	34						34	9.7
		女	2				1		3	
		小計	36				1		37	
	70歳以上	男	14						14	3.7
		女								
		小計	14						14	
	計	男	172		31	40	38		281	100.0
		女	53		9	7	27	3	99	
		小計	225		40	47	65	3	380	
		構成比	59.2		10.5	12.4	17.1	0.8	100.0	

(注) 本表の患者数とは、当年度に新たに入院した患者数

才 地域別実入院患者数

居住地域		年度	25	24	居住地域		年度	25	24	居住地域		年度	25	24
横 浜 市			168	196	横 須 賀 市			8	13	足 柄 上 郡			1	0
	鶴 見 区		12	10	平 塚 市			7	8	中 井 町			1	0
	神 奈 川 区		7	11	鎌 倉 市			2	6	大 井 町			0	0
	西 区		8	7	藤 沢 市			11	16	松 田 町			0	0
	中 区		12	27	小 田 原 市			2	6	山 北 町			0	0
	南 区		34	31	茅 ケ 崎 市			4	6	開 成 町			0	0
	港 南 区		7	13	逗 子 市			2	1	足 柄 下 郡			1	1
	保 土 ケ 谷 区		13	10	相 模 原 市			0	1	箱 根 町			0	0
	旭 区		5	8	三 浦 市			1	1	真 鶴 町			0	0
	磯 子 区		10	11	秦 野 市			1	2	湯 河 原 町			1	1
	金 沢 区		5	5	厚 木 市			1	3	県 内 計			246	316
	港 北 区		9	7	大 和 市			5	10	東 京 都			35	26
	緑 区		3	6	伊 勢 原 市			2	0	埼 玉 県			1	2
	戸 塚 区		12	13	海 老 名 市			3	1	千 葉 県			2	2
	瀬 谷 区		7	7	座 間 市			3	3	群 馬 県			0	1
	栄 区		5	6	南 足 柄 市			0	1	栃 木 県			0	3
	泉 区		13	11	綾 瀬 市			1	3	山 梨 県			1	0
	青 葉 区		1	7	三 浦 郡 葉 山 町			1	0	静 岡 県			1	1
	都 筑 区		5	6	高 座 郡 寒 川 町			0	3	茨 城 県			3	1
川 崎 市			20	31	愛 甲 郡			0	1	そ の 他 の 県			14	16
	川 崎 区		8	9	愛 川 町			0	1	県 外 計			57	52
	幸 区		3	5	清 川 村			0	0	住 所 不 明			0	0
	中 原 区		5	6	中 郡			2	3	計			303	368
	高 津 区		0	6	大 磯 町			1	2					
	宮 前 区		2	3	二 宮 町			1	1					
	多 摩 区		2	2										
	麻 生 区		0	0										

力 入院費負担区分別患者数（平成26年3月末現在在院患者一覧表）

年度	負担区分		健康保険法		国民健康 保 險 法	生 活 保 護 法	精神保健 福 祉 法	麻 薬 取 締 法	自 費	計
	区分		本 人	家 族						
25	男		4		6	9				19
	女		2	2	3	3				10
	計		6	2	9	12				29
	構成比		20.7	6.9	31.0	41.4				100.0
24	男		5	2	16	14				37
	女		1	2	1	3				7
	計		6	4	17	17				44
	構成比		13.6	9.1	38.7	38.6				100.0

キ 入院形態別患者数

年度	形態	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
		区分													
25	任意	男	21	21	17	19	18	17	22	16	13	14	12	11	201
		女	12	8	9	7	11	8	13	7	5	4	4	6	94
		小計	33	29	26	26	29	25	35	23	18	18	16	17	295
		構成比													
	医療保護	男	1	1	1	1						1		1	6
		女					1			1		1	1		4
		小計	1	1	1	1	1			1		2	1	1	10
		構成比													
	措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
	計	男	22	22	18	20	18	17	22	16	13	15	12	12	207
		女	12	8	9	7	12	8	13	8	5	5	5	6	98
		計	34	30	27	27	30	25	35	24	18	20	17	18	305
24	任意	男	18	20	24	23	24	24	31	23	21	16	25	25	274
		女	4	8	7	11	8	5	13	6	8	7	12	7	96
		小計	22	28	31	34	32	29	44	29	29	23	37	32	370
		構成比	100.0	96.6	96.9	97.1	97.0	96.7	100.0	100.0	93.5	95.8	100.0	94.1	97.4
	医療保護	男		1			1	1			1	1		2	7
		女			1	1					1				3
		小計		1	1	1	1	1			2	1		2	10
		構成比		3.4	3.1	2.9	3.0	3.3			6.5	4.2		5.9	2.6
	措置	男													
		女													
		小計													
		構成比													
	計	男	18	21	24	23	25	25	31	23	22	17	25	27	281
		女	4	8	8	12	8	5	13	6	9	7	12	7	99
		計	22	29	32	35	33	30	44	29	31	24	37	34	380

ク 依存薬物別・在院期間別退院患者数

年度	期間	依存薬物等 (F1)	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計
		区分							
25	9 日以下	男	11	1	8	1	6		27
		女	6		2	3	5	5	21
		小計	17	1	10	4	11	5	48
	10～19日	男	14		3	9	10		36
		女	12			1	6	1	20
		小計	26		3	10	16	1	56
	20～29日	男	14		7	6	4		31
		女	2		3	5	7		17
		小計	16		10	11	11		48
	30～59日	男	26		6	15	9	2	58
		女	7		2	2	9		20
		小計	33		8	17	18	2	78
	60～89日	男	28		1	2			31
		女	2		1		2		5
		小計	30		2	2	2		36
	90日以上	男	37			1	2		40
		女	12			1	1		14
		小計	49			2	3		54
	計	男	130	1	25	34	31	2	223
		女	41		8	12	30	6	97
		小計	171	1	33	46	61	8	320
		構成比							
年度	期間	依存薬物等 (F1)	アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計
		区分							
24	9 日以下	男	26		4	12	4		46
		女	11		4		7	2	24
		小計	37		8	12	11	2	70
	10～19日	男	10		12	8	7		37
		女	9			2	6		17
		小計	19		12	10	13		54
	20～29日	男	13		10	7	10		40
		女	5		3	3	8		19
		小計	18		13	10	18		59
	30～59日	男	40		4	10	13		67
		女	9		1	2	5		17
		小計	49		5	12	18		84
	60～89日	男	34		1	1	3		39
		女	13		1		2		16
		小計	47		2	1	5		55
	90日以上	男	51						51
		女	8					1	9
		小計	59					1	60
	計	男	174		31	38	37		280
		女	55		9	7	28	3	102
		小計	229		40	45	65	3	382
		構成比	59.9		10.5	11.8	17.0	0.8	100.0

ケ 依存薬物別・転帰別退院患者数

年度	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	構成比
	転帰	区分								
25	全 快	男								
		女								
		小計								
	軽 快	男	91		14	24	19	1	149	65.9
		女	27		4	5	21	5	62	
		小計	118		18	29	40	6	211	
	未 知	男	31	1	11	8	11	1	63	30.0
		女	13		4	7	8	1	33	
		小計	44	1	15	15	19	2	96	
	転 医	男	8			2	1		11	4.1
		女	1				1		2	
		小計	9			2	2		13	
	死 亡	男								
		女								
		小計								
	計	男	130	1	25	34	31	2	223	100.0
		女	41		8	12	30	6	97	
		小計	171	1	33	46	61	8	320	
		構成比	53.4	0.3	10.3	14.4	19.1	2.5	100.0	
年度	依存薬物等 (F1)		アルコール	有機溶剤	覚せい剤	大 麻	その他 薬 物	そ の 他 精神障害	計	構成比
	転帰	区分								
24	全 快	男								
		女								
		小計								
	軽 快	男	113		20	18	25		176	65.2
		女	39		6	5	21	2	73	
		小計	152		26	23	46	2	249	
	未 知	男	54		11	19	12		96	32.4
		女	15		3	2	7	1	28	
		小計	69		14	21	19	1	124	
	転 医	男	7			1			8	2.4
		女	1						1	
		小計	8			1			9	
	死 亡	男								
		女								
		小計								
	計	男	174		31	38	37		280	100.0
		女	55		9	7	28	3	102	
		小計	229		40	45	65	3	382	
		構成比	59.9		10.5	11.8	17.0	0.8	100.0	

5 業務の状況

(1) 看護

「精神医療センターの基本理念・せりがや病院の基本方針に沿って、質の高い看護を行い、ヒューマンサービスの推進に貢献する」の理念に則して、看護を実践している。

看護局は、外来看護科、1階病棟看護科、2階病棟看護科、教育科の4単位であり、1階病棟は男性の初期入院（30床）、2階病棟は男性の回復期（35床）および女性の初期から回復期（15床）で構成されている。

ア 病棟看護

1階病棟では、入院初期の男性患者に2週間程度、依存物質からの離脱、体力の回復、今後の治療の意志を固め、スムーズに2階病棟に継続できるよう援助している。2階病棟では、男性患者には中断することなく治療プログラムに取り組めるよう援助し、女性患者には、初期から回復期に至る全過程の援助を行っている。

近年、依存物質が多様化し、ギャンブル、異性、過激な運動への依存、摂食障害も見られ、それらは物質依存と合併している場合が多く、治療が難しくなっている。さらに、高齢化に伴うADLの低下がある患者や糖尿病、肝硬変、高血圧、低栄養状態などの身体合併のある患者が増えてきている。看護師は、治療効果が向上するよう多職種と連携を図りながら、患者の状態に応じて、認知行動療法、生活技能訓練（SST）や多様な治療プログラム実施をしている。

病棟別看護職員配置図

（平成25年4月1日現在）

病棟	定床数	保護室	現員	備考
1階	30	4	17+1（非）	初期入院（男性）病棟
2階	50	2	17+1（非）	回復期（男性）病棟、女性病棟

イ 外来看護

近年、外来での医療のニーズがますます高まってきている。外来では、患者の状況を観察、判断し、相談に応じている。そして、患者の状況に応じた看護が提供できるように、初診時からの看護計画を立て看護の継続に努めている。また、チーム医療を大切にし、看護師、医師、心理・相談科、作業療法士などの医療チームで患者をケアできるように月に1回外来運営カンファレンスを行なっている。集団精神療法を医師や心理・相談科の職員とともにこなしている。毎朝定時にベッドコントロールを実施し、患者の情報交換や情報の共有を行うことで、病棟との連携を図っている。

外来看護職員配置図

現員	3 + 3（非常勤）
----	------------

ウ 看護教育科

患者の動向を踏まえ、精神科看護に求められる看護師の育成を行い、看護師ひとり一人のキャリアニーズに基づき院内研修や院外研修への参加を支援している。平成22年度より、精神医療センターとして院内研修を芹香病院と合同で実施している。また、看護基礎教育での実習や中学生の職業体験、看護以外の専門学校からの見学を受け入れており、実習生の目標が達成できるよう支援している。そして、自施設の特徴から、健康教育の一環として薬物乱用防止の啓発活動を行っており、スタッフを講師として中学校や高校に派遣している。

(ア) 平成25年度 現任教育

研修名		ねらい	方法	研修日	時間	対象者	人数	担当
支 援 ブ ロ グ ラ ム	採用時研修	精神医療センター組織の一員としての自覚を持つことができる（新卒新採用・転入者）＊既卒者・転入者は希望項目参加	・講義 ・演習 ・病院見学	4/1(月) ～4/(木) 4/8(月)	5日間 (1日8時間) (8:30-17:15)	平成25年度 新採用者 既卒新採用者 転入者	23名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 看護教育科
	接遇研修	看護師として必要な接遇の実践を学ぶ	・講義 ・ロールプレイ	5/31(金)	3時間15分 (14:00-17:15)	平成25年度 新採用者 転入者	14名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 看護教育科
	基礎技術研修② (精神科看護技術)	精神科における専門的な看護技術の実践を学ぶ	・講義 ・デモンストレーション ・演習	4/30(火)	3時間45分 (13:30-17:15)	新卒新採用 者他科長が 必要と認め た者	22名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師3名
	基礎技術研修① (救急蘇生法)	看護師として必要な急変時の基礎的対応を学ぶ	・講義・演習 ・デモンストレーション	6/20(木)	3時間45分 (13:30-17:15)	新卒新採用 者他科長が 必要と認め た者	14名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師4名 主任看護師1名
	フォローアップ 研修 (新卒新採用)	入職してからの3ヶ月を振り返り、今後の看護実践への活力につなげる	・自然散策 ・GW	6/25(火)	3時間 (9:00-12:30)	既卒新採用 者・転入者	6名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 看護教育科
	フォローアップ 研修 (既卒・転入)	入職してからの様々な思いや看護を、仲間と共有し、精神医療センターの看護師としてこれまでの経験を活かしながら取り組んでいく心構えができる	・自然散策 ・GW	6/4(火)	3時間45分 (13:30-17:15)	新卒新採用 者	15名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
ス テ ッ プ I	看護倫理Ⅰ (看護専門職としての倫理)	専門職としての倫理を再確認し、センターの看護師としての行動につなげる	・講義「看護倫理とは」	10月～ 11月の うち3 日間	1時間45分 (15:30-17:15)	ステップⅠ を申請する 者	12名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
			・GW（WILL/CAN/MUST）	7/2(火)	3時間45分 (13:30-17:15)			
	看護過程Ⅰ (看護理論の理解)	V.ヘンダーソンの看護論を学習し、看護実践のための観察・判断能力を養う	・講義（ヘンダーソン看護論について）	7/8(月)	2時間15分 (15:00-17:15)		10名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
			・GW（ペーパーペーシェントを用いて）	7/30(火) 外部講師	3時間45分 (13:30-17:15)			
ス テ ッ プ Ⅱ	チームメンバー 研修	チームナーシングについて理解を深め、メンバーシップを発揮するための能力を養う	・1日以上リーダーと共に行動する。 ・講義「チームナーシングとは」 ・GW（カード法）	12/3(火)	3時間45分 (13:30-17:15)	ステップⅠ 以上の者、 また看護科 長が認める 者	10名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	看護倫理Ⅱ (精神科看護と倫理)	精神科看護における倫理的課題について理解する	・講演会（公開） ・討議 ・セッション発表	6/21(金)	3時間45分 (13:30-17:15)		20名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	リーダーシップⅠ (チーム医療におけるリーダーシップ)	チーム医療の中で、リーダーシップを発揮できる能力を養う。	・講義「チームリーダー、リーダーシップ」 ・GW（カード法）	9/17(火)	3時間45分 (13:30-17:15)		20名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
ス テ ッ プ Ⅱ	看護過程Ⅱ (事例検討)	自己の看護を客観的に見つめ、個別性を踏まえた看護実践について考える	・GW（事例について考える）	11/15(金)	2時間15分 (15:00-17:15)		17名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名

研修名		ねらい	方法	研修日	時間	対象者	人数	担当
ステップⅢ	人間関係研修	看護師としてのアサーティブなコミュニケーションを行うための知識・技術を学ぶ	・講義（公開） ・演習	10/25(金) 外部 講師	8時間 (9:00-17:15)	ステップⅡ以上の者 また、看護科長が認める者	19名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	リーダーシップⅡ (問題解決)	問題解決法を学び、セクションの課題を捉え、リーダーシップ能力を発揮した問題解決への取り組みができる	・講義、GW	6/3(月)	3時間15分 (14:00-17:15)		10名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
			・GW（テーマ、計画の検討）	7/23(火)	3時間15分 (14:00-17:15)			
			・GW（取り組み経過の検討）	9/25(水)	3時間15分 (14:00-17:15)			
			・取り組み発表	12/20(金)	3時間15分 (14:00-17:15)			
	看護過程Ⅲ (看護理論の活用①)	V.ヘンダーソンの看護論の理解を通じて自己の看護実践の意味づけができる	・講義（ヘンダーソン看護論について） ・「ケース・スタディとは」	7/19(金)	3時間45分 (13:30-17:15)		8名	教育担当副看護局長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
			・ケーススタディ発表	9/27(金)	3時間45分 (13:30-17:15)			
ステップⅣ	看護過程Ⅳ (看護理論の活用②) ＊専門研修読み替え可	セルフケア理論（オレム-アンダーウッド看護論）を学習通して精神看護についての理解を深める	・オリエンテーション（研修の進め方）	10/7(月)	3時間15分 (14:00-17:15)	ステップⅢ以上の者 また、看護科長が認める者	9名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
			・GW（事例について考える）	12/19(木)	3時間45分 (13:30-17:15)			
	教育研修	スタッフ教育ができる能力を養う	・講義「講義案作成」	6/18(火) 講義:公開	3時間45分 (13:30-17:15)		7名	
			・GW 講義案の検討	9/2(月)	3時間45分 (13:30-17:15)			
			・講義案に基づいて実践	12/2(月) 12/9(月)	未定			
	看護研究	日常の課題を研究的視点で捉え探求のためのリーダーシップが取れる	・4月オリエンテーション	4/16(火)～2/1(土) 看護研究発表			2名	
	Ⅴ	教育活動	ポイント制＊累積50ポイントで申請ができる。教育活動・研究活動の双方は必ずポイントをとる。 ただし、10ポイントは看護研究を院外発表することにより取得する。					
研究活動								
役割研修	新主任研修	主任としての認識を深め、自己の役割に積極的に取り組める	・講義 ・GW（カード法）	4/15(月)	3時間15分 (14:00-17:15)	平成25年度 新主任看護師	6名	教育担当副看護局長 せりがや病院教育担当科長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師1名
	プリセプターⅠ	プリセプターシップについて理解しプリセプターとしての役割行動につなげることができる	・講義 ・ロールプレイ	1/24(金)	3時間45分 (13:30-17:15)	平成25年度 プリセプター予定者	9名	
	プリセプターⅡ	指導の中で生じた疑問や不安を軽減し、プリセプターとしての自己の課題を明確にできる	・GW（レポートをもとに討議）	6/10(月)	3時間45分 (13:30-17:15)	平成26年度 プリセプター予定者	9名	
	実習指導者新任研修	実習指導者としての役割を学び、看護教育についての理解を深める	・講義 「実習指導者の役割」	4/26(金)	1時間45分 (15:30-17:15)	平成25年度 実習指導担当者	9名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名
静脈注射研修	静脈注射の実際	医師の指示に基づいた静脈注射を安全に実施するために必要な知識・技術を習得する	・講義1回（7/11） ・演習 ・テスト	7/～8/の間		精神医療センター看護職員（非常勤、契約除く）	25名	静脈注射検討部会
精神看護専門研修	精神看護専門研修	主任としての認識を深め、自己の役割について積極的に取り組める。		期間: 2年間	2時間 14:00-16:00	・精神科看護経験4年間ある者 ・キャリア形成過程ステップⅢ以上	7名	教育担当副看護局長 看護教育科

研修名		ねらい	方法	研修日	時間	対象者	人数	担当	
講	看護研究基礎研修	論理的思考を養うとともに、チームの一員として研究に取り組むための基礎的知識を養う	・講義「看護研究のための基礎」	5/8(水)	1時間15分 (16:00-17:15)	本年度看護研究に取り組む看護職員とそのメンバー	19名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科	
				5/13(月)	1時間15分 (16:00-17:15)				
			・Aグループ1回目 4セッション個別指導	5/29(水)	2時間15分 (15:00-17:15)				
			・Bグループ1回目 4セッション個別指導	5/30(木)	2時間15分 (15:00-17:15)				
			・Aグループ2回目 4セッション個別指導	6/25(火)	2時間15分 (15:00-17:15)				
			・Bグループ2回目 4セッション個別指導	6/26(水)	2時間15分 (15:00-17:15)				
演	公開講義	認定看護師が企画	老年期精神障害看護 「老年期精神障害と看護」	11/27(水)	1時間30分 (17:30-19:00)	全看護職員 院外看護職員	院内：10名 院外：6名	教育担当副看護局長 研修担当看護科長 看護教育科 現任教育担当看護師2名	
			行動制限最小化看護 「隔離・拘束の安全性について」	12/6(金)			院内：12名 院外：7名		
			精神科薬物療法 「不眠時の看護と睡眠薬の使い方」	12/17(火)			院内：16名 院外：5名		
			うつ病看護 「回復過程に合わせた関わり方」	1/20(金)			院内：19名 院外：9名		
			退院調整看護 「地域移行支援の実際」	1/27(金)			院内：12名 院外：6名		
	等	精神科スキルアップ研修 (精神看護専門看護師による)	精神科における看護実践能力を高めるための知識を習得する	「精神科看護の基本的考え方」	5/24(金)		約各1時間 (16:00-17:15)		院内：27名 院外：3名
				「薬物療法における看護」	6/19(水)				院内：14名 院外：6名
				「精神科における家族支援」	7/18(木)				院内：9名 院外：3名
				「リハビリテーションと社会資源」	8/29(木)				院内：12名 院外：9名
				「事例検討初級編」	9/27(金)				院内：20名 院外：2名
				「不安と怒りの捉え方」	10/21(月)				院内：19名 院外：5名
「感情の活用」				11/19(火)	院内：11名 院外：4名				
看護局主催講演会	病院移転の実際を知り、新棟整備に向けての動機づけを図る	講義	2/26(水) 外部講師	1時間30分 (17:30-19:00)	全看護職員	84名			
看護研究発表会	看護研究活動を通して得た成果を発表し相互の学びとする	発表会	2/1(土)	3時間30分 (9:00-12:30)		52名			
伝達講習会	院外研修の報告を受け、自己研鑽への動機づけとする	発表会	3/14(金)	2時間 (16:30-18:30)		60名			

(イ) 平成25年度 院外研修・学会参加実績

研 修 名	期 間	人 数
【病院機構看護職員研修】		
専門コースⅡ（倫理）	6/3 9/2	1名
管理コースⅠ（キャリア形成）	6/27 7/9	1名
【専門研修】		
薬物依存症臨床看護等研修（国立精神・神経センター）	9/10～9/13	1名
摂食障害研修会（国立精神・神経センター）	11/6～11/8	1名
薬物依存症に対する認知行動療法（国立精神・神経センター）	11/12～11/13	2名
【その他の役割・技術研修】		
SST初級研修（SST普及協会南関東支部）	5/12～5/13	2名
【学会等】		
日本看護協会 精神科看護（群馬県前橋市ベシア文化ホール）	9/19～9/20	1名
薬物・アルコール・関連学会（岡山コンベンションセンター）	10/3～10/5	1名
日本看護サミット（名古屋国際会議場）	10/30～10/31	1名
全国自治体病院協議会看護管理者研修		1名

(ウ) 平成25年度 実習受入れ状況

学 校 名	実人数
神奈川県立衛生看護専門学校 第二看護学科	70
神奈川県立衛生看護専門学校 第一看護学科	73
日本医療学院附属東亜看護学院 2年課程（通信制）	3
日本精神科看護技術協会認定看護師	1

(エ) 平成25年度 看護の日記念行事

内 容	対 象	人 数
講演会（依存症って、なに？）	地域の方、患者、家族	25名
クラシックコンサート	地域の方、患者、家族	55名
せりがや病院で働く人、仕事の紹介	地域の方、外来・入院患者、家族	多数

(オ) 病院見学・研修等

学 校 ・ 団 体	対 象 者	人 数
洛南病院	医師・事務局員他	6
よしの病院	看護師	2
よしの病院	医師・臨床心理士・看護師	3
井之頭病院	看護師	8
県立二俣川高校	2年生（福祉課）	1
県立福祉大学	4年生	1
横浜看護専門学校	1年生	2
小田原・足柄下地区中学校	養護教諭	15
芹が谷中学校	2年生	5

(カ) 学会等発表

学 会 名	氏 名
薬物・アルコール関連学会合同総会	井ノ口 恵子
薬物・アルコール関連学会合同総会	堀 幸子
日本クリニカルバス学会学術総会	鈴木 恵美子

(キ) 学校等への講師派遣

派 遣 場 所	内 容	氏 名
社会保険横浜看護専門学校	精神看護方法論Ⅱ	小林 眞津子
清瀬市立第二中学校	学校メンタルヘルスリテラシー教育	井ノ口 恵子
県立病院機構職員研修（アドバイザー）	管理コースⅠ	山口 時雄

(ク) 教育活動等における講師派遣

学 校・団 体	対 象 者	人数（人）
横浜市六浦中学校	学生	121
	教員	7
横浜総合高等学校	学生	300
茅ヶ崎市立西浜中学校	学生	87
	教員	6
松陽高等学校	学生	712
	教員	40
横浜市立日野南中学校	学生	362
神奈川総合高等学校	学生	263
県立横浜栄高等学校	学生	240
	教員	16
横浜市立芹が谷中学校	学生	125
鎌倉市立手広中学校	学生	90
横浜市立港南中学校	学生	298
	教員	20
県立多摩高等学校	学生	280
	教員	12
横浜市立洋光台第一中学校	学生	381
川崎市立橘高等学校	学生	180
戸塚高等学校	学生	320
	教員	12
横須賀市立長沢中学校	学生	140
	教員	10
横浜市立みたけ台中学校	学生	121
	教員	7
鎌倉市立玉縄中学校	学生	213
	教員	13
小田原市立城山中学校	学生	120
	教員	8
川崎市立川崎総合科学高等学校	学生	160
	教員	25
小田原市立白山中学校	学生	194
県立麻生総合高校	学生	242
	教員	20
県立神奈川総合産業高等学校	学生	350
小田原市立城北中学校	学生	176

(2) 心理・相談業務

心理・相談科では、依存症により生じた家族関係や就業、経済的問題など、社会的側面の問題をもつ患者・家族に対して相談支援や集団精神療法等の回復プログラムをおこなっている。

平成25年度も危険ドラッグの相談は多く他の医療機関からの転院相談も見られた。外来プログラムでは女性を中心としたグループ「SMARPP 12」を開始し定着した。心理・相談科の業務内容は以下のとおりである。

1. 相談（電話、面接）
2. 初診時インテーク面接
3. 入院・外来患者へのケースワーク
4. 患者家族へのケースワーク
5. 入院・外来患者への集団精神療法
6. 入院患者への教育
7. 臨床心理検査
8. 心理療法
9. 薬物問題を持つ家族のための家族教室
10. アルコール依存症者の家族のための家族教室（医局、看護局との分担）
11. 地域関連機関・施設や自助グループ等の団体との連絡、調整及び技術援助
12. 研修の受け入れ（精神保健福祉援助実習など）
13. 講師派遣（薬物乱用防止教室等）

ア 相談・インテーク・ケースワーク等件数

			25年度	24年度	備 考
電 話	新 規 相 談		390	428	まだ受診していない者についての相談
	相 談		882	935	すでに受診している者（患者・家族）についての相談
	関係機関との連絡調整		2,508	3,153	保健所、福祉事務所、医療機関、施設等との患者についての相談、連絡調整
	小 計		3,780	4,516	
面 接	新 規 相 談		63	70	まだ受診していない者についての相談
	患者・家族	外 来	714	864	外来患者等に対する面接
		入 院	738	916	入院患者等に対する面接
	イ ン テ ー ク		467	551	初診患者に生活背景、病歴等を面接聴取する
	小 計		1,982	2,401	
計			5,762	6,917	

イ 平成25年度集団精神療法件数

外 来	ア ル コ ー ル	735	1,026	週1回の外来ミーティング
	薬 物	791	496	SMARPP 24、SMARPP 12
	小 計	1,526	1,522	
入院	ア ル コ ー ル・薬 物	2,941	3,376	入院プログラム
計		4,467	4,898	

ウ 平成25年度家族教室参加人数

家 族 教 室	93	130	アルコール依存症の者の家族 月1回
薬 物 依 存 症 家 族 教 室	565	500	薬物問題を持つ家族 月2回
計	658	630	

エ 平成25年度 研修・講師等

(ア) 精神保健福祉援助実習

	学 校	実 施 日	人 数
1	上智社会福祉専門学校	平成25年 8 月 5 日～ 8 月 20 日	1名

(イ) 研修見学（当院）

	機 関	実 施 日	人 数
1	相模原市精神保健福祉センター	平成25年 5 月 1 日、 8 日	8名
2	横浜保護観察所	平成25年 5 月 22 日、 27 日	8名
3	横浜保護観察所	平成25年 7 月 3 日、 10 日、 8 月 5 日、 19 日	6名
4	横浜市こころの健康相談センター新任研修	平成25年 7 月 17 日	38名
5	県精神保健福祉新任研修	平成25年 7 月 17 日、 24 日	7名
6	熱海伊藤地区地域自立支援協議会研修	平成25年 8 月 15 日	16名
7	特定非営利活動法人SUN職員研修	平成25年 9 月 12 日	2名
8	栃木刑務所	平成25年 11 月 6 日	2名
9	名古屋保護観察所	平成25年 12 月 8 日	1名
10	網走刑務所	平成26年 1 月 22 日、 23 日	1名
11	仙台保護観察所	平成26年 2 月 12 日	2名
12	横浜刑務所	平成26年 3 月 19 日	4名

(ウ) 講師派遣

	機 関	実 施 日	人 数
1	アルコールケアセンターたんぽぽ	平成25年 8 月 4 日	110名
2	横浜市こころの健康相談センター薬物家族教室	平成25年 8 月 13 日	5名
3	茅ヶ崎保健福祉事務所薬物乱用防止講習会	平成25年 8 月 29 日	30名
4	神奈川県精神保健福祉センター薬物家族教室	平成25年 8 月 30 日	20名
5	横浜保護観察所引受人会	平成25年 10 月 31 日	28名
6	横浜保護観察所引受人会	平成26年 1 月 28 日	22名

(エ) 薬物乱用防止教室講師派遣

	学 校	実 施 日	人 数
1	和泉短期大学	平成25年 6 月 17 日	295名
2	神奈川県立相原高校	平成25年 7 月 16 日	241名
3	藤沢市立駒寄小学校	平成25年 11 月 8 日	110名
4	神奈川県立横須賀大津高校	平成25年 11 月 15 日	277名
5	横須賀市立神明中学校	平成25年 12 月 9 日	88名
6	神奈川県立生田東高校	平成25年 12 月 16 日	330名
7	座間市立座間中学校	平成26年 3 月 20 日	161名

オ 平成25年度 心理検査実施件数

●発達・知能検査	計	入院	外来
WAIS－Ⅲ	79	70	9
ベントン視覚記憶検査	4	3	1
コース立方体テスト	1	1	0
●人格性格検査	計	入院	外来
バウムテスト	44	42	2
ロールシャッハ	50	47	3
P－Fスタディ	1	1	0
SCT	50	46	4
TEGエゴグラム	2	1	1
Y－G	1	0	1
S－HTP	1	1	0
●その他の心理検査	計	入院	外来
記憶力検査	10	9	1
HDS－R（長谷川式簡易知能検査）	7	7	0
MMSE	6	6	0
WCST	1	1	0
FAB	1	0	0
HAM－D	1	0	0
PARS	1	0	0
計	260件 (94人)	238件 (83人)	22件 (11人)

*（ ）は実人数を示す

(3) 作業療法

当院作業療法は平成19年7月に開設され、平成20年までは1名の作業療法士、平成21年度より2名の作業療法士で運営している。

作業療法は、依存症のリハビリテーションとして身体的、心理的、社会的によりよい状態の再獲得が主たる目的である。通常プログラムとして農耕、スポーツ、表現活動を集団で実施しているほか、高齢者プログラム、病院行事なども行っている。また、作業療法以外でも教育プログラム、自助グループの参加支援などに作業療法士が関わっている。

当院入院患者のほぼ全員が作業療法の処方を受けており、実施数や対象患者の層も入院患者の状況により影響を受けている。

平成21年10月より開始した通院作業療法の参加者は年々増加傾向にあるため、より利用者のニーズにあった受け皿を広げるべく、平成25年2月より実施回数及び実施内容を変更した。

ア 病棟別実施件数

年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25	1 階 病 棟	125	72	126	114	93	115	133	69	43	57	70	18	1,035
	2 階 病 棟	335	339	281	279	375	245	275	287	257	200	256	251	3,380
	合同プログラム	0	0	0	0	40	0	0	0	24	0	0	41	105
	計	460	411	407	393	508	360	408	356	324	257	326	310	4,520
年度		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24	1 階 病 棟	93	106	111	136	75	82	163	133	107	88	70	123	1,287
	2 階 病 棟	329	286	317	398	413	301	360	406	351	248	204	264	3,877
	合同プログラム	0	0	0	0	40	0	0	0	46	22	0	0	108
	計	422	392	428	534	528	383	523	539	504	358	274	387	5,272

イ 通院作業療法実施件数

年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
25	28	26	34	34	22	25	22	34	22	21	29	26	323
年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
24	33	54	40	38	44	41	29	25	30	37	32	33	436

(4) 薬剤業務

年間調剤数は、入院17,880件、外来44,277件、合計62,157件である。1日平均調剤数は253.7件、1日平均処方せん枚数は83.7枚（前年度比102%）となっている。

薬剤情報提供業務（外来）は前年度に比べ649件増加し1,467件であった。薬剤情報提供希望者を登録し、窓口業務の効率化を図った。

薬品購入金額は12,666万円であり前年度に比べ約2,900万円増となった。処方せん枚数、一人に使用する薬の量も増加傾向にあるが、薬価が高い非定型抗精神病薬や新発の採用により、精神神経用剤で前年度比130%（約2,150万円増）となっている。

薬事会議は9月と2月の2回開催した。新規採用医薬品12品目、削除医薬品44品目であった。統合、院外処方発行に向け約束処方10品目を廃止した。

後発医薬品については1品目を先発品から切り替えた。

病棟・外来の常備・救急薬品の管理については、薬剤師による点検を毎月実施した。

入院教育プログラムにおいて定期的に集団指導を行った。

A 調剤数

	処方せん	剤 数	延べ剤数	一 日 平 均	
				剤 数	延べ剤数
入 院	7,051 枚	17,880 剤	99,412 剤	73.0 剤	405.8 剤
外 来	13,374	44,277	701,399	180.7	2,862.9
計	20,425	62,157	800,811	253.7	3,268.6

B 注射剤払い出し

注射せん	500ml未満	500ml以上	計
373 枚	827 本	298 本	1,125 本

C 製剤数

内服散剤	軟 膏 剤	錠剤の粉碎
82,120 g	6,490 g	2,390 錠

D 剤型別購入額

剤 型	品目数	割 合	購入額	割 合
注 射	27 品	5.8 %	1,873,660 円	1.5 %
内 服	396	85.4	123,483,692	97.5
外 用	39	8.4	1,284,283	1.0
消 毒	2	0.4	22,410	0.01
計	464	100.0	126,664,045	100.0

E 薬効別購入額

薬 効	品目数	割 合	購入額	割 合
精 神 神 経 用 剤	195 品	42.0 %	93,670,202 円	74.0 %
睡眠鎮静剤、抗不安剤	49	10.6	12,763,739	10.1
習 慣 性 中 毒 用 剤	2	0.4	1,486,470	1.2
ビ タ ミ ン 剤	18	3.9	3,258,058	2.6
肝 臓 疾 患 用 剤	6	1.3	154,211	0.1
そ の 他	194	41.8	15,331,365	12.0
計	464	100.0	126,664,045	100.0

(5) 栄養業務

ア 給食実施状況

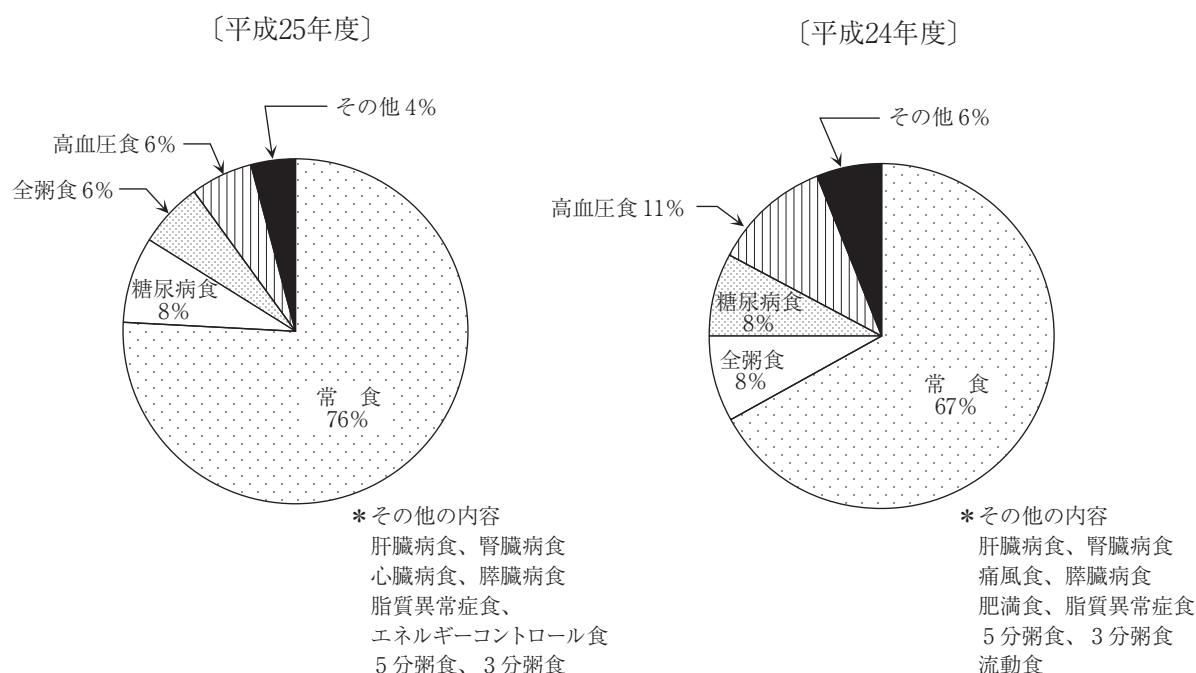
入院患者の食種では一般食（常食・全粥食・分粥食・流動食）が82.2%を占め、特別食は17.8%であった。特別食では、糖尿病食と高血圧食の割合が高く、次いで肝臓食、腎臓食、脾臓食となっている。これらの疾患はアルコール依存症に多く合併しており、入院中の食事を含めた生活指導が重要と考えられる。

25年1月の1病棟化により患者数が減少したことに伴い、食数も減少した。

当院の特徴として、依存症の症状に応じた対応…①形態（キザミ、とろみ食）、②食器（メラミン、デイスボ食器の使用）、③食事時間（早食対応）、④弁当の調製（作業所参加や治療プログラムのため）などを行った。最近では高齢者や薬剤性の嚥下障害を有する患者への「とろみ調整食」、摂食障害に伴う偏食への個別対応、長期低栄養状態からの食事開始時のエネルギー調整など、個々に適応した食事指示が増加している。また、入院生活を潤いあるものにするため、季節の行事食や週2回（昼・夕）の選択食を実施した。

栄養指導では、個人相談の他に、「教育プログラム」に位置づけられた「せりがや講座」において、集団指導を年4回行った。料理カードなどを用い、食事、栄養を見直す基本内容とした。

昨年度は外来ミーティングにおいて「回復のための食事」等の集団指導を実施したが、今年度はプログラム変更のため実施されなかった。



区 分			年 度	25年度	24年度	対前年度比（％）
一 般 食	常 食			30,174	29,801	101.3
	軟 流 動 食	全 粥 食		2,238	3,388	66.1
		五 分 粥 食		22	56	39.3
		三 分 粥 食		13	12	108.3
		流 動 食		0	1	－
		小 計		2,273	3,457	65.8
	計			32,447	33,258	97.6
特 別 食	加 算 で き る も の	糖 尿 病 食		3,106	3,486	89.1
		脂 質 異 常 症 食		10	30	33.3
		肝 臓 病 食		594	994	59.8
		脾 臓 病 食		43	119	36.1
		腎 臓 病 食		441	727	60.7
		心 臓 病 食		419	41	1,022.0
		痛 風 食		0	607	－
		貧 血 食		0	0	－
		低 残 渣 食		0	0	－
		小 計		4,613	6,004	76.8
	加 算 で き な い も の	高 血 圧 食		2,393	4,800	49.9
		肥 満 食		0	305	－
		糖 尿 病 食		0	176	－
		脾 臓 食		0	61	－
		エネルギーコントロール食		20	0	－
		小 計		2,413	5,342	45.2
	計			7,026	11,346	61.9
合 計				39,473	44,604	88.5
患 者 食 弁 当				(253)	(311)	81.4
検 食 ・ 保 存 食				2,990	2,190	136.5
職 員				11,710	10,444	112.1
総 合 計				54,173	57,238	94.6

*患者食弁当（ ）は再掲

イ 栄養指導実施状況

区 分 年 度	入 院				外 来				合 計			
	集団指導		個別指導		集団指導		個別指導		集団指導		個別指導	
	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数	件数	延人数
25	4	123	6	7	0	0	15	16	10	130	15	16
24	4	144	8	8	7	68	14	14	11	212	22	22
対前年度比(%)	100.0	85.4	75.0	87.5	－	－	107.1	114.3	90.9	61.3	68.2	72.7

平成25年度 **業 務 年 報**

平成27年 4 月発行

神奈川県立精神医療センター

横浜市港南区芹が谷2-5-1

TEL 045-822-0241

印刷所 中川印刷株式会社

横浜市中区山田町7-1

TEL 045-261-2101



地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立精神医療センター

横浜市港南区芹が谷2-5-1 〒233-0006 電話(045)822-0241(代表) FAX(045)822-0242